

1 9 9 7

授業概要

【シラバス】

教養科

白梅学園短期大学

SHIRAZUME GAKUEN COLLEGE



教養教育科目（1年）

目次(教養科)

教養教育科目(1年)

文学・フィクションと人間	3
王朝文学の世界	4
話し言葉の文芸	5
西洋文学	6
近代日本の歴史	7
西洋史概説	8
東洋美術	9
演劇論	11
現代社会論	12
現代家族論	13
日本国憲法	14
市民生活と法	15
政治学入門	16
生活の経済学	17
心理学入門	18
マスコミュニケーション概論	19
自然科学史	20
生命の科学	21
生物と環境	22
生活の科学	23
健康の生理学	24
宇宙と地球	25
総合科目人間	26
総合英語 I	27
選択語学 I (英語)	31
選択語学 I (独語)	38
選択語学 I (仏語)	40
選択語学 I 海外語学研修	41
スポーツA(テニス)	42
スポーツA(バドミントン・卓球)	43
スポーツA(バレーボール)	44
スポーツA(エアロビクス)	45
スポーツB(スキー)	46
健康科学	47
スポーツ科学	48

専門教育科目(1年)

日本文学史(古代)	51
日本文学史(近・現代)	52
日本文学(中・近世)	53
国語学	55
国語表現法	56
史学概論	58
史料講読	59
日本古代史(考古学を含む)	62
文化論	63
アジアと日本	64
日本経済論	65

イギリス文学講読	-----	66
英米事情講読	-----	67
英語表現 I	-----	68
イギリス史	-----	70
アメリカ史	-----	71
日本美術史	-----	72
言語学	-----	73
民俗学	-----	74
情報処理概論	-----	75
教養演習 I	-----	76

教職科目(1年)

教育原理	-----	89
教育心理	-----	90
道徳教育の研究	-----	91
特別活動の研究	-----	92
生徒指導の研究	-----	93
国語科教育法	-----	94
教育実習	-----	95

博物館科目(1年)

生涯学習概論	-----	99
博物館学	-----	100
博物館実習	-----	101
教育学概論	-----	102

司書科目(1年)

生涯学習概論	-----	105
図書館概論	-----	106
図書館経営論	-----	107
情報検索演習	-----	108
図書館資料論	-----	109
資料組織概説	-----	110
資料組織演習	-----	111
児童サービス論	-----	112
図書及び図書館史	-----	113
情報機器論	-----	114

教養教育科目(2年)

総合科目人間	-----	117
総合英語 II	-----	118
選択語学 II 英語	-----	122
選択語学 II 独語	-----	125
選択語学 II 仏語	-----	126

専門教育科目(2年)

日本文学史(中・近世)	129
日本文学(古代)	130
日本文学(近・現代)	131
漢文学	132
日本中世史	133
日本近世史	134
日本近現代史	135
近代と西洋思想	136
アメリカ文学講読	137
英語表現Ⅱ	138
イギリス文学史	140
アメリカ文学史	141
西洋文学思潮	142
芸能史	143
映像文化論	144
比較文学	145
東洋文化史	146
現代日本政治	147
日本女性史	148
現代女性論	149
文化人類学	150
社会思想史	151
西洋史	152
国際関係論	153
アジア・アフリカ論	154
教養演習Ⅱ	155
卒業研究	165

教職科目(2年)

書道Ⅰ	169
書道Ⅱ	170
教育実習	171

博物館科目(2年)

博物館実習	175
-------	-----

司書科目(2年)

生涯学習概論	179
図書館経営論	180
情報サービス概説	181
レファレンスサービス演習	182
情報検索演習	183
専門資料論	184
資料組織概説	185
資料組織演習	186
児童サービス論	187
図書及び図書館史	188
資料特論	189
図書館特論	190

【授業科目名】 文学・フィクションと人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 文学作品に描かれた「世界」とは何なのか。それは先ず（少なくとも）、我々が生きているこの「現実」とは別の、「もう一つの世界」だろう。本講の目標は、この「もう一つの世界」としての「文学」（一般的には「芸術」）の構造を探りつつ、同時に、それとの関係の中で見えてくる「現実世界」の意味をも考えることにある。	
【テキスト・参考書】 教科書は用いない。講義の中で指定する若干の小説を読むことが課題になる。	
授 業 計 画	
<p>○ 例えば「小説」に描かれたことは、要するにすべて「作り事」、つまり「フィクション・虚構・ウソッパチ」だ。しかし我々は、なぜワザワザこんな「作り事」を生み出し、求めて来たのか。なぜ、そんなウソッパチに感動したり、「生き方が変わってしまった」などという驚くべきことがおこるのか、という事を考えたい。</p> <p>これを考えることは、「文学」のみならず、「芸術」一般を考える出発点にもなるろうし、ひるがえって、（我々が生きている）この「現実」なるものの意味を考えることでもあろう（「現実」はなぜ「フィクションではない」などと言えるのか）。</p> <p>○ 講義は概ね、以下の三点をめぐって順次展開するはずである。</p> <p>① 【フィクション論】……「フィクション」とは何か、それと「現実」は、いかなる関係にあるか、という問題を軸に考える。</p> <p>② 【文学作品における「方法」について】……小説を中心に、「もう一つの世界」がどのような構造を持っているかを考える。</p> <p>③ 【日常性と非日常性】……ひるがえって、我々が「生きている」（と思っている）この「世界」のリアリティー（あるいは限界）について考える。</p> <p>○ 若干の課題作品（講義の中で指示する）を読むのは当然ながら、そのほかにも、講義でふれる作品を意欲的に読んで行くこと。</p> <p>「芸術と現実」に関する自分なりの問題意識を、可能な限り鋭く研ぎ澄ますこと。この二つの前提があれば、講義は決して「難解」ではない。</p>	
【評価方法】 筆記試験（自筆ノート参照可）。講義に基づいて自ら考察しつつ論じる形式。講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておくこと。課題作品に関する小テスト（1～2回）も加味する。「出席」のこと等は、最初の講義の時に述べる。	

【授業科目名】 王朝文学の世界	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 “受験文法”のために日本の古典作品の多くが、横にちよん切られたままで終わってしまう。が、優れた古典は、作品としての主張をもっており、解説をこそ待っている。おもしろさに気づくことが第一の目標である。次いで、作品の主張の意味を時代に即して理解することを目指す。	
【テキスト・参考書】 岩波文庫『竹取物語』・配布プリント 参考書は最初の授業で紹介する。	
授 業 計 画	
<p>平安時代初中期にかけて、口伝によるカタリが物語として生成し、主題性を明確にしてくる。竹取物語と源氏物語に焦点を合わせ、生成初期から成熟への過程を追う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、さまざまな竹取の物語 2、カタリの話型¹⁾と、話型²⁾による物語 3、かぐや姫はなぜ天界に帰るのか 4、物語の中の異界(1)――『古事記』の場合 5、物語の中の異界(2)――『源氏物語』明石へ 6、紫上の命日 7、「形代³⁾の物語」対「“おこ”の物語」 8、地上をさまよう「浮舟」 9、王朝物語の主題⁴⁾ 10、なぜこのような主題⁴⁾が取り上げられるのか <p>おおよそ以上のような計画で進めたい。</p>	
【評価方法】 定期試験時レポート、及び授業時の〔マトノメモ〕による。	

【授業科目名】 話し言葉の文芸	【担当者】 東喜望
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>将来に資するために、口承文芸をとりあげます。 初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話をとりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。 大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 1. 講義資料を配布する。 2. 参考書・岩波文庫『日本の昔はな』I・II・III（『おひろ爺』他・『桃太郎』他・『一寸法師』他） 関敬吾編</p>	
授 業 計 画	
<p>講義はおよそ以下の項目にそって行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然と文化 2. ことばと文化 3. 文芸の起源 4. 口承文芸 5. 昔話の形態 6. 昔話のルーツ（浦島・桃太郎・竹取翁など） 	
【評価方法】 定期試験時に実施する筆記試験。	

【授業科目名】 西洋文学

【担当者】 衣川清子

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

女性作家によって書かれた19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のいくつかに触れることによって、知識、視野、教養の幅を広げることを目標とします。

【テキスト・参考書】

テキストは特になし。参考書や資料は必要に応じて紹介します。

授 業 計 画

この授業では19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のうちから、女性作家によって書かれたいくつかの作品を選び、作品の内容と特徴、作品の舞台と背景、作品の受容、作者の横顔などを紹介し、一種の文学案内にしたいと思っています。

毎回の授業で原則として一つの作品を扱う予定です。取り上げる予定の小説は、ジェイン・オースティン『いつか晴れた日に』、シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』、エミリー・ブロンテ『嵐が丘』、ルーシー・モード・モンゴメリー『赤毛のアン』、フィリップ・ピアス『トムは真夜中の庭で』、マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』、アリス・ウォーカー『カラー・パープル』、イサベル・アジェンデ『精霊たちの家』、エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』などです（変更する場合があります）。また、サラ・バレッキーとパトリシア・コーンウェルという二人のミステリー作家も取り上げます。音声や映像の資料がある場合はそれらも活用したいと思います。この機会にいろいろな小説を読みたいと思っている学生の聴講を期待します。

授業の進め方やスケジュールなど、詳しくは初回の授業で説明します。

【評価方法】

平常点とレポートの総合評価とします。授業の中で取り上げた作品またはその他の指定する作品について、「書評」（「感想文」ではなく）の形で期末レポートを書いていただきます。書き方については授業の中で説明します。

【授業科目名】 近代日本の歴史

【担当者】 平賀明彦

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

歴史的なものの見方、考え方を身につけてもらうために、日本の近代史を題材にしながら、時間の流れの中で移り変わり、変化をとげていく社会を構造的にとらえていく手法について話しをしたい。どのような視点から歴史を見つめるかといったことからまず検討し、それを実践したとき何が見えてくるかを明らかにしてみる。

【テキスト・参考書】

テキスト：特になし

参考文献：多数あるので、講義中に逐次紹介する

授 業 計 画

これまでの歴史の学習の中ではあまり体験したことのない、ローアングルからの歴史認識ということについてまず説明をしてみたい。歴史を支え、突き動かしている民衆に視座を据えたこのアプローチからは、近年、多くの研究成果が生み出されているが、実は、明治の初期に、すでにこのような視角から当時の民衆生活を克明に描き、そういった人々をとりまく社会の構造について分析したルポや研究の書があった。まず、これらを導きの糸にして、なぜそのような視角が成立し、そのような作品があらわれることになったのかを、当時の時代状況を検討することで明らかにしようと思う。歴史的な事件や人物などの細かい知識は不要。ダイナミックに近代の全体像をつかみ、その中でいろいろな形で歴史との関わりをもった人々に細心の注意を払い、その生き様をみつめる目を養うことが重要。以下、次のようなテーマを設定して講義を進めたい（但し、順不同）

- ・歴史を学ぶことについて—まずは固定イメージの転換から
- ・ローアングルからの歴史とは
- ・日本近代の見取り図—近代史像のダイナミズム
- ・明治という時代—人々を取り巻く国家の枠組みは
- ・底辺民衆を見つめる目—潜入ルポルタージュの先駆、松原岩五郎
- ・『日本之下層社会』が問い掛けたもの—近代化の実相
- ・成金時代に書かれた『貧乏物語』—足腰の弱い経済発展
- ・恐慌と戦争の1930年代—民衆が求めたものは

【評価方法】

最後にレポートを課す

講義中に小レポートの提出を求めることがある

【授業科目名】 西洋史概説

【担当者】 川鍋光弘

【開講期】 1 年

後期

【授業目標】

- わたくしたちにとって「西洋」とは何であるのか
- 「西洋」をつくったものは何であるのか
- 「西洋」はどこへ行くのか

【テキスト・参考書】

特になし。その都度 資料配布の予定

授 業 計 画

「西洋」近代の生み出した工業化社会・産業社会は、人口に豊かな生活をもたらした反面、世界の多くの地域に大きな被害をあたえ、21世紀を迎える今日に於ても、世界はその苦しみから抜け出しきれていない。その上今や「西洋」内部においても格差の問題が激化してきている。ここでは、「西洋」近現代の歴史を他の地域との関連のなかで学んでいきたい。

- ① わたくしたちは「西洋」をどうみているか
- ② 日本人の「西洋」観
- ③ 西ヨーロッパと東ヨーロッパの成立と発展
- ④ 西ヨーロッパの世界進出と絶対王政
- ⑤ 市民革命・産業革命のもたらしたその
- ⑥ 近代社会とナショナリズム
- ⑦ 帝国主義と社会主義
- ⑧ フラシズムと人民戦線
- ⑨ 東西冷戦とヨーロッパ統合

VTRや資料を使い、学生自身が歴史的事実をどう考えるかを重視したい。尚、時間の関係で全てのテーマを扱えるとはかぎらない。

【評価方法】

平常点・適宜課する感想文・レポート等の提出状況・出席状況

【授業科目名】 東洋美術	【担当者】 神道明子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>中国美術への理解を深めることにより、東洋の中の中国美術、ひいては東洋の中の日本美術という視点を持つことに努める。また美術作品を通して、背景となる歴史・政治・文化の流れを考える力を養うことを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト : 授業時に資料を配布する。</p> <p>参考書 : 『中国美術史』 マイケル・サリバン著 新潮社 『中国美術史』 小杉一雄著 南雲堂 他</p>	
授 業 計 画	
<p>古代中国の美術は日本の美術に大きな影響を与えた。特に我が国の仏教美術は、中国・朝鮮の美術を理解することなしには語るができない。しかしその中国の仏教美術もまたインドからの外来文化である。これらのことを念頭におき、前半は中国の何千年という歴史を支えた仏教以前の美術、主として都市や墳墓などの考古学的発掘の成果にみる美術を中心に話を進める。</p> <p>後半はインドから西域、或いは南方のルートを通して中国に伝わった仏教美術が、どのように展開してゆくのかを現在中国各地に残る石窟寺院の仏教彫刻を中心に、図やスライドを使って講義を進めていくことにする。博物館、美術館などの見学もできるだけ行いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 彩陶・黒陶から近世の陶磁器まで (2) 殷・周・春秋戦国時代の美術－青銅器文化 (3) 秦始皇帝と兵馬俑坑 (4) 漢の明器と画像石－墳墓の美術 (5) インドの仏教美術 (6) 中国への仏教伝来と初期の仏像 (7) 石窟寺院の仏教美術－敦煌・雲崗・竜門などの石窟美術 (8) 中国美術が我が国に与えた影響 	
【評価方法】 平常点、レポート 他	

【授業科目名】 東洋美術

【担当者】 山田磯夫

【開講期】 1年 前期

【授業目標】

東洋といっても範囲が広く、各地域では相異なる文化圏に属し、異なった美術様式をもっているため、これらを一元的に講義することは困難である。そこでこの講座では、アジアの諸地域にわたって強く影響を与えた仏教に焦点をあて、極東の国・日本で生み出された仏教美術、特に仏教彫刻について概観する。

【テキスト・参考書】

参考書 : 辻惟雄監修『カラー版 日本美術史』美術出版社
久野 健 『仏像の歴史』 山川出版社

授 業 計 画

日本の仏教美術は近世以前の日本美術の形成・発展において常にその母胎となってきた。この講座では、まず仏教美術理解の基本である仏像の見方について学び、古代から中世に至る仏像彫刻を取り上げ、彫刻様式の流れの理解につとめる。スライド使用。

以下のテーマに沿って進める。

- ①はじめにー東洋の文化圏とシルクロード
- ②仏教美術についてー仏像の見方(1)
- ③仏教美術についてー仏像の見方(2)
- ④飛鳥時代の彫刻Ⅰー仏教伝来と最初の仏像
- ⑤飛鳥時代の彫刻Ⅱー法隆寺の仏像と止利仏師
- ⑥白鳳時代の彫刻ー旧山田寺の仏頭
- ⑦天平時代の彫刻Ⅰー薬師寺の仏像
- ⑧天平時代の彫刻Ⅱー東大寺の仏像
- ⑨平安時代の彫刻Ⅰー木彫の誕生と一木造
- ⑩平安時代の彫刻Ⅱー寄木造と仏師定朝
- ⑪鎌倉時代の彫刻ー南都復興と慶派仏師
- ⑫講義のまとめ

【評価方法】

筆記試験

【授業科目名】 演劇論

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 “人生は劇場なり”という言葉があり、また、演劇は宗教儀礼から発しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立し、多様な展開をみせてきた。この演劇の展開の歴史を辿り、演劇について考察を試み、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特徴を探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種演劇関係書（その都度指示する）

授 業 計 画

洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演劇の構成要素である演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには、西欧の諸演劇と日本の演劇を比較することによって、その多様性と特徴を理解する。各テーマについては、1回または数回の講義となる。

1. 宗教儀礼と演劇
2. 悲劇と喜劇
3. 能と「花伝書」
4. リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム
5. 歌舞伎と「虚実皮膜論」
6. 歌舞伎と新劇
7. オペラとミュージカル
8. 比較演劇論
9. 現代と演劇

【評価方法】

1. 期末のレポート
2. 授業時の小レポート
3. 授業時の平常点

} 左記3項による総合評価

【授業科目名】 現代社会論	【担当者】 民秋 言														
【開講期】 1年前期															
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本社会は複雑な仕組みをもって高度に発達している。この社会を考えると、いろいろなアプローチがあるが、本講では社会学的な把握を試みる。人間の社会学理解からはじめる本講は、いずれ毎日、新聞やテレビに現れるテーマをとりあげ、それらがもつ課題を「人間らしく生きる」という観点からも整理する。</p>															
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>講義中に適宜指示する。</p>															
<p>授 業 計 画</p>															
<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">1. 「人間が生きる」ということ</td> <td>－ 社会的存在としての人間を追求する。生物体のヒトから生活体の人間への変換点は何か。「人間らしく」生きる意味を考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">2. 人間の行動・行為</td> <td>－ 人間の生活＝生きるということは、行動（行為）の連続であり、したがって行動（行為）について説明する。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">3. 「人間らしく」生きることと欲求</td> <td>－ われわれ人間にとって行動は欲求充足のためにとられる。しかし、欲求にはいろいろな次元からとらえられるべきであり、現代社会におけるわれわれの生き方と欲求のあり方について考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">4. 人間を特徴づけるパーソナリティ</td> <td>－ 人間の行動を特徴づけるものとしてパーソナリティを位置づける。現代に生きるわれわれが、どのようにパーソナリティを形成していくか考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">5. 行動様式としての文化</td> <td>－ とくに社会規範に注目する。複雑な社会に生きるわれわれにとって文化がもつ意味を考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">6. 集団生活のあり様</td> <td>－ 人間はふつう重層的にいくつかの集団に属しているものであり、その一員としての生活を送る。集団がどのように個人の生き方を規制するか、一方で個人がどのように集団をつくっていくか考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top; padding-right: 20px;">7. 現代日本社会の諸相</td> <td>－ 現代日本を特徴づける社会変動について説明する。とりわけ都市化について述べる。</td> </tr> </table>		1. 「人間が生きる」ということ	－ 社会的存在としての人間を追求する。生物体のヒトから生活体の人間への変換点は何か。「人間らしく」生きる意味を考える。	2. 人間の行動・行為	－ 人間の生活＝生きるということは、行動（行為）の連続であり、したがって行動（行為）について説明する。	3. 「人間らしく」生きることと欲求	－ われわれ人間にとって行動は欲求充足のためにとられる。しかし、欲求にはいろいろな次元からとらえられるべきであり、現代社会におけるわれわれの生き方と欲求のあり方について考える。	4. 人間を特徴づけるパーソナリティ	－ 人間の行動を特徴づけるものとしてパーソナリティを位置づける。現代に生きるわれわれが、どのようにパーソナリティを形成していくか考える。	5. 行動様式としての文化	－ とくに社会規範に注目する。複雑な社会に生きるわれわれにとって文化がもつ意味を考える。	6. 集団生活のあり様	－ 人間はふつう重層的にいくつかの集団に属しているものであり、その一員としての生活を送る。集団がどのように個人の生き方を規制するか、一方で個人がどのように集団をつくっていくか考える。	7. 現代日本社会の諸相	－ 現代日本を特徴づける社会変動について説明する。とりわけ都市化について述べる。
1. 「人間が生きる」ということ	－ 社会的存在としての人間を追求する。生物体のヒトから生活体の人間への変換点は何か。「人間らしく」生きる意味を考える。														
2. 人間の行動・行為	－ 人間の生活＝生きるということは、行動（行為）の連続であり、したがって行動（行為）について説明する。														
3. 「人間らしく」生きることと欲求	－ われわれ人間にとって行動は欲求充足のためにとられる。しかし、欲求にはいろいろな次元からとらえられるべきであり、現代社会におけるわれわれの生き方と欲求のあり方について考える。														
4. 人間を特徴づけるパーソナリティ	－ 人間の行動を特徴づけるものとしてパーソナリティを位置づける。現代に生きるわれわれが、どのようにパーソナリティを形成していくか考える。														
5. 行動様式としての文化	－ とくに社会規範に注目する。複雑な社会に生きるわれわれにとって文化がもつ意味を考える。														
6. 集団生活のあり様	－ 人間はふつう重層的にいくつかの集団に属しているものであり、その一員としての生活を送る。集団がどのように個人の生き方を規制するか、一方で個人がどのように集団をつくっていくか考える。														
7. 現代日本社会の諸相	－ 現代日本を特徴づける社会変動について説明する。とりわけ都市化について述べる。														
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテスト</p>															

【授業科目名】 現代家族論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。	
【テキスト・参考書】 望月 嵩、木村 汎共編 『現代家族の福祉－家族問題への対応』 培風館	
授 業 計 画	
1. 人間にとって家族とは何か 2. 家族のはたらき 3. 家族のタイプ 4. 家族のしくみ 5. 家族と福祉 6. まとめ	ー 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。 ー 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一樣に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。 ー 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家蔵のタイプが望ましいか、考える。 ー 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との2面から検討する。 ー 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。 (1) 子どもの養育と家族福祉 (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉 (3) 高齢化社会における家族福祉 ー 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。
【評価方法】 ペーパーテストを期末に実施	

【授業科目名】 日本国憲法

【担当者】 園田康博

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

憲法は国家統治の組織・作用の基本法であり、国家並びに国民が準拠すべき最も重要な法である。
本講では、その憲法を網羅的かつ体系的に解説し、憲法知識に加えて、憲法感覚の伝達を目指す。
憲法を通じて法的なものの考え方を体得できるように期待したい。

【テキスト・参考書】

テキスト・参考書ともに開講時に指示する。

授 業 計 画

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 講義のガイダンス | 講義の内容および履修上の注意 |
| 2. 憲法学の基本的な概念Ⅰ | 憲法の意味、国家の定義と憲法 |
| 3. 憲法学の基本的な概念Ⅱ | 形式と性質、憲法規範の特質 |
| 4. 日本国憲法の基本原理Ⅰ | 三大原理、権力分立 |
| 5. 日本国憲法の基本原理Ⅱ | 法治主義、法の支配、公共の福祉、権利濫用の禁止 |
| 6. 憲法保障 | 組織的保障と未組織的保障 |
| 7. 憲法と国際法 | 憲法と国際法の優劣、二元論と一元論 |
| 8. 人権享受の主体適格性 | 天皇・皇族、外国人 |
| 9. 人権享受の主体適格性 | 法人、公務員、在監者、故人 |
| 10. 憲法の第三者効力 | 私人間における人権の適用可能性 |
| 11. 部分社会論 | 部分社会論の意味、根拠、効果、問題点 |
| 12. 人権の国際的保障 | 背景、本質、現実、制度の現状 |
| 13. 消極的権利Ⅰ | 精神的自由権の一般的特質、思想・良心の自由 |
| 14. 消極的権利Ⅱ | 信教の自由、集会・結社の自由 |
| 15. 消極的権利Ⅲ | 表現の自由、学問の自由 |
| 16. 消極的権利Ⅳ | 人身的自由 |
| 17. 消極的権利Ⅴ | 経済的自由（財産権、職業選択の自由） |
| 18. 積極的権利Ⅰ | 受益権（請願権、国家賠償請求権、刑事補償請求権） |
| 19. 積極的権利Ⅱ | 社会権（生存権、労働基本権、教育を受ける権利） |
| 20. 複合的権利Ⅰ | 幸福追求権、平等権 |
| 21. 複合的権利Ⅱ | 新しい人権（環境権、知る権利、プライバシー） |
| 22. 能動的権利 | 参政権の内容、本質、公務就任権 |
| 23. 三種の違憲審査基準 | 厳格審査、厳格な合理性の審査、緩やかな審査 |
| 24. 天皇 | 本質、権限、象徴天皇制について |
| 25. 国防 | 9条の基本構造と解釈 |
| 26. 国会の地位と構造 | 国権の最高機関、唯一の立法機関 |
| 27. 内閣と行政権 | 議院内閣制と首長制、内閣の組織・権能・責任 |
| 28. 裁判所と司法権 | 司法権の概念、独立 |
| 29. 財政、地方自治 | 財政民主主義、租税法律主義、地方自治の本旨 |
| 30. 総括 | まとめ |

【評価方法】

筆記試験・出席率の総合評価

【授業科目名】 市民生活と法

【担当者】 武藤健一

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 法という視点から、社会そして家庭において女性がどのように位置づけられているのかを理解すること。

【テキスト・参考書】 未定ですが、金城清子著「法女性学」(1991年 日本評論社)、角田由紀子著「女性の法律学」(1999年 有斐閣)をあげておきます。

授 業 計 画

日本の現行法制上、どのように女性が位置づけられているかを、1°人権(憲法)、2°家族法(戸籍)、3°雇用(労働法)、4°セクシュアリティ(性)という柱をたて、検討する予定です。

【評価方法】

学年末試験に、出席を加味して行いたいと考えています。

【授業科目名】 政治学入門

【担当者】 加地直紀

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

政治とは、つまるところ権力闘争であることを、国内外の事例をとおして理解する。

【テキスト・参考書】

中村勝範『正論自由 第二巻』(慶應義塾大学出版会、1996年)

授 業 計 画

I. 多面的なものの見方について
核兵器、戦争、汚職、不倫=悪なのか

II. 巧利主義について
善悪ではなく、損得という尺度

III. 政治の定義
政治：欲望の調整→権力闘争

IV. 日本政治における権力闘争

V. 国際政治における権力闘争

※ 受講中の私語・飲食は厳禁 (違反者は退室のこと)

【評価方法】 ① 平常点 (ただし出席はとりません)

② レポート

【授業科目名】 生活の経済学	【担当者】 内山哲朗
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本経済を「生活の豊かさ」の視点より取り上げ、「経済の豊かさ」と「生活の豊かさ」の関連構造を検証しながら、「経済と生活」をつなぐ基本的論理について講義を進めていく。戦後日本経済の歩みとその問題点に目を配る中から、21世紀に向かう「日本の生活像」に関する基礎知識の修得をめざす。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>特に指定しない。講義の中で適宜参考文献を紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>講義で取り上げるテーマは、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活把握の基本視点——労働・家族・地域—— 2 戦後日本経済の展開過程——時期区分—— 3 戦後日本の生活の変容 4 「豊かさ」とは何か——生活経済学の論理—— 5 「生活の豊かさ」と高齢社会 6 「生活の豊かさ」と環境問題 7 生活福祉の社会経済学——非営利・協同の経済セクター—— 8 生活福祉と社会政策 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業への出席と定期試験を総合的に勘案して評価する。</p>	

【授業科目名】 心理学入門	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 心理学の基本的なテーマをとりあげます。 すなわち、性格論，対人関係を中心に授業を行います。	
【テキスト・参考書】 テキスト：なし 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 重野純「キーワードコレクション心理学」，金子隆芳「心理学フロンティア」， 大山正「心理学への招待」，北尾倫彦「心理学への招待」， 岡本栄一「心理学ティータイム」，藤本忠明「ワークショップ心理学」他	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1.心理学のなりたち： 心理学のながれについて 2.ものの見方と人間の行動について： 行動と知覚，認知との関係を考える。 3.人間の行動と条件づけ： 行動論について 4.幼児期と性格形成 VTRを利用します。 5.意識と無意識：精神分析の人間理解(1)： Freudの思想，精神分析概説 6 同 (2)： libidoの役割とlibidoの発達 7 同 (3)： 自我の防衛 8 同 (4)： 物語と夢の分析 9 性格について(1) 基本的な性格論 10 性格について(2) 性格理解の試み 11. 社会・集団と人間行動(1) 集団とリーダーの役割について(1) 12.パニックの心理 VTR利用 13. 社会・集団と人間行動(2) 役割理論による分析 	
【評価方法】 平常点，中間試験，レポート	

【授業科目名】 マスコミュニケーション概論

【担当者】 瀬木博道

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 現代はマスコミ支配の時代である。この社会で大量の情報はマスコミから受けて生活している。この状況と踏まえて、マスコミジャーナリズムの本質を考え、新聞だけでなくマスコミ全般の問題に踏み込んでみたい。「知る権利」の問題に重点を置く。

【テキスト・参考書】

テキスト： 瀬木博道ほか著「コミュニケーションするPR」電通

参考書： 同上 「広報の基礎Ⅰ」日経広告研究所

授 業 計 画

- マスコミとは何か 現状 (上)
- 同 上 (下)
- ジャーナリズムとは
- 言論の自由と知る権利 (上)
- 同 上 (下)
- 図書館の自由と知る権利
- 広告概論 (上)
- 同 上 (下)
- 広報概論 (上)
- 同 上 (下)
- マスコミのゆくえ ——— 新聞を中心に

【評価方法】

受講態度 } ならびに 筆記試験による評価
とれた状況 }

【授業科目】 自然科学史	【担当者】 柳下登
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 自然科学を学ぶことは、色々な公式、記号、概念等を覚えることだと思ひ、それが理科嫌ひの原因になっている。科学は暗記のためのものではない。人間は自然を理解する（科学する）ことで自己を変革し、より人間らしくなった。科学することは真善美を追求する文化系の諸活動と同根である。科学の歴史は人間の歴史である。ここでは科学を語るためではなく、発想を逆転し、人間を語るために科学の足跡を追うことにした。</p>	
【テキスト・参考書】	
<p>テキスト：自然科学入門（甲斐義幸、二宮勘輔） 参考書：科学思想のあゆみ（Ch. サンガー）岩波書店、物理学と何だらうか（朝永振一郎）岩波新書、科学の考え方・学び方（池内 了）岩波ジュニア新書 他</p>	
授 業 計 画	
<p>この講義では講義目標に合わせて、「サルから人間への道で得たこと」「物質」「宇宙」「生命」の主要テーマの解明の過程をを考察する。細目は講義の全体増を理解するためのキーワードである。</p>	
<p>1) 科学を成立させた人間の条件</p> <p>a. 森の生活者サル類がヒトをつくる b. 「木から落ちたサル」のサルばなれへの道 c. 四本足から二本足へ d. 道具が人間をつくる e. 脳とその入れ物（頭）の変化 f. 生きること（生活）が自然についての理解を深める g. 道具で道具をつくる h. えものの採集から狩人へ i. 定住と栽培、牧畜の誕生 j. 技術が先か科学が先か</p> <p>2) 科学の芽生え</p> <p>a. ナイル川のもたらしたもの：暦、幾何学 b. ピラミッドのもたらしたもの：数学 c. ギリシアの自然科学の確立 d. ローマ、アラビア、中世の科学の特徴</p> <p>3) 物質の根源を求めて</p> <p>a. タレスの「アルケー」 b. デモクリトスの「アトム」 c. アリストテレスの「四元素説」 d. デカルトの「粒子説」 e. ドルトンの原子論 f. メンデレーフの原子概念の深化 g. 原子構造と原子核の世界</p> <p>4) 宇宙の動きと姿を求めて</p> <p>a. 古代の宇宙観 b. コペルニクスの地動説 c. ガリレイの「天文学対話」と「新科学対話」 d. ニュートンは地上の法則を天界へ導入した e. 太陽系の起源に関するカント、ラプラスの星雲説 f. 星の一生と原子核反応宇宙は膨張する</p> <p>5) 生命の源と進化</p> <p>a. 古代における生命の「母なる大地」の考え b. アリストテレス生命の完成への目的 c. ヘルモントの自然発生説 v s パスツールの実験 d. 細胞（生命）あるものから細胞（生命）へ e. ラマルクの進化論：生物は段々と複雑になった f. ダーウインの進化論：生物は共通の祖先から g. オパーリンの「自然発生説」の復活 h. メンデルの遺伝の因子説 i. ワトソン・クリックのDNAの2重らせん構造の発見 j. バイオテクノロジー</p> <p>6) まとめ： a. 今日の自然像 b. わたしの研究史：ピートン物語</p> <p>実 験：火をおこしてみよう。かまぼこの板と アジサイの枝（2×20 cm）乾かしておく。</p>	
【評価方法】 定期試験にかわる課題レポート。その他、自発的なテーマ設定の提出物にも評価に加える。	

【授業科目名】 生命の科学	【担当者】 吉川研二
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】 地球上には莫大な数の生物たちが生活している。この生物たちの命を育むのは長い進化の結果作られた地球の大気、水、土壌環境であり、また、その環境は生物自身によって維持されている。私たちヒトも生物との共生によって生きていけるのであって、地球上の多様な生物一つ一つの命はかけがえのないものである。この生物の生命とは何か？一般に難しいといわれる生命科学だが、人間が生きていく上で必修の基礎教養として関心を持ってほしい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>プリント－複数の文献・ビデオなどを資料とする。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>地球上に生命が誕生してから35億年、多種多様な生物が登場し、繁栄し、消滅してきました。しかしながら、生命の設計図である遺伝子、すなわちDNAは生命の誕生から現在まで脈々と伝えられてきました。顕微鏡でしか見ることのできない微生物から巨大な生物であるシロナガスクジラやセコイアまで、その基本は同じです。基本は同じでも、生物を比べて見るとその形、生態、行動など一つとして同じものはありません。私たちが今見ている生物はそれぞれが進化し、生きてきた姿なのです。何故こんなにも多様な生物が存在するのでしょうか。</p> <p>エイズ、アレルギー、遺伝病、人口や資源、環境など生物学に関わる問題は山積みしています。生物学はまた日進月歩の学問です。農学、医学、薬学、栄養学、遺伝子工学、心理学など応用分野も多方面にわたっています。授業ではいくつかの生物学の話題を拾いながら、生命について、生命現象の謎について紹介していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生きているということ ・ 生命の起源 ・ DNA ・ 種とは何か ・ 性の誕生 ・ 病気と闘う ・ 環境問題 ・ 生命の共生 ・ 生命倫理・環境倫理 	
<p>【評価方法】 レポート＋筆記試験</p>	

【授業科目名】 生物と環境	【担当者】 小作明則
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 『ヒト』を含めた地球型生物とその生息環境である地球との科学的かつ歴史的な総合認識を持つことでこれからの地球環境について個人個人の問題意識を持てるようにする。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>全ての地球上の生物は意識するしないは別として必ず環境という枠の中で生れ、生活し、滅んでいきます。今日、「ヒト」の経済活動のために地球上のあらゆる環境は地球誕生以来50億年の間で最も激しく、そして経験したことのなにかたちで激変する時代に直面しています。このような状況の中で「生物と環境」の講義ではまず地球上で生活している生物がその生物を取り巻く環境とどのような関連をもって生活しているかについて概説し、次に生物を取り巻く環境の変化とその生物の対応について具体的かつ生態学的見地からの理解を深めます。そして最終的にヒトという動物の存在が地球環境にどのような歴史的かつ経済的背景をもって影響を及ぼしてきたかについて学んでもらいたいと考えています。以上述べたことは現在大きな問題と成っている種々の「地球環境問題」を理解し、それにたいして我々がどのような問題意識をもち、さらに具体的対応策を個人のレベルで立てていくことができるかを考える際の手引きになるよう構成するつもりです。</p> <p>講義の中ではできるだけ実物の生き物に接する機会を作り、疑似体験ではない、直接体験の機会を多く持ちたいと思っています。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験</p>	

【授業科目名】 生活の科学	【担当者】 滝沢靖臣
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】 現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住並びに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している分子や原子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでもより正しく理解できるようになることを本講義の主眼としている。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p style="text-align: center;">授業の中で項目ごとに紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても理解できるように平易に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。 2. 身の回りにある水分子の世界を覗く。 3. 原子と分子と私たちの生活。 4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。 5. 物質をつくっている分子の構造は何によってきまるのだろうか。 6. 物質の状態は何によってきまるのだろうか。 7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。 8. 酢は何故酸っぱく感じるのだろうか。 9. アルコールの正体は何であろうか。 10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。 11. 老化は防げるか。活性酸素の科学。 12. 物質科学とエネルギー 13. 物質科学からみた衣類。高分子化学の世界をみる。 14. 石油資源と石油化学を考える。 15. 科学は地球を救えるか。 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">試験、レポート、出欠により評価する。</p>	

【授業科目名】 健康の生理学	【担当者】 駒林隆夫
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>健康には運動、休養および栄養の三大要因が関係する。三大要因を考える際、我々の生体の仕組みを理解することは大変重要なことである。本授業では一部基本的な解剖を加えながら、生体の機能について講義を進める。この中で、生理学の知識を深め、健康に関して積極的に考える姿勢を養いたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>カラスケッチ生理学（永田 豊，坪井 實 監訳，廣川書店）</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の構造と機能 細胞膜の構造，膜輸送，エネルギーの産生。 2. 神経と筋肉 神経インパルスの発生と伝導，骨格筋の構造，クロスブリッジと滑走フィラメント，筋の興奮－収縮連関，筋の張力発生。 3. 心臓血管系 自律神経系による心臓血管系の調節，心臓の活動電位の発生と心電図，血圧の制御。 4. 呼吸系 ヘモグロビンの機能，酸素と炭酸ガスの運搬，呼吸の神経的・化学的調節。 5. 腎臓機能 尿の生成，酸－塩基平衡の腎性調節，細胞外液量の調節，腎のその他の機能。 6. 消化器系 消化器系の構成と機能，消化活動のホルモン性調節，消化の神経性調節，消化障害と疾患。 7. 神経系 神経系の機能的構成，脳の構造と一般機能，感覚器の構成と機能，痛みの生理学，視床下部の構成と機能。 8. 内分泌系 内分泌系の構成と機能，ホルモン作用の細胞機構，ホルモン調節の機構。 9. 代謝生理 血糖の調節，肥満と生活習慣病，体温の調節。 10. 生殖 生殖器系の構成と機能，胎児の循環，母性の生理特性。 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験 80%，出席率 20%</p>	

【授業科目名】 宇宙と地球	【担当者】 杉村新
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>皆さん知りたがり屋になってください。自然を知るのは、人生の基本です。そして、成るほどなあとと思うようになってください。それは自然を理解していく一步一步なのです。皆さんがそういう一步一步を感じることができれば、担当者の幸せであり目標でもあります。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：「新訂地学図解」（第一学習社） 参考書：（指定図書）「図解地学IA」（第一学習社）</p>	
授 業 計 画	
<p>最初の時間にアンケートをします。そのためにテキストが必要です。このアンケートの結果に基づいて、担当者の側で授業内容を“選択”します。第2回目の時間以後もテキストは必ず持ってくること。 講義中のおしゃべり厳禁。 毎回スライドを映しながら講義します。 授業は必ずしもテキストの順序（下記）通りではありません。順序未定。 テキストの内容： 地球の構造と働き，地震，火成岩と火山，地表の変化，地殻の変動，プレートの運動，古生物，資源・環境，大気の動き，海，太陽系，地球の運動，恒星と銀河。 こんなに沢山はできませんから“選択”するのです。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>持ち込み不可の試験で成績をつけます。自然科学は暗記物ではないから、テキストのまる暗記はダメ。内容の理解の程度を判断して採点します。</p>	

【授業科目名】 総合科目 人間	【担当者】 黒田・平賀
【開講期】 1年前期 ・ 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>本科目は課題を「人権と平和」とする。本学は建学以来ヒューマンイズムの精神をもってその教育理念としてきた。ヒューマンイズムとは何かを問い、人間らしく生きる条件として人権の保障と平和の達成にかかわる諸問題を考えることにする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：特になし 参考文献：多数あるので、講義の中で逐次紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>[前期：担当 黒田]</p> <p>今、なぜヒューマンイズムを問うのかを説くなかで、現代社会の特徴と諸問題を明らかにする。人間が人間として生き、人格として育つための条件となるのが、基本的人権の主張とその保障である。人権とは何かを論じ、人権の思想の歴史的発展と現代の状況を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ヒューマンイズムの意義 2、人間を考える 3、人権の承認と保障の歴史 4、人権思想の発展と「現代」の課題 5、教育・福祉とヒューマンイズム <p>[後期：担当 平賀]</p> <p>戦時下の人々の戦争体験記録などを題材にしなが、戦争と人間との関わりを考えることで、平和の問題にアプローチしてみたい。そして、戦時・戦後の平和への人々の願いが現行憲法に託されていた経過を明らかにする。さらに、その上で、近年の平和学の研究成果に学びながら、平和の国際的条件、日本の役割、人権・福祉などの問題にも踏み込んで、現代における平和の意味について考えてみたい。大きな枠組みとして以下のようなテーマを設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇戦争と平和ー日本の戦時・戦後 <ul style="list-style-type: none"> ・総力戦としての近代の戦争 ・精神生活にまで及ぶ総動員 ・戦争体験が語る心の中の反戦、非戦 ◇憲法の平和主義 <ul style="list-style-type: none"> ・戦後改革と平和憲法への道 ・国民の平和意識に支えられた憲法の平和主義 ・憲法9条を世界に広げる運動 ◇平和学の到達点 <ul style="list-style-type: none"> ・戦前、戦後史研究の蓄積と戦争責任論 ・「構造的暴力」の問題ー戦争がなければ平和なのか ・人権、福祉と平和 ・国際平和の思想と運動 	
<p>【評価方法】</p> <p>年2回レポートを課す</p>	

【授業科目名】 総合英語Ⅰ－１、２	【担当者】 長尾主税
【開講期】 １年 前期・後期	
【授業目標】 リスニングとリーディングを中心に、基本的な英語運用能力の養成を目標とする。	
【テキスト・参考書】 開講時に指示する。	
授 業 計 画	
<p>日本語の発音とは決定的に異なる英語の基本的な発音、強勢、抑揚についての知識を習得した後、リズムと速度に留意して日常的な会話を聴きとる訓練を行う。また、ビデオを使用して、映画のシークエンスにおける会話の成立について学ぶ。いずれの方法においても、徹底した反復が重要視される。よく用いられるフレーズは暗唱することになる。</p> <p>平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。英語のロジックの展開の仕方を学び、少し努力すれば読める短い文章を利用し、理解できたという達成感を積み重ねてゆく。</p>	
【評価方法】 期末に行うテストの結果に、出席等の平常点を加えて評価する。	

【授業科目名】 総合英語 I - 1、2	【担当者】 須藤彩子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語を学ぶ動機はさまざまであろうし、現在英語をすぐ使う場や必要性があるかどうか個人によって違っているであろう。したがって、この授業では、どんな種類の英語活動を望むにしてもかならずつけなくてはいけない基礎力を養成する。具体的には、聴解・読解・音読の訓練をじっくりとおこない、英語そのものに触れる時間を最大にする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>(聴解) Timothy Kiggell 他著 <u>Cubic Listening: Puzzle it Out.</u> (Macmillan) (読解) Jan Harold Brunvand 著 松本昇 他編 <u>New Urban Legends in America.</u> (朝川出版社)</p>	
授 業 計 画	
<p>◇授業予定 (前期)</p> <p><u>Cubic Listening</u> 1-10課</p> <p>授業のスタートに、英文をきいてパズルを解きましょう! ごきげんな顔もたくさん入っています。最初はゆっくり、慣れてきたら授業1回につき1課すすみます。前期と後期にそれぞれ1回ずつ、この教科書から聴解の小テストをしますから、答えがとけたあとも、確認の意味できちんと本文をききなすこと。</p> <p><u>New Urban Legends in America</u> 1-3課 (13番分)</p> <p>リスニングのあとは、メイン・テキストの読解です。全体を音読してから、内容を考えていきましょう。内容理解に必要な語法はおさえましょう。そのあと、英問英答問題を黒板で解いてもらいます。この教科書からは、前期・後期とも、それぞれ2回から4回の小テストをおこないます。(聴解テストと合体することもあります)</p> <p>◇ 後期の詳しい予定は後期授業開始時に配ります。前期の小テストは、3~5回程度予定しています。学期の最終日には必ず実施します。最終小テストの配点はかなり高くなります。なお、遅刻・欠席の場合も追試験はいっさいしないので、必ず当日にうけること。</p> <p>◇ 毎回、メイン・テキストに関する宿題を提出すること。原則として、提出日前の提出はしないこと。また、授業内で解答が出てしまうので、期限内に遅れたものは、どんな理由があってもうけとれないので注意すること。</p> <p>◇ 授業時間内にできるだけ力をつけることを目標とした授業なので、積極的に参加すること、すなわち、積極的に発言し、問いに答え、意見を述べ、課題にとりくむこと。特に、音読の練習は大きな声で! 音読は、やればそれに正比例して力がつく、たいへんお得な学習法です。なお、ポケットベル・携帯電話などのスイッチは、必ず切っておくこと。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>小テスト・宿題提出・出席・授業参加度を総合的に評価する。出席と宿題に関しては、全出席・全提出が前提とされる。遅刻・欠席の場合は、どんな理由があつたとしても総合点が回数に応じて必ず減点される。それでも、欠席の理由は考慮されるので、無断欠席はけつしてしないように。(無断欠席の場合と、回数が多い場合は特に大きく減点される)</p>	

【授業科目名】 総合英語Ⅰ-1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>名作映画の主題歌を、映画のビデオを見ながら鑑賞することを通して、英語の美しさを認識し、その独特な表現を学んでほしいと思う。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 (1) <u>Screen English -Sing!Sing!Sing!-</u> (Yukitoshi Watanabe他編 NCI出版)</p> <p>(2) <u>Speed Reading In Action (Elementary)</u> (Gary Cantor他編 Kirihara Shoten)</p>	
授 業 計 画	
<p>だれにも好きな英語の歌の何曲かはあると思うが、そうした曲も、内容をはっきりと把握し、聴覚的な意味での言葉の美しさを理解すると、その魅力が一段とよく分かってくるものである。そこでこのクラスでは、名作映画の中で主題歌として使われ有名になった歌の数々を、ビデオとテープを利用してじっくり鑑賞していきたい。</p> <p>クラスでは<u>Screen English</u>の勉強に約1時間を当てたい。ビデオで歌の場面を見て歌われている内容を確認し、テープを利用してのlistening dictationなどのexerciseに答えていく。また、主題歌を聞き、歌ってみるだけではなく、映画そのものもいくつか見たいと思う。</p> <p>授業の準備としては歌詞をよく読んで、内容を自分なりに理解してくること。授業では歌の意味について質問するので、予習は必須である。</p> <p>残りの30分ほどを速読練習に当てる。テキスト(<u>Speed Reading In Action</u>)は一つのユニットが適度な長さのニュース・ストーリーや論説を扱っている。文章を日本語に訳さずに、要点を見逃さないようにしながら、しかもなるべく速く読んでいく練習をしたい。</p>	
【評価方法】	出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業態度(積極性など)を、だいたい同じ比重で見つて評価の基準とする。

【授業科目名】 総合英語 I - 1、2

【担当者】 照沼かほる

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

英語の基本的技能の獲得／保持： 学生各自が関心を抱いている分野・ジャンルの理解の一助となる手段として英語を用いる際に、必要となる最低限の英語の能力の獲得およびその維持を目指します。

【テキスト・参考書】

未 定

授 業 計 画

「英語力」は、英語に継続的に接していないと衰えてしまうものです。昨年度までの授業で培われてきた各参加者の「英語力」を維持して、さらに向上させる役割を果たすことが、この授業の目的です。継続するためには、英語に対してある程度の興味を持つことが必要だと思います。が、これまで英語そのものには特に関心がなかった人にも、英語を通して他の分野、つまり、自分の興味のある事柄・ジャンル（音楽・映画・ファッション・文学・スポーツ・専門科目、等々）の理解を高めることが可能であることをまず知ってもらい、各自の関心事を通して英語に接するという姿勢で、英語の学習の「継続」に望んでほしいと思います。

◆内容について◆ 「英語力」とは通常、読む／書く／聴く／話すの4つの技能を指すとされますが、その中心となるのはやはり読む力であると考えます。よって、人数や時間との兼ねもあって、授業は講読が中心になりますが、授業の進み具合と参加者の興味を考慮して、必要に応じて書く／聴く／話す技能のサポートも行う予定です。

◆教材について◆ 主に指定のテキストを用いますが、この場合も、授業の進み具合と参加者の興味を考慮して、プリント／リスニング／ビデオ教材をを加えていく予定です。希望者がいれば、英語の歌のリスニングと映画鑑賞を行います。

♥進め方について♥ 授業の中心となるのは、テキストの講読と、その内容に関する確認の小テストです。テキストの講読は、語句説明をしてから、参加者を指名して内容を答えてもらい、それにこちらで補足を加える形を取ります。他に、授業の速度に応じて追加教材（講読／リスニングなど）を用いることがありますが、その際には、その内容に関する簡単な小テストも行います。

【評価方法】

平常点、授業中に行う小テスト、期末テストの成績の合計を、最終評価とします。

【授業科目名】 選択語学 I - 1、2 英語（オーラル）【担当者】 スワン、W、ロレンス

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

This class will practice oral communication using the foundation of English grammar and vocabulary that the students have studied in previous years of school.

【テキスト・参考書】

There is no textbook.

授 業 計 画

The class will rely mainly on games, skits and group activities for stimulating dialogues and questions/answers among students and for building daily-use vocabulary. Students will be called upon to use English in directing other students in performing activities and creating English sentences and dialogues.

【評価方法】 Grading will be based upon class performance and attendance.

<p>【授業科目名】 選択語学Ⅰ-1、2 英語（オーラル）【担当者】森田真澄</p>
<p>【開講期】 1 年 前期・後期</p>
<p>【授業目標】</p> <p>英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。</p>
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>(予定) First Time Abroad---初めての海外旅行--- 成美堂 (1,800円)</p>
<p>授 業 計 画</p>
<p>テキストと共にビデオを併用し、英語圏への旅行に必要な基本的会話を習得する。</p> <p>毎週1ユニットずつ進む。</p> <p>原則として、毎週授業中に小テストを行なう。</p>
<p>【評価方法】 毎週行なう小テスト---80% 授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p>

【授業科目名】選択語学Ⅰ－Ⅰ、Ⅱ 英語（オーラル）【担当者】清野茂子

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の中の「聞く」「話す」力を特に中心にして、基本的英語運用能力の養成を目標とします。

【テキスト・参考書】

"Task Listening "

Kinseido; ¥1,854

授 業 計 画

様々な生活状況を想定し、基本的な音声上の聞き分けの練習を含みながら、具体的な日常レベルの会話を題材にした24の項目を、1年間通して学びます。
毎時間の作業を重視しますので、必ず出席すること。

【評価方法】

出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。

【授業科目名】選択語学Ⅰ－1、2 英語（リーディング）	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年前期 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカの短編小説を使って、英文を正確に読む力を身につける。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>未定</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>英語が読めないと思っている人、「読めない」のではなく「読もうとしていないだけ」であることに目覚めよう。文学作品は、古今東西、同じ人間についての有り様を書いているのであるから多少の読む技術を身につけることで、あとは想像力と文脈によりある程度の内容理解は出来るはずである。この精神に立って、アメリカの短編小説を数多く読んで楽しもう。</p> <p>読む技術については、毎時間プリントを配布して、読むために必要な文法事項等は確認していくあとは、レポーター（一人20行程度ずつ分担）に報告してもらいながら、内容の細かい把握につとめる。</p> <p>どれくらい読めているかは、各自で再度授業部分を読んでもらい、次の時間に、内容を10行程度にまとめてもらう。自分が分かっていない箇所などもこの時書いてもらって良い。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>内容のまとめと前期、後期それぞれ一回のレポート</p>	

<p>【授業科目名】選択語学Ⅰ－Ⅰ、Ⅱ 英語（リーディング） 【担当者】磯山滯一</p>
<p>【開講期】 1 年 前期・後期</p>
<p>【授業目標】</p> <p>比較的平易だが、すぐれた英文の作品を読み、英語の物語や小説を読みとる力をたかめます。また、作品の英文を活用して、身近なことを英語で表現する力をつけます。</p>
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>前期 Sadako and the Thousand Paper Cranes by Eleanor Coerr 山口書店</p> <p>後期 Mieko and the Fifth Treasure by Eleanor Coerr プリント</p>
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>
<p>エリーノア・コーアさんは、アメリカの著名な児童文学者です。二つの作品は日本のことをテーマにしていますが、すぐれた英文で書かれています。</p> <p>前期は、テキストとともに、アメリカで製作された同名のビデオを用います。</p> <p>後期は、テキストが日本で出版されていないので、プリントを用います。テキストのほかに、アメリカの子どもたちが、原爆の発生地ニューメキシコ州のロス・アラモスに自分たちの手で「原爆の子の像」を建てようという運動をしているので、その様子をビデオ、新聞などで学習します。</p>
<p>【評価方法】</p> <p>定期テスト、小レポート、出席状況などを総合して評価します。</p>

【授業科目名】 選択語学Ⅰ－１、２英語（リーディング） 【担当者】 田中安行

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

さまざまな英文に触れて、英文を読む力を伸ばしていく。時事問題や英詩、エッセイなどを読むと同時に、それらの易しい英文の中からより人間らしく深く感じ、考えていくヒントを見つけだしてみたい。現代の世界にある諸問題を英文で触れて、それらをどう考え、自分たちに何ができるか、今後の自分の生き方なども考えるきっかけにしたい。

【テキスト・参考書】

開講時に指示する。

授 業 計 画

1. 平易な童話、漫画、英詩、小説、英字新聞やインターネットからの時事英語などを教材に使う。
2. それぞれのジャンルの英文の読み方の基本を学び、応用していく。
3. さまざまな種類の英文に触れながら、表面的な語句や意味の底に隠された意味を理解する方法を考える。
4. 学年の後半には自分たちでも英文を書いたり、ニュースを作ったりしてみる。

【評価方法】

ふだんの学習状況や発言などの平常点とレポートおよびテストで行う。

【授業科目名】選択語学Ⅰ－1、2 英語（リーディング）【担当者】清野茂子

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

インターネットを活用して、リーディングとライティングの技能を中心にした英語の学習を楽しみます。

【テキスト・参考書】

"English on the Net " Kinseido; ¥ 1, 545

授 業 計 画

インターネットから得られた情報が、16項目入っています。
どの項目を取り扱うかは授業の時に決めますので、各自、必ず教科書を持参で出席のこと。
(他人のものは、あてにしない様に。お互いに迷惑になります)
また、10分間程、ヒアリングの練習も入れる予定。

【評価方法】

出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。

【授業科目名】 選択語学Ⅰ－１、２独語	【担当者】 田中安行
【開講期】 1 年 前期・後期	
【授業目標】 ドイツ語の基礎を学ぶ。毎時間簡単なドイツ語会話を取り入れて、ドイツ語で話し聞くことに慣れていく。同時にドイツ語の文の構造を理解するために最小限必要な文法的ルールを覚えて易しいドイツ語の文が書けるようにする。辞書の使い方も覚えて簡単なドイツ語の文を読めるようにする。	
【テキスト・参考書】 田中安行他著「ドイツへ行こう」三修社、1994年 その他は開講時に指示する。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、後半はそれらを含む文法理解に進んでいく。 2. その時間の目標の文についての練習問題を行って、そこから文のルールを発見する学習方法を取り入れる。これによって文法というものを受け身でなく、自分から積極的に学べるようにする。 3. 年間に何回かはビデオを見たりして現代のドイツの人々の生活や風物に触れて、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 4. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習を進め、全体がなごやかな雰囲気の中で学習できるようにする。 	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点とレポートおよび会話および筆記試験で行う。	

【授業科目名】 選択語学Ⅰ-1、2 独語

【担当者】 川原美江

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

コミュニケーション主体のドイツ語を学ぶことにより、異文化に対する理解を深める。

【テキスト・参考書】

「ドイツへ行こう」(三修社) を使用する。

授 業 計 画

外国語を学ぶ際、文法事項の例を追いかけた学習方法は、語学嫌いの原因となる。この授業では、テキストの Dialog を中心に会話練習や問題を通して、生きた言葉を身につける訓練をかける。その知識の定着を図り、学生に小テストを課すこととする。

【評価方法】

出席日数、小テスト、学期末の試験を総合的に判定する。

【授業科目名】 選択語学Ⅰ－Ⅰ、Ⅱ仏語

【担当者】 村山知恵

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

英語以外の新しい外国語を、楽しく学びながら、フランスの文化、歴史、現代の生活などを知ることができたらどんなに良いかと思います。又、4年生の大学に編入するときにも役に立つフランス語を習得したいと思います。

【テキスト・参考書】

” *Bienvenu en France* ” : ビデオ教材
「フランス語への旅立ち」 : 文法教材

授 業 計 画

- 1 毎週前半は文法の教材を用い、英語と同じアルファベットを用いながら、英語とかなり違う発音、英語に近いとは言え微妙に違う文法を中心に学びます。
- 2 毎週後半の授業では、ビデオ教材を使い、実際のフランス語を耳で聞き、フランスの文化、歴史をじかに学べればと思います。

【評価方法】

評価は定期試験によります。

【授業科目名】 選択語学Ⅰ 海外語学研修	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年 前期の事前指導、8月にLeeds Metropolitan Universityにおいて英語研修	
【授業目標】 イングランド中部のLeeds市でホームステイして、英国の家庭生活を経験しながら、上記大学において3週間の英語研修を行う。この経験を通して、英国の文化と生活に必要な英語力を身につける	
【テキスト・参考書】 未定（開講時に指示）	
授 業 計 画	
<p>1. 事前指導では：</p> <ul style="list-style-type: none"> a) イギリスの文化・生活に関する基本的な表現を学ぶ。 b) 生活、習慣についての予備知識を学ぶ。 c) 研修に必要な情報や注意事項を与える。 d) 旅行会社からの情報を伝え、必要なパスポート等の手続きをする。 <p>2. 現地では：</p> <ul style="list-style-type: none"> a) クラス分けをして効率的に学べるようにする。 b) 午前中に2コマ、午後は主としてキャンパス内外での見学、調査。 c) 週末にバスでexcursionを行い、歴史、文化、自然などに接する。 d) 家庭では宿題をしたり、家族と団らんして英語だけの生活をする。 e) 大学での研修後、ロンドンに戻り、市内見学をする。 	
【評価方法】 1. 大学での研修は現地の教員が評価を行う。 2. 参加状態を記録しておいて帰国後、1.と合わせて総合的に評価する。	

【授業科目名】 スポーツA (テニス)	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 段階的に技術を学ぶなかで、試合の仕方、練習の方法、観戦の見方について習得すること 目標は、自分たちだけで試合ができること	
【テキスト・参考書】 日本プロテニス協会編「テニス教本」スキージャーナル 1994 ISBN4-7899-2044-5 C0075 P2400E	
授 業 計 画	
<p>以下の技術について基礎技術の練習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボレー (フォア、バック) 2. ストローク (フォア、バック) 3. サーブ <p>自分たちだけで試合ができることを目標に以下の順で進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニゲーム 2. ドリル 3. ダブルスのゲーム 4. タイブレイク形式でのゲーム 	
【評価方法】 評価項目 (技術、知識、態度)、知識についてはテストを行う。	

【授業科目名】 スポーツA (バドミントン・卓球)	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 ・スポーツをすることによって、運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・運動技能と知識の習得及び態度の育成。	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>技能練習とゲーム</p> <p>〔バドミントン〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、グリップとシャトル慣れ 2、ストロークの練習 3、サービスの練習 4、集団技能の練習 5、ゲームとルール、審判法 <p>〔卓球〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ボール慣れ 2、素振りと正しいフットワーク 3、フォアトップ打ち、バックショート、ツッツキの練習 4、どのコースでも打てるようにする 5、正規のサービスが出せるようにする（変化サービスも） 6、各種打法の練習 7、ゲームとルール、審判法 	
【評価方法】 平常点とゲーム中に採点	

【授業科目名】 スポーツA (バレーボール)	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 6人制バレーボールをルールに則って楽しく行えるようになることを目標とする。	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>基本動作の説明と技術練習 (オーバーハンド・アンダーハンドのレシーブ及びスパイク、サービス)</p> <p>ルール及び基本的作戦の説明と実践 (ゲーム進行、得点、審判法、ポジショニング)</p> <p>ゲームの実践 (リーグ戦)</p>	
【評価方法】 出席を重視、その他として参加態度、習熟度、技術度、等を加点対象として考慮する。	

【授業科目名】 スポーツA (エアロビクス)	【担当者】 飯塚真穂
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 エアロビクスダンスの基礎理論を理解し、実践を通して、健康で美しい身体、積極的な行動を可能にする身体をつくる。	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. ストレッチーより大きく自由に身体を動かせるよう、柔軟性を高める。</p> <p>腹筋のトレーニングー正しい姿勢の保持、腰痛の防止などに有効な腹筋力を強化する。</p> <p>2. ダンスプログラムの練習 基本的なステップで構成された3～4分程度の短いプログラムを覚える。 使用曲: “Try Me” “Danger Zone” “Season” など</p> <p>3. プログラムの基本構成、音楽の選定や時間配分などを学び、日々の生活に気軽に運動を取り入れられるようにする。</p> <p>※必ず運動可能な服装に着替えて出席すること。 ケガの防止のためにもアクセサリーははずすこと。</p>	
【評価方法】 出席+授業への参加態度+実技テストによって評価する。	

【授業科目名】 スポーツB（スキー）	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1 スキーの特性について理解し、その知識と技能（歩行、滑降、回転など）について習得できるようにする。</p> <p>2 雪上環境に対する対処能力を高める。</p> <p>3 スキーを親しみ愛好する能力と態度を伸ばす。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 貝谷昌禧：初歩からのスキー、成美堂、1996年。 インターアルペン：スキーレッスン、スキージャーナル社、1996年。</p>	
授 業 計 画	
<p>生活の場から自然が失われ、自然との共存が課題となってきた今日、自然環境を活用したスキーは、スポーツとしてだけでなく、健康の増進やレクリエーションとしても、極めて効果的である。しかし、雪上でのスキーは、さまざまな自然条件の影響を受けやすく（事故災害）、また、技能の習得において個人差が生じやすい。</p> <p>そこで、自然にふれ合うことの楽しさや喜びを十分に体験させるとともに、斜面や雪の状態に応じた適切な技能と判断能力が得られるよう、技能クラスごとに指導したい。</p> <p>1、日 程 1998年 1月26日（月） 計画、準備（学内B21、15:00～） 2月23日（月）～26日（木） スキー実習（現地）</p> <p>2、場 所 学内及び「上越国際スキー場」（新潟県塩沢町）</p> <p>3、参加者 学生30名、教員3名</p> <p>4、内 容 ・計画、準備 ・スキー実習 第1日目：移動、スキー実技、講義 第2日目：スキー実技、講義 第3日目：スキー実技、評価 第4日目：スキー実技、ツアー、移動 ・実習内容 ：歩行、登行、方向転換、滑降、回転（ブルークボーゲン、シュテムターン、パラレルターン、ステップターン等）、用具メンテナンス他</p> <p>5、費 用 約47,730円（交通費、宿泊費：夕朝食費含む、保険料、手数料） *他に昼食費が必要となる。 *スキー用具、ウェアをレンタルする場合、各7,500円、4,500円が加算される。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（実技、意欲等）</p>	

【授業科目名】 健康科学	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間性豊かで健康的な生活を確立するために必要な能力と態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の健康問題について ・健康の破壊と成立について ・健康の設計と処方について 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 宗像恒次：行動科学からみた健康と病気、メヂカルフレンド社、1990年。 宇土正彦・正木健雄監修：青年の健康と運動、現代教育社、1995年。</p>	
授 業 計 画	
<p>人間性豊かで健康的な生活を営むためには、健康問題の本質を正しく捉え、解決に向けての適切な判断力と実践的な行動能力が必要となる。また、今日の健康問題は、その多くが社会的、文化的な環境に大きな影響をうけている。そして、その解決には、人間の生物学的側面や行動学的側面はもとより、環境的側面及び保健医療体制的側面を抜きにしては考えられない。</p> <p>授業では、このような健康観に立って、疾病予防と健康増進の学問としての健康科学の知見や考え方について紹介・概説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、健康科学の概念 2、健康と病気に対する考え方 3、今日の健康問題 4、疾病の疫学と健康成立のモデル 5、主体と健康（疫学からみた女の病気・男の病気） 6、環境と健康（アレルギー） 9、保健医療体制（保健行政と医療機関・保険制度、薬害） 7、保健行動のモデル 8、保健行動と健康（AIDS、タバコ） 10、食事と健康（健康によい食べ物、食べかた） 11、運動と健康（摂取エネルギーと消費エネルギー） 	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験（ペーパーテスト）及び平常点</p>	

【授業科目名】 スポーツ科学

【担当者】 岡田光弘

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

- ・スポーツを見て楽しめるようになる、やってみたくなること
- ・スポーツを社会現象としてみる眼を養うこと

【テキスト・参考書】

日本プロテニス協会編「テニス教本」スキージャーナル 1994
AERA Mook「スポーツ学のみかた」朝日新聞社 1997

授 業 計 画

以下のようなトピックを扱うことを計画している。

1. スポーツ科学の全体像
2. ポブスレーと陸上競技
3. ジャンプ競技と揚抗比
4. 滑降競技と乳酸
5. ドーピング問題と私たちの日常生活
6. スポーツ・栄養・ダイエット
7. スポーツのフレーム分析
8. スポーツ解説の会話分析
9. 遊びとスポーツ
10. スポーツの構成的なルール

【評価方法】

各時間ごとの提出物と期末のレポートで評価する。

專門教育科目（1年）

【授業科目名】 日本文学史(古代)	【担当者】久保木寿子																						
【開講期】 1 年 後期																							
【授業目標】 当然ながら文学は人間の生活の中から生まれる。ある表現は歴史的な様々な要因(個人意識を含めて)の中で獲得されたものなのだ。文字の歴史・漢詩文の影響などを考慮に入れながら、和歌の修辞(レトリック)について理解し、長く日本の美意識を規定することになる王朝文学の理念と限界について考えてみる。																							
【テキスト・参考書】 配布プリント 参考書は最初の授業で紹介する。																							
授 業 計 画																							
<p>用意した資料に基づき、作品の一部に触れながら、講義を進める。おおよそ以下の計画に従う。時間配分は必ずしもこの通りではない。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">1、大和言葉(和語)と漢字</td> <td>[古事記序文]</td> </tr> <tr> <td>2、漢詩文の方法と和歌</td> <td>[句題和歌]</td> </tr> <tr> <td>3、心情表現と「物」の関係</td> <td>[万葉集類歌と古今集仮名序・歌]</td> </tr> <tr> <td>4、仮名文学の様々な動機</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 個人歌集の成立</td> <td> 伊勢集・とよかけ・好忠集・主殿集など]</td> </tr> <tr> <td> 日記文学</td> <td>[蜻蛉日記]</td> </tr> <tr> <td>5、文学の理念</td> <td></td> </tr> <tr> <td> <雅文化>の世界</td> <td>[源氏物語]</td> </tr> <tr> <td> <雅文化>の相対化</td> <td>[源氏物語と更級日記]</td> </tr> <tr> <td>6、文学世界の拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 反<雅文化>の世界</td> <td>[今昔物語集]</td> </tr> </table> <p>個別の作品の多様性と独自性を指摘しながら、大きな流れとして、文学の立ち上がりから表現方法の開拓の過程を追い、日本の美意識の根幹を規定してしまう和歌の問題をクローズアップする。注意深く聴かれない。</p>		1、大和言葉(和語)と漢字	[古事記序文]	2、漢詩文の方法と和歌	[句題和歌]	3、心情表現と「物」の関係	[万葉集類歌と古今集仮名序・歌]	4、仮名文学の様々な動機		個人歌集の成立	伊勢集・とよかけ・好忠集・主殿集など]	日記文学	[蜻蛉日記]	5、文学の理念		<雅文化>の世界	[源氏物語]	<雅文化>の相対化	[源氏物語と更級日記]	6、文学世界の拡大		反<雅文化>の世界	[今昔物語集]
1、大和言葉(和語)と漢字	[古事記序文]																						
2、漢詩文の方法と和歌	[句題和歌]																						
3、心情表現と「物」の関係	[万葉集類歌と古今集仮名序・歌]																						
4、仮名文学の様々な動機																							
個人歌集の成立	伊勢集・とよかけ・好忠集・主殿集など]																						
日記文学	[蜻蛉日記]																						
5、文学の理念																							
<雅文化>の世界	[源氏物語]																						
<雅文化>の相対化	[源氏物語と更級日記]																						
6、文学世界の拡大																							
反<雅文化>の世界	[今昔物語集]																						
【評価方法】 記述式テスト、及び授業時の[マトメモ]による。																							

【授業科目名】 日本文学史(近・現代)	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 日本近・現代文学の代表的な作家と作品を通して、その芸術史的展開を論じたい。僅か半年の講義ではあるが、せっかくの機会だ。お互いがんばって、明治後半から昭和初期までの見通しを獲得したい。	
【テキスト・参考書】 教科書は使用しない。下記の作品を、当該講義の日までに必ず読んでおくこと。	
授 業 計 画	
<p>○ 作品を読まずに「文学史」を論じたり受講したりすることは、食堂に入って実際に食べもせず、メニューだけ覚えて「味」を論じることと同じだ(むろん、メニューを覚えること自体の意味はあるのだが……)。</p> <p>とにかく本講を受講する以上、「自分で読む」つもりが無ければ、マルデ話にならない。この半年で、少なくとも下記の作品は、必ず読むこと。できれば関連する他の作品(講義で紹介する)も、旺盛に読むことが必要である。</p> <p>講義は、諸君が「読んだ」ことを前提にして進める。作品を分析し、その構造や魅力を考え、「作家」へと迫りたい。「芸術史的展開」は、<u>その中からのみ見えてくる</u>。下記「課題作品」は、講義で扱うものの中でも、とりわけ大切なものである。</p> <p>○ [課題作品] ①泉鏡花『高野聖』、②島崎藤村『破戒』、③夏目漱石『それから』ないし『行人』(講義進展の中で決定する)、④谷崎潤一郎『刺青』および『春琴抄』、⑤白樺派の中から一作品(講義の進展具合によって指定する)、⑥プロレタリア文学ないしモダニズム文学の中から一作品(同)。……「課題作品」に関しては、当該講義の際にテーマを与え、十五分ほどで小レポートを書いてもらう。</p> <p>○ 講義は時代を追って進めるが、内容は、何よりもまず、具体的な作品分析が中心になる。</p>	
【評価方法】 筆記試験(自筆ノート参照可)。講義に基づいて自ら考察しつつ論じる形式。講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておくこと。課題作品に関する、上記「小レポート」も加味する。「出席」のこと等は、最初の講義の時に述べる。	

【授業科目名】 日本文学(中・近世)	【担当者】 東喜望						
【開講期】 1 年 前期							
<p>【授業目標】</p> <p>文学研究の基礎は作品研究にあるといわれている。この授業では、日本の中・近世の代表的な作品を精密に読み味わうことに主眼をおき、受講者がそれぞれの作品について、自らの作品論をうち立てられるように、作品分析や研究方法の基礎についてもふれていきたい。出席を重視する。</p>							
<p>【テキスト・参考書】 影印本『方丈記』(山差山我本) 新典社刊</p>							
授 業 計 画							
<p>授業の概要は次のとおり。</p> <p>I. 講義「文学研究の領域と方法」</p> <p>II. 講義「文献学・書誌学概説」・「仮名文字の成立」 「変体仮名について」</p> <p>III. 原典講読 『方丈記』(甲鳥長明)</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>序</td> <td>安元の大火</td> <td>治承の辻風</td> </tr> <tr> <td></td> <td>養和の飢渴</td> <td>元暦の地震</td> </tr> </table> <p>むすび</p> <p>IV. 作品研究</p>		序	安元の大火	治承の辻風		養和の飢渴	元暦の地震
序	安元の大火	治承の辻風					
	養和の飢渴	元暦の地震					
<p>【評価方法】 定期試験時に実施する筆記試験。</p>							

【授業科目名】 日本文学(中・近世)	【担当者】 川口師孝
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 前期に同じ	
<p>テキストは『おくのほそ道』のプリントを配布。参考書は岩波（日本古典文学大系、文庫）、新潮（新潮日本古典集成）、角川（校本芭蕉全集、文庫）、小学館（日本古典文学全集）等、その他の出版社からも数多く出版されている。</p>	
授 業 計 画	
<p>1, 講義 俳諧について。芭蕉と俳諧。『おくのほそ道』について（自筆本にもふれる）。</p> <p>2, 原典講読 序、杉風の別墅、日光参詣、蘆野の里、白川の関、松島、平泉、光堂、立石寺、最上川、越後路。</p> <p>3, 作品研究</p>	
【評価方法】 定期試験時に筆記試験	

【授業科目名】 国語学	【担当者】 吉田健二
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本語の研究方法・基礎的知識を学ぶ 重要な資料や調査データについて学ぶ</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト 玉村文郎編『日本語学を学ぶ人のために』1992年、世界思想社：1,950円 参考書 宮地裕他編『講座日本語と日本語教育』全16巻 1989年～、明治書院</p>	
授 業 計 画	
<p>「国語学」はことばの仕組みを研究する「言語学」の一分野で、日本語が対象です。講義では、この分野の重要なトピックや研究成果をなるべくやさしく解説します。ハンドアウトを配布して、図表、グラフ、重要史料もたくさん紹介する予定です。</p> <p>※以下の予定で進行します。テキストの対応ページを示すので、予習に利用して下さい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本語概説：世界における日本語の位置 (p.4～) 2 文法の単位：動詞活用はどう変わっていくか (p.14～) 3 分の構造：「は」と「が」の難しさ (p.23～) 4 アスペクトとテンス (p.52～) 5 基本語彙：語彙の数量的性質 (p.74～) 6 音声：「ん」、「っ」とはどんな音？ (p.123～) 7 アクセントとイントネーション：構造と地域差 (p.142～) 8 語構成：「小鼻」と「目鼻」 (p.85～) 9 語種：「エリツイン」は日本語か (p.99～) 10 意味：「思考」が先か「ことば」が先か (p.111～) 11 古典かなづかいと現代かなづかい (p.149～) 12 漢字：漢字は必要か (p.160～) 13 日本語音韻史：「いろはうた」から「天草版イソップ」まで (p.207～) <p>テキストはページ数が多くやや高価ですが、専門的研究に進む人や、国語科の教員等になる人のために将来役立つものを、と考えて選びました。全体をカバーすることはできませんが、ご了承下さい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末の定期試験が8割／出席点が2割（割合は目安）として評価します。 原則通り、欠席が全授業数の1/3に達した場合、定期試験の受験資格を失うものとします。</p>	

【授業科目名】 国語表現法	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】 1、体験したことや感じたことを、わかりやすく表現できるようにしたい。</p> <p>2、書くことによって、自分の考えをより明確にし、深めていきたい。 またそれを的確に表現できるようにしたい。</p> <p>3、「書くこと」について、自覚的に対処できるようにしたい。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 紫式部は、あの膨大な『源氏物語』を書くことによって、いや、書きながら成長したといわれます。文章を書くということは、そのようなことのようにです。 ・ とにかくこわがらずに、自由に文章を書くことから始めましょう。書いた文章を、再考・再再考することで、「書きたいこと」を明確にしていきます。 また、書いた文章を相互に批判・検討しながら、わかりやすい書き方を体得していきます。 ・ 身の回りにあるさまざまな「言葉」に関する資料を持ち寄って、わたしたちの言語環境の現状について考えていきます。 	
【評価方法】	

【授業科目名】 国語表現法

【担当者】 丸尾寿郎

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 対象を的確に伝え、思ったこと感じたことを飾らずにすなおに文章に綴ることや、身のまわりの事からやでさごとを詳しく説明したり順序よく伝えたり、または調べて知ったことについて、自分の意見と他人の意見とを区別して、考えを筋道立てて述べたりできる文章表現力をしっかり身につけることを目標とする。

【テキスト・参考書】 いずれも使用しないが、適時、参考になりそうな書物は紹介する。

授 業 計 画

文章を書くという事は、全人格的な行為である。上手、下手でもなく技法でもない。あえて言えば、自他を励ます営みである。

国語表現法では、実際に文章を書き、書くことの実習の中で自己を育て、自分の文体を作っていくことが中心となる。書きあげた文章は、皆で読みあい、批評しあい、そのうえでさらに推敲して稿を整えていくようにする。

1. 生活に根拠した文章を書く
2. 自分の意見をのべる文章を書く
3. 資料などにあたって調べ、わかったことを筋道立てて述べる文章を書く

【評価方法】

平常点で評価する。(出席状況、作品提出などを総合して評価する)

【授業科目名】 史学概論

【担当者】 西村 汎子

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

歴史学とはどういう学問か、歴史を学ぶ目的、歴史的なものの見方、考え方、歴史学の方法などについて学ぶ。

【テキスト・参考書】

テキスト：加藤文三、西村汎子他著『日本歴史』（新日本出版社）

授 業 計 画

以下に記すように、まず「歴史学とは何か」を初めとする諸問題について学び、次いで人類社会の発展について、各段階ごとにどのような発展の仕方を示しているかについて考える。

1. 歴史学とは何か、――高校までの歴史の勉強との違い
2. 歴史学の方法
 - 1) 実証の重要性
 - 2) 事実と事実の有機的関連―作用・反作用・相互作用
3. 歴史の必然性と偶然性について
4. 社会の発展の仕方
 - 1) サルから人間へ――人類の発生
 - 2) 原始共同体社会
 - 3) 奴隷制社会への転換
 - 4) 発達した奴隷制社会
 - 5) 封建制社会の成立
 - 6) 封建制社会の前期と後期の特質
 - 7) 資本主義社会の成立

【評価方法】 平常レポートのほか、前・後期末にそれぞれテストを行う。テストに当たっては、あらかじめ数個の課題を提起し、その中から出題する予定である。

【授業科目名】 史料講読	【担当者】 戸川点
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 平安時代（摂関期）の史料を講読して、史料を正確に読む力をつけること、これが第一の目標です。さらに、その史料を分析し、摂関期の社会状況についても考えていきます。そして史料に基づいて歴史を考えるという歴史学の方法を身につけていきたいと思ひます。	
【テキスト・参考書】 テキスト：平安時代の貴族が書いた日記から記事をピックアップして読んでいきます。テキスト本文は授業時に配布します。 参考文献：適宜授業時に紹介します。	
授 業 計 画	
<p>この授業では摂関政治期（平安時代中後期）の基本史料である古記録（藤原道長の日記である『御堂閔白記』や『小右記』『権記』などの貴族の日記）を扱います。これらの古記録の中から道長執政期を中心に摂関政治の理解に関わる重要な記事をピックアップして読んでいきたいと思ひています。そして何をどうやって調べればいいのかという史料を読んでいくための技術、史料を正確に読む力を身につけていきたいと思ひます。その上で、摂関政治期の社会の様子（政治の仕組み、貴族の生活など）を考えていきます。</p> <p>授業はゼミ形式で、毎回担当者を決めて報告してもらいます。担当者は史料を読んで解釈し、問題点、疑問点などを指摘する。その報告に即して問題点を参加者全員で考えていく、という形になります。その過程で史料に出てくることから調べるにはどうしたらいいか、関連文献はどうやって探すかなどのノウハウ、平安中後期の社会に関する解説などを行い、理解をより深めていきたいと思ひています。</p> <p>授業は最初の1、2回で史料の読み方、調べ方、摂関政治の性格などについて概観し、その後およそ次のような内容に関して史料を読んでいく予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中閔白家の没落と道長 ②平安貴族の日常・政務・儀式 ③摂関期の政治システム ④三条天皇と道長・実資 ⑤大殿道長 	
【評価方法】 学年末のレポートのほか、授業時に小テストも行う予定である。また、授業時の報告・授業への取り組み（出席状況、発言など）も加味する。	

【授業科目名】 史料講読	【担当者】 西脇康
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>活字化された近世史料の輪読を通じて、音読法・解釈法など史料操作の基本を身につけながら、史料批判と歴史事実の復元の手法について学び、実証研究を取り入れた卒業レポート執筆への基礎がためとする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>(テキスト)『藤岡屋日記』(三一書房刊行)第2巻。高価な書籍なので購入する必要はない。使用する史料については、授業の際指示する。(参考文献)手頃なものに北島正元『水野忠邦』(吉川弘文館刊行)、藤田覚『天保改革』(同)などがある。</p>	
授 業 計 画	
<p>江戸の神田御成道(現千代田区秋葉原の辺り)で書肆を営んでいた藤岡屋由蔵は、書肆というよりは江戸の情報屋として当時から広く知られていた。藤岡屋がその情報源として書き留めた手記(1804~1868)は膨大な量にのぼり、その大半が関東大震災で消失したという。しかし、その写本が幸い東京都公文書館に伝存し、さらに最近翻刻が進み順次刊行されている。そこで本講座では、そのなかから江戸幕府の天保改革に関する記録を取り上げ、政治・経済・社会・外交・文化などの世相について考えてみたい。</p> <p>活字化された近世史料の基本操作ができるようにするため、授業では参加者にあらかじめ輪読史料の分担を決め、ゼミナール形式の報告をしてもらう。すなわち報告者にはレジユメを用意した上、史料を読み下したものを音読し、語義・解釈・考察などの口頭発表をしてもらい、そのあと参加者と質疑・応答の討論を行う。</p> <p>なお最初の2~3講は、担当教員が使用する史料について解説講義を行い、史料の読み下しの基本パターンや難読・難解語句の基礎知識について例示し、参照すべき文献などを提示しながら、報告に必要な知識や技術を指導する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>報告内容と定期試験ないしレポート(どちらにするかは未定)による総合評価</p>	

【授業科目名】 史料講読

【担当者】 湯川 郁子

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

明治期のルポルタージュを史料として読み解くことを通して、時代の雰囲気を感じながら、歴史事実に向き合う方法を学びます。

【テキスト・参考書】

テキスト：松原岩五郎著『最暗黒の東京』（岩波文庫）

参考書：横山源之助著『日本の下層社会』（岩波文庫）

中川清編『明治東京下層生活誌』（岩波文庫）

授 業 計 画

今年度は、松原岩五郎の『最暗黒の東京』（明治26（1893）年11月、民友社から刊行）をとりあげます。これは明治中期の東京下層民の生活実態を克明に記録したルポルタージュです。

授業はセミ形式で、レポートによる担当範囲の概要紹介、問題点の指摘→受講者全員による討論により進めていきます。

初めのうちは「読む」こと自体に重点を置き、明治20年代半ばの首都東京の下層民の生活実態を探ります。回を重ねて「読み慣れ」たところで、テキストと参考書にあげた文献等とを「読み比べる」ことにより、明治期の東京の下層社会の変遷を「読みとる」ことをめざします。これらの作業を通して、史料を「読む」とはということのなかに学んでいきます。

テキストとなる岩波文庫の『最暗黒の東京』は、開講時までには購入しておいて下さい。

【評価方法】

平常点とレポートとの総合評価

【授業科目名】 日本古代史（考古学を含む）	【担当者】 関和彦
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>歴史の学習を机上から大地に据え、今までの発展史観を否定し、新たなる生成史観に触れ合い、馴染む。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書：関和彦『出雲国風土記とその世界』（NHK出版）・『日本古代社会生活史の研究』（校倉書房）。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>文明危機をむかえている今日、我々を取り巻く諸環境を見つめ直し、人間にとって海・川（水）、そして木・草・動物はいかなる存在であったのかを日常生活感覚から歴史的にとらえてみたい。具体的には我々の身の回りの日常的な「事」、「物」の現れ方に目を向け、それとの関わりで古代社会における根源的「海川の文化」、「山野の文化」、「気象に文化」、「神々の文化」などを析出し、自然と人間社会が調和する文化とは何かを考察し、現代文明のあり方を問いたい。</p> <p>① 日本古代の自然環境と生業：漁業と農業 ② 日本古代の自然環境と生業：狩猟 ③ 日本古代の自然環境と生業：養蚕 ④ 古代の人々と大地、そして信仰 ⑤ 古代の人々の住環境 ⑥ 古代の人々の境界意識 ⑦ 古代の人々の水文化 ⑧ 古代の人々の水辺文化 ⑨ 古代の人々と山野 ⑩ 古代の人々と四季</p>	
<p>【評価方法】 期間中に「出雲古代文化展（東武美術館）」の見学を課す。学期末のレポートで評価を行う。</p>	

【授業科目名】 文化論

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 文化とは *Culture* の訳語であり、その原義は“耕す”という意味である。古代から、人間は自然を耕すことによってさまざまな文化を創りあげ、それを伝承してきている。その軌跡を探りながら文化の特質を探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種文化関係書（その都度指示する）

授 業 計 画

文化とは何かを命題にし、文化の基本から説き明かして芸術分野に高められてゆく過程に焦点をあて、その内容を把握するとともに、とくに東西文化の特質を比較することによって、文化に対する認識を深める。

各テーマについては、1回または数回の講義となる。

1. 文化とは何か
2. 人類の発祥と文化の発生
3. 日本の古代の文化
4. 火と水の文化
5. 石と木の文化
6. 狩猟と農耕と海洋の文化
7. “ことば”の文化
8. 東洋文化と西洋文化
9. 日本文化論

【評価方法】 1. 期末レポート
2. 授業時の小レポート
3. 授業時の平常点 } 左記3項による総合評価

【授業科目名】 アジアと日本

【担当者】 井上和枝

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 日本と最近の国であり、歴史的にも非常に密接な関係を有してきた朝鮮。その朝鮮を日本人はどのように認識し、かつ関わってきたのか？ 明治以後を中心に何人かの代表的な人物を捉えて、その朝鮮との関わり方を明らかにし、我々の朝鮮観を再検討する。

【テキスト・参考書】

授 業 計 画

先ず朝鮮に対する概論的な知識を与え、次に各人物の朝鮮との関わりを具体的に述べる。

- 第1講 朝鮮 — 人と言葉
- 2 朝鮮史概説
- 3 日本と朝鮮の交流史
- 4 雨森芳洲と朝鮮
- 5 半井桃水 ヲ
- 6 与謝野金鉄 ヲ
- 7 金子文子 ヲ
- 8 柳原小説 ヲ
- 9 浅川巧 ヲ
- 10 吉野作造 ヲ

【評価方法】 出席とレポート

【授業科目名】 日本経済論	【担当者】 高橋美保
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>戦後日本の経済発展の50年史をふりかえって、日本経済の現状と問題点についての知識と理解が得られるようにする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：使用しない 参考書：講義において紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>次のように時期区分して、世界経済との関連において、日本経済の特徴がわかるように述べる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戦後復興期：3大経済改革と経済復興の方法 2. 高度成長期：好景気の様相、成長要因、高度成長のもたらしたもの 3. 戦後国際通貨体制の崩壊と石油危機 4. 昭和50年代の経済成長：具体的様相、財政政策、金融自由化 5. 昭和60年代の経済成長：具体的様相、世界経済、バブルの発生と消滅 6. 戦後50年の帰結：富裕化、脱社会化、地球環境の限界 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">レポート</p>	

【授業科目名】	イギリス文学購読	【担当者】	田中 安行
【開講期】	1年前期・1年後期		
【授業目標】	イギリス文学を理解するための代表的な考え方を表している作品を選んで、読みながら英語読解力を養うと同時に、作品の深い理解を通してイギリス的な発想やユーモア感覚を学ぶ。		
【テキスト・参考書】	川口蕎一「イギリス小説入門」研究社出版、1991年 20世紀作家の作品群		
授 業 計 画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 比較的平易なイギリス文学作品を読みながら、英文学の基本的な考え方、思想について考える。 2. 作品購読を通して表面的な語句や意味の底に隠された意味を理解する方法を考える。 3. 後期には学生が自身が事前に研究をしたものを発表して積極的に参加し作り上げていく授業になるようにする。 *20世紀作家の作品を中心に取りあげていく。 			
【評価方法】	ふだんの学習状況などの平常点とレポート及び筆記試験で行う。		

【授業科目名】 英米事情講読

【担当者】 上原重一

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

現代の英米事情を歴史と文化・生活習慣を中心に、英語の講読を通して学び理解を深める。読むことを中心にしながらも、書く・聴く・話すにも力を入れて、総合的なコミュニケーション能力の向上を目標とする。

【テキスト・参考書】

前期：The Isle of Britain (もっとよく知るブリテン島) [朝日出版]

後期：The American Way (アメリカの文化と社会) [成美堂]

(参考書は 必要に応じて指示する)

授 業 計 画

前期：イギリスの地理的・歴史的な位置づけ、世界の中での文化的役割など基本的な英国事情を概括しながら、ビデオも利用しつつ総合的英語力を高める。

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------|
| 1. Welcome to Great Britain | 8. A Brief History of Scotland |
| 2. Introduction to England | 9. Famous People of Scotland |
| 3. English Homes | 10. Scotland Today |
| 4. English Gardens | 11. Introduction to Wales |
| 5. Messing About on the River | 12. A Brief History of Wales |
| 6. English Education | 13. Dylan Thomas |
| 7. Wordsworth and the Lake District | |

後期：アメリカの歴史・社会・文化についてじっくりと学ぶ。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. The Foundation of a Nation | |
| 2. The Mayflower | |
| 3. The Declaration of Independence | |
| 4. The American Civil War | |
| 5. "Galileo" | |
| 6. Walt Disney | 7. Steven Spielberg |
| 8. Bill Gates | 9. Madonna |
| 10. The American Judicial System | |
| 11. An American University Transcript | |
| 12. Smoking | 13. Drinking |
| 14. Cultural Comparisons | |

【評価方法】

定期試験の成績に、平常点(課題、感想文など)を加味して評価する。

【授業科目名】 英語表現Ⅰ	【担当者】 スワン, W, ローレンス
【開講期】 1 年 前期・後期	
【授業目標】 このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していく。	
【テキスト・参考書】 <p style="text-align: center;">ありません</p>	
授 業 計 画	
<p>いろいろな分野で使われる言葉の練習もする。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。</p> <p>以下のような項目にそって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. friendly greetings 2. making choices 3. misplacing and looking for things 4. using things 5. talking about accidents 	
【評価方法】 成績の基準はクラスでとれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）を元に付ける。	

【授業科目名】 英語表現Ⅰ

【担当者】 マーク コリン

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

このカリキュラムでは、生徒に英語で話す機会を与え、又自信と語彙力を高めていき、日常生活で使えるような英語に取り組んでいく。

【テキスト・参考書】

授 業 計 画

このクラスでは会話が中心であり、次のもので構成されている；配布物をペアになって練習する、オーディオとビデオを聴き、又クラスのテキストも使用する。

このコースは英会話が初級の生徒や、英語を話すことをこわがっている生徒の不安を和らげていく。このクラスでは英語が無気力にさせるものであると感じている人の積極的態度を助長させ、又自信をつけられるようになっている。

このクラスのペースと教材は、英会話初級の生徒に合わせたものである。

【評価方法】 評 価：このコースの重要視している点が英語で自己を表現することにあることから、テストはすべて口頭で行われる。

必要条件：クラスに参加することと、出席することが必要。

【授業科目名】 イギリス史

【担当者】 君塚直隆

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 20世紀末の現代においては「斜陽の老大国」というイメージの強いイギリスは、かつては七つの海を支配した大英帝国でした。そしてその影響力は、単に軍事的なものばかりでなく、議会制民主主義や近代的商工業を世界に伝えた点で他を圧倒していたと言ってもよいでしょう。今年度は、16世紀初頭から20世紀初頭に至るまでのイギリスの400年間の歴史を通じまして、この国の文化の源流と伝統に迫りたいと思います。

【テキスト・参考書】

今井 宏編『世界歴史大系 イギリス史2』山川出版社、1990年。

村岡健次・木畑洋一編『世界歴史大系 イギリス史3』山川出版社、1991年。

授 業 計 画

最初の時間に16世紀以前の状況を概観致しましてから、以下の通り、テューダ朝以降の近代イギリスの歩みを講義形式で検討して参ります。テキストは用いませんが、上記の概説書などを事前に読まれておくことを期待致します。なお、出席を重視すると同時に、授業中の私語・遅刻・早退などは決して許しません。

1. イングランドの創成（ケルトからバラ戦争まで）
2. イングランド国教会の成立
3. エリザベス時代のイングランド
4. ピューリタン革命
5. 王政復古と名誉革命
6. ハノーヴァ朝の成立と責任内閣制の登場
7. 二重革命の時代
8. 貴族政治と改革の時代Ⅰ（議会改革）
9. 貴族政治と改革の時代Ⅱ（自由貿易体制の確立）
10. バクス・ブリタニカの時代
11. 帝国主義の時代：大英帝国の形成
12. 第一次世界大戦と帝国の黄昏
13. 総括：イギリスは衰退したのか？

【評価方法】

平常点（出席点）と期末試験の結果に応じて評価を下します。

【授業科目名】 アメリカ史

【担当者】 木野淳子

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

アメリカ史をより広義に捉え、アメリカ合衆国の一国史ではなく、同じ北アメリカ大陸にある隣国、特にカナダとの関係から捉えることによってアメリカ合衆国の抱える様々な問題を理解するために必要な基礎知識を身につける。

【テキスト・参考書】

テキストは使用しない。参考書は必要に応じて授業の中で紹介する。

授 業 計 画

北アメリカ大陸はもともと様々な部族の先住民の土地であり、アメリカ合衆国、カナダ及びメキシコの国境は、後から入植した白人によって定められた。そのため、三国の成立及びその後の発展は、複雑に絡み合っている。特に、共に旧イギリス領植民地であり、長い国境を共有するアメリカとカナダの関係は重要である。また、我が国にとって、政治・経済・文化的に大きな影響力を持っているアメリカをどのように捉え、今後どのように付き合いしていくかを考える上で、隣国カナダとの関係を知ることは大きな意味があると思われる。

そこで、この授業では、カナダとの関係に照らして、さらに、カナダとの比較によって、アメリカ史上の事件や、問題を別の角度から考察し、問い直したい。また、日本ではあまり知られていないカナダ史についても、適宜解説を加えていく。

【評価方法】

1. 授業時の筆記試験
2. 授業時の感想文や、レポート等の提出物

【授業科目名】 日本美術史

【担当者】 山田磯夫

【開講期】 1年 後期

【授業目標】

古代から近世にかけての絵画の歴史を通観する。時代を写すといわれる絵画の歴史的背景を考察しながら、西洋画とは異なる日本画の特質について言及する。講義ではスライドを用いてなるべく多くの作品を鑑賞したい。

【テキスト・参考書】

参考書：辻惟雄監修『カラー版 日本美術史』美術出版社

授 業 計 画

日本の美術は中国・朝鮮半島から伝えられた美術作品を母胎に形成・発展してゆくが、絵画においても例外ではなかった。しかし、平安時代の半ば頃から徐々に和様化が進み、わが国独自のやまと絵も制作されるようになったのである。本講座では古代から近世に至るさまざまなジャンルの絵画作品を取り上げ、各時代の作品の理解にとめる。以下のテーマに沿って進める。

- ①はじめに一時代区分と絵画の見方
- ②玉虫厨子と天寿国繡帳
- ③法隆寺金堂壁画
- ④鳥毛立女屏風
- ⑤曼荼羅と白描図像
- ⑥仏画
- ⑦唐絵とやまと絵
- ⑧当麻曼荼羅と来迎図
- ⑨絵巻
- ⑩似絵と頂相
- ⑪歌仙絵
- ⑫水墨画
- ⑬初期洋風画と南蛮屏風

【評価方法】

筆記試験

【授業科目名】 言語学	【担当者】望月好恵
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常なにげなく使っていることばについて意識的に考えるきっかけを得ます。 (恐らく大半の人の)母国語である日本語に、どんなルールがあるのか、具体的に分析できるようにします。 2. 言語学の歴史をながめながら、「文化としてのことば」のあり方を見つめます。 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業時間内に参考図書を挙げます。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業では以下のような項目を扱います。</p> <p>[1] ことばの始まり ことばはいつ現れた？ 子供の言語獲得。動物の意志伝達と言語。 言語の一般的特質。</p> <p>[2] 無意識のうちに操っている日本語のルールに気づいてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音韻論 <ol style="list-style-type: none"> a. 日本語の音の体系・他言語との比較：五十音表にまとめられた日本語の音素の体系の認識（日本語を勉強中の人に「濁点のつくひらがなはどれですか？」と聞かれた時、覚えやすく明快的な説明ができますか？） b. 言語音と文字との対応：日本語（英語）の音声とひらがな（綴り字）の関係 2. 形態論（語の構造） <ol style="list-style-type: none"> a. 日本語における語形成：過去に学んだことのある動詞や形容詞の活用を、より体系的に扱うことができるように、形態素という単位を導入します（形態素に着目すると、興味深い語形成のルールが見えて来ます）。 b. 語形成の特質：複合語の中の音の変化，形態素に分ける方法，動詞に続く形態素のいろいろ 3. 統語論（文の構造） <ol style="list-style-type: none"> a. 文法的単位と文法範疇：助詞の意味のいろいろ，動詞の対応関係，受け身の-rare，使役の-sase b. 統語構造・統語規則：埋め込み文の特徴 c. 日本語と他言語の統語構造の比較 <p>[3] ことばと文化：言語学の歴史をながめながら 記号としてのことば。記号としての文化。文化におけることばと認識。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験、提出物、授業参加度によって総合的に評価します。</p>	

【授業科目名】 民俗学

【担当者】 小林梅次

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 伝承資料の性格・特色、それに民俗学研究法を理解させ、民俗学の観点から身近な日常生活事象を取り上げ、なにげなく見過ごしていた部分に照明をあて、内省の学として観察力と思考力を育てたい。

【テキスト・参考書】

参考書 牧田 茂「日本人の一生」講談社学術文庫
大島 暁他「図説民俗探訪事典」山川出版社

授 業 計 画

-----女性の民俗を中心に-----

1. 研究法
伝承資料の特性と調査
文献資料等の特異性
2. 主婦権と女性の地位
祭司権の変遷
近代化と男女の役割
3. 日本の神
来訪神と斎場
4. 民俗行事と女の役割
産育・婚姻・葬制
5. 衣・食・住
民俗知識と知恵
6. 民俗記録映像の上映

【評価方法】

レポートによる。

【授業科目名】 情報処理概論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 1 年 前期・後期	
【授業目標】 情報処理やコンピュータに関する知識および情報処理についての素養を身につけることを目標とする。具体的には、コンピュータの基礎知識として、情報処理とコンピュータ、機能と装置、プログラム言語とアプリケーションソフト、インターネットとネットワークの活用などについて講義する。演習はコンピュータの基本操作を学習する。また、情報社会とコミュニケーション、人工知能とシステム工学などについて、実例をあげながら簡単に解説する予定である。	
【テキスト・参考書】 テキストは授業の中で指定する。(必要に応じてプリントを配布する。)	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">下記の項目にそって、1項目当たり4時間を予定して授業をすすめる予定である。</p> <p><前期></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報社会とは何かについて学び、情報処理とコンピュータについて述べる。また、人間は、数字や文字により情報を表現するが、コンピュータでは2進数が用いられていることなど機能と歴史について触れる。 (2) この演習では、Word6.0というソフトを使って、日本語の文書作成を行う。とにかく、コンピュータを駆使し、レポートの作成ができるようにしたい。 (3) コンピュータには、ハードウェアソフトウェアがあること。ハードではコンピュータの構造について、ソフトでは計算手順を示すプログラム、アルゴリズムやコンピュータ言語について学習する。 <p><後期></p> <ol style="list-style-type: none"> (4) Excel5.0というソフトを用いて、表計算・グラフ・データベースなどの作成を、住所録や図書管理など身近な実例を取り上げながら学習したい。 (5) 人工知能の現状と情報化社会におけるコンピュータの応用について解説する。また、ここでは電子メールやマルチメディアについても触れる予定である。 (6) 近年、著しく関心を集めている知識情報処理に関して、ファジィ理論、カオス、フラクタル、複雑系などが話題になっている。これは人間に関わるあいまいさや複雑さを理論的に取り扱えるので興味深いものである。ここでは、応用事例をあげながら解説したい。 	
【評価方法】 <ol style="list-style-type: none"> ① レポート、平常点及び出席点で行う。 ② 授業時の課題(演習)も加味する。 	

【授業科目名】 教養演習Ⅰ

【担当者】 東喜望

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 <古典と現代> 近・現代の作家の中でも、すぐれた作家は、東西古今の古典に通暁している。
このゼミでは、同一（または類似）の題材を扱った古典と近・現代の作品を比較しながら、その作品のちがいや作者の文学方法の独自性などについて、検討していきたい。

【テキスト・参考書】

・平凡社・東洋文庫『さんせう大夫』 新潮文庫『山椒大夫』
・新潮文庫『恩讐の彼方に』 ほか、プリントを用意する。

授 業 計 画

とりあげる作品は、下記のとおり。分担をきめて、古典については輪読することからはいめるが、ゼミには積極的に参加し、報告・意見発表をすること。

記

1. 説教節『さんせう大夫』 — 森鷗外『山椒大夫』
2. 上田秋成『春雨物語』 — 菊池寛『恩讐の彼方に』
3. 李景亮『人虎伝』 — 中島敦『山月記』

【評価方法】 前期末の所定の日レポートを提出させる。

【授業科目名】 教養演習Ⅰ	【担当者】 川口師孝
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 前期に同じ	
<p>[テキスト] …プリント配布。[参考書] …新潮日本古典集成『今昔物語集一本朝世俗部』3, 4。同じく『宇治拾遺物語』（以上新潮社）。『対訳西鶴全集』5, 11（明治書院）。『芥川龍之介全集』第1巻, 『太宰治全集』文庫版第6巻（以上筑摩書房）。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1, 『今昔物語集』巻29「羅城門の上層に登りて死人を見たる盗人の語」、同じく巻31「太刀帯の陣に魚を売るおうなの語」～芥川龍之介「羅生門」。 2, 『今昔物語集』巻28「池尾の禅珍内供の鼻の語」、『宇治拾遺物語』「鼻長き僧の事」～芥川龍之介「鼻」。 3, 『西鶴諸国ばなし』巻1「大晦日はあはぬ算用」～太宰治「貧の意地」。 4, 西鶴の『本朝桜陰比事』巻1「太鼓の中はしらぬが因果」～太宰治「赤い太鼓」 <p>以上の作品を取り上げる。</p>	
【評価方法】 レポート	

【授業科目名】 教養演習Ⅰ	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1 年 前期・後期	
【授業目標】 『源氏物語』を研究する。大部な作品で、総体を理解するのは容易ではないが、一年次では、本来短編的な巻々として書かれたとも推定される第一部（桐壺巻～藤裏葉）に取り組む。物語に敷設された人間関係・権力構造の大要を理解することが第一目標である。そのなかで、紫のゆかり系統と玉鬘系統の並立構造に目を向け、この二重構造の意味について考えながら、六条院体制の完成までの道筋を辿ることにしたい。	
【テキスト・参考書】 テキスト、参考書については、最初の授業で指示する。	
授 業 計 画	
<p>〔前期〕 最初は、物語成立の背景や梗概について、ビデオなどを用いながら説明する。（全く初めての人には、“あさきゆめみし”を手掛かりにするのもよい）。</p> <p>次いで最も接近しやすい方法として、第一部に登場する人物の中の一人に注目し、その行動と心理を追う。系図上の位置、すなわち身分関係が決定的に重要なので、絶えず確かめながら進めたい。各自自由に調べて輪番に報告し、質問討議を重ねる。</p> <p>〔後期〕 前期のゼミで、ばらばらに取り上げられた人物について、相互の関係をつけていく。そのために、「榊（賢木）」の巻を読んでいく。</p> <p>繰り返すが、『源氏物語』の全体像をつかむのは簡単ではない。が、得るものは大きいはずである。各休暇ごとに課題を出し少しずつ積み重ねていくので、頑張っついてきてほしい。</p>	
【評価方法】 定期試験時レポート・課題レポートによる。	

【授業科目名】 教養演習I

【担当者】 栗田廣美

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】 【日本近代文学を読む】 文学作品を素直に読み、自分内部にわき出るイメージを鮮明につかみ、このイメージにじっくりと向き合うこと。これが、文学研究の基礎だ。一年次は、「読む」ことの魅力に接し、「読む力」を強める事をめざす。諸君が、「好きで好きでたまらない」作家・作品にめぐりあうことを望みたい。

【テキスト・参考書】

教科書は用いない。最低、年間五十作品程度は読むことをめざしてほしい。

授 業 計 画

- 文学は芸術であり、芸術は何かのための手段ナドである前に、それ自体の「世界」（広大無辺のイメージ世界）をもっている。文学研究にとって何よりも大切なことは、この「イメージ・想像の世界」が好きであること、次にイメージをつかむ能力（感受性、イメージ力、アンテナ）を、徐々に鍛えることだ。
 - ・ ところで「イメージをつかむ能力」は、自ら訓練すれば、必ず（絶対に必ず）誰でも、鍛えられるものだ。「読む」こと自体によって、「読む」鋭さは驚くほど発達する。そして、この事は、（少し慣れれば）面白くてたまらないはずだ。「文学」はもともと、「面白い」からこそ存続してきたのだから。
- そのためには、先ず「量」なのだ。この「量」が土台になって、「読む」鋭さが増し、「イメージ世界」の魅力も一段と増す。……で、栗田ゼミに入る諸君は、最低、年間五十作品ほどをめざし、文学作品を「読みまくる」ことになる。
 - ・ 課題とする作品は、（基準となるリストは配布するが）一定の枠内で自由。日本近代文学を中心とするが、一年次の内は（希望があれば）外国文学も可。
- ゼミでは、諸君は順番に、読んだ作品に関する発表をすることになる。最初の内はとまどうだろうが、自らつかんだイメージを言葉にすること、また、他の学生の、自分とは全く違う「読み」を知ることは、大切な刺激となるだろう。
 - ・ 前期の内は、僕が、諸君の発表をフォローする。後期は、一方では全員で同じ作品を読み、討論を軸とする本格的なゼミナールを開始するとともに、他方では、二年次の「卒業レポート」を視野に入れての個別指導を始める予定である。
 - ・ 年間何回か、レポートを書いて、自らの思考をまとめる訓練もする。

【評価方法】

平常点。特に「読もう」とする積極性を重視する。随時のレポートも加味する。

【授業科目名】 教養演習Ⅰ「日本芸能文化史」 【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】 日本の芸能文化はそれぞれの時代の中で、きわめて特色のある表現を完成し、人びとの圧倒的な支持を受け成り立ってきた。
この芸能文化の流れを追うとともに、各時代の特色を洗いあげ、海外からの影響を分析し、現代の芸能文化をも探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種芸能文化関係書(その都度指示する)

授 業 計 画

芸能は宗教儀礼に発したとされており、その祈りの庭の中でさまざまに展開し、祭りの響宴の芸能として成立するようになった。そして、非日常的な身体的行動は、やがて音楽的、舞踏的、演劇的な表現を生み出すことにより、人びとの生活の中の娯楽として定着し、さらに洗練された舞台芸術としても鑑賞されるようになった。
これらの芸能文化の変遷を辿りながら比較研究を進め、芸能文化の本質を探究する。

1. 古代から現代までの芸能文化の課題を設定
2. 課題の内容を分担して調査、研究
3. グループによる報告、討論
4. 研究の結果のまとめ

【評価方法】

1. 演習時のレポート
2. 演習時の平常点

} 左記2項による総合評価

【授業科目名】	教養演習I 「英米児童文学への探検」	【担当者】 田中 安行
【開講期】	1年前期・1年後期	
【授業目標】	英米児童文学は楽しく明るい中に若い人達にこれからの人生をどのように生きていくべきかを考えさせる傑作が多い。友だちや家族、愛や人間の生きる意味や、社会、自然、環境など様々な問題が純粋な形で取りあげられている。英米児童文学の歴史も学びながら各自で原作を選んでそれぞれの作品の楽しさや意義について研究していく。	
【テキスト・参考書】	定松正「英米児童文学の系譜」こびあん書房 神宮輝夫「現代イギリスの児童文学」理論社 小原信「ファンタジーの発想—一心で読む5つの物語」新潮社 タウンゼンド「英米児童文学の歴史」岩波書店	
授 業 計 画		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 初めに英文で作品を読みながら「子ども観」について考える。 2. 次に英米児童文学のあゆみを調べながら代表的な作品について考える。 3. 上記の過程で各自の研究対象となる作品を選び、原文を読み始める。 4. 原文の読みはきめ細かく行い、自分の感性と理解力によって問題点を発見していく。 5. 各自が発見した問題点を出し合って討論しながら、さまざまな角度から問題を深く追求していく。 6. 2年生の卒業レポートへの準備としてノートテイキングの方法や参考文献の調べ方などにも慣れる。 		
【評価方法】	平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行う。	

【授業科目名】 教養演習Ⅰ	【担当者】 富永静枝
【開講期】 1 年 前期・後期	
【授業目標】 <p>激動する現代社会にあって、女性を取り巻く社会状況や問題状況を正しく認識し、それらの問題を将来における自らの問題としてとらえ、問題解決への意欲をもてるようにしたい。</p>	
【テキスト・参考書】 <p>参考書は授業を進める過程で紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>現代女性論ゼミ(Ⅰ)</p> <p>いま、女性のライフサイクルは大きく変化し、女性もさまざまな生き方を選べる時代になって来ました。しかし、学校や家庭で男女差別を受けることの少なかった女子学生達も一旦社会にでると様相は大きく変わって来ます。最近の女子学生の就職状況の困難性にも見られるように、職場での男女差別は依然として残っているし、女性の生き方は家族との関係によっても大きく左右されます。自分の持っている能力を十分に開花させながら幸せな人生を送りたいとはだれもが願うことです。このゼミでは女性としての望ましい生き方を模索するために、女性をめぐる社会状況の変化を正しく把握するとともに、各ライフステージごとにどのような問題があるのか、また家族や家庭のあり方や社会システムについて、日本だけでなく諸外国との比較を試みながら、21世紀に生きる男女のあり方や望ましい社会システムについて考えていきます。</p> <p>1年間のスケジュールは以下のように考えていますが、ゼミ員の興味や関心によって、相談しながら若干の変更を行うこともあります。</p> <p>年間スケジュール</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、当初2~3回は個人又はグループに別れて、女性をめぐる最近どのような問題があるのかを雑誌『女性情報』を中心に調査を進めます。 2、ついでそれらの調査結果をもとに、ライフスタイル、女性と労働、家族・家庭、女性と社会保障、女子教育、男女平等をめぐる諸外国の動きなどにわけて、各人が最も関心を寄せた問題をとりあげ女性問題の所在を明らかにします。 	
【評価方法】 <p>通常のゼミにおける発表内容およびレポート。</p>	

【授業科目名】 教養演習Ⅰ	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年 前期 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカの作家マーク・トウェインの代表作『ハックルベリー・フィンの冒険』を細かく読んでそのアメリカ的特徴を詳細に検討する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p><i>Adventures of Huckleberry Finn</i> (版は未定、2,000円くらい) いま『ハック・フィン』をどう読むか(京都修学社) 2,500円</p>	
授 業 計 画	
<p>まずは翻訳で作品を読んで内容を把握してもらおう。</p> <p>次に原書の精読に入る。出来れば1時間に1章ずつ進みたい。42章あるので、2年までかけて読了する予定。</p> <p>1時間の授業の中では、まずレポーター(2名)に報告してもらおう。報告する内容はあらすじだけではない。歴史的な事象も含め細かく調べて、その部分の問題点も指摘してもらおう。その後、みんなで内容についての討論を行う。</p> <p>マーク・トウェインのその他の作品については用意する文献資料を参考に各自で読破してもらいゼミの中では、その経験も生かしてもらおう。</p> <p>英語を読めるようにすることも目標だが、英語、日本語問わず大量に読んでもらう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>年数回にわたるレポートとゼミ内発表に出席、平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目名】 教養演習Ⅰ 「日本女性史」 【担当者】 西村 汎子

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】 日本女性史をテーマとする演習であるが、1年の前期は女性史研究の前提として、現代の女性問題ないし家族の問題を研究する事とする。それによって、漠然と女性史に向かうのではなく、問題意識を持って学ぶようにしたい。その後、日本の女性と家族の変遷についての基礎的な学習をする。

【テキスト・参考書】 テキスト：『無敵なOLになる法』（岩波ブックレット）
『日本女性の歴史—性・愛・家族』（角川書店）
参考書：『婦人労働の実情』（労働省婦人青少年局）ほか。

授 業 計 画

I. 現代女性問題

戦後、女性の地位はいちじるしく向上したが、不況になればたちまち女子学生の就職が困難になるように、女性はその能力を活かして働くのは容易ではない。さらに結婚し子供を育てつつ働くのはなおのこと容易ではない。男女が協力し合って働き、健全な家庭を築いていく上で、現在、どんな問題があるのか、どんな解決法が考えられるのかを模索したい。

テキストを手がかりにしながら、問題点を出し合い、それぞれが問題を分担して調査報告を行い、それについて討論し合う方法で授業を進めていく。学生たちの反応によって異なるが、たとえば次のようなことについて話し合っていくことになろう。

- 1) 恋愛と結婚・離婚
- 2) 女性の職業について
- 3) 賃金と労働条件
- 4) 男女雇用機会均等法について
- 5) 働くことと子育てとの両立
- 6) 老後の問題 その他。

II. 日本女性史

- 1) 原始古代
- 2) 中世
- 3) 近世
- 4) 近代
- 5) 現代

【評価方法】 平常点および期末のレポートによる。

【授業科目名】 教養演習Ⅰ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本近現代史についての基本的な文献を輪読することにより、この時期についてのそれぞれのイメージを豊富化することをめざしていきたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：ゼミの構成メンバーが確定した後、皆で相談して決める。</p>	
授 業 計 画	
<p>次のような形式で輪読を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何冊かの基本的な文献を皆が分担し、報告と討論を重ねながら読み進んでいく。 ・ゼミ構成員は必ず何度か報告者としてレジュメをつくり報告する。 ・報告者になった場合は、分担部分について参考文献等に当たり、さらに細かく調べ、報告に盛り込むとともに、質問に答えられるよう準備する。 	
<p>【評価方法】</p> <p>報告内容等により評価する</p>	

教職科目

【授業科目名】 教育原理	【担当者】 黒田 瑛
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習社会としての今日における教育の在り方について考えさせ、そのような視点から教育の目的、内容、方法、制度にわたり、その歴史と現状、そして課題を理解させることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは最初の授業で指示する。 参考書の紹介は随時行う。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>わが国の教育の現状の検討と改革の方向についての考察を通し、教育の将来について学生が自分なりのしっかりとした視点をもって考える力を養いたいと願う。</p> <p>講義の主な内容は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> I. 「教育」の本来の意義・役割を考え、近代を中心として教育思想とその実践について話す。 II. 日本の教育の歴史（主として明治以降）、ことに第2次世界大戦後の歴史を概説し、教育基本法の成立とその思想を説明する。 III. 学校教育法、同施行規則等および学習指導要領をとり上げ、わが国の学校教育を規定する法令上の枠組みを理解させる。 IV. 学校の教育活動について教育課程および学習指導と生活指導について話し、教師の働きと課題を考える。 V. 教育の場として学校教育と対比して家庭教育と社会教育の特徴を論じる。 	
<p>【評価方法】</p> <p>① 学期末の試験 ② レポート提出</p>	

【授業科目名】 教育心理	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 教育心理学概説の概説が内容です。 教育活動への参加のための方法論を身につけます。	
【テキスト・参考書】 テキスト：なし 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 澤田慶輔「学校教育心理学」、他	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 序：心理学と教育心理学 心理学と教育心理学との関連について 2. 児童・生徒の行動理解(1) 発達心理学と児童・生徒の行動理解 3. 同 (2) 中学生の行動の特質 4. 性格論について(1) 基本的な性格論についての紹介 5. 同 (2) 同 6. 教授法について(1) 7. 同 (2) 集団討議方式を中心に 8. 学習技能 基本的学習技能について紹介する。 9. 教育評価(1) 相対評価と絶対評価 10. 教育評価(2) 教育評価のパターン 11. 生徒指導と進路指導(1) 12. 同 (2) 	
【評価方法】 平常点，レポート（予定）	

【授業科目名】 道徳教育の研究	【担当者】 黒田 瑛
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>道徳とは何かを考え、道徳を教えるとは何を目ざすのかを学ぶ。今日の学校における道徳教育の意味とあり方、そしてそれを実施する教育計画の実際についての理解を与えることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：大浦 猛編『望ましい性格の形成』（教職教養 教育学Ⅳ 山文社） 文部省『中学校指導書 道徳編』（大蔵省印刷局）</p> <p>参考書：藤田昌士『道徳教育－その歴史・現状・課題－』（エイデル研究所）</p>	
授 業 計 画	
<p>学生がこれまで受けてきた家庭や学校における道徳教育の経験について感想や意見をきき、日常的に出会う道徳的葛藤などについても話し合いながら授業をすすめたい。</p> <p>主な学習内容を大別すると次の通り。</p> <p>I. 道徳を教える、学ぶということを教科の学習の場合と比較して、その特性を明らかにする。「道徳」とは何かを論じ、道徳的主体性を養うことが教育の目標であることを説く。</p> <p>II. 子どもの道徳性の育ちの視点から今日の特徴を考え、無道徳から他律、そして自律へとすすむ子どもの道徳性の発達を示す。</p> <p>III. 学習指導要領により小・中学校における「道徳」の目標と内容を話し、これを実施するための学校における道徳教育の全体計画、「道徳」の時間の年間指導計画、そして「道徳」の時間の指導案の書き方と評価までを実例によって説明する。</p> <p>IV. 教科の授業、特別活動、生徒指導など学校における他の教育活動と道徳教育との関連を明らかにする。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>① 学期末に試験 ② レポートの提出 ③ 授業への出席と参加</p>	

【授業科目名】 特別活動の研究	【担当者】 黒田 瑛
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>教育課程の中における特別活動の位置と、子どもたちの自主的、体験的活動としての特別活動が今日の教育においてもつ意義、およびその計画的実施について学習することを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大浦 猛編『望ましい性格の形成』（教職教養、教育学Ⅳ）山文社 • 文部省『中学校指導書 特別活動編』（大蔵省印刷局） 	
授 業 計 画	
<p>主な学習内容を大別すると次の通り。</p> <p>I. 特別活動（教科外活動）の歴史、および特別活動の特質と目的</p> <p>II. 現行の学習指導要領における特別活動の諸分野〔学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事〕とそれぞれの活動の特質、内容と指導上の留意事項</p> <p>III. 特別活動実施の指導計画と評価</p> <p>IV. 特別活動と学校における他の教育活動（各教科、道徳等）との関連</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>① 学期末に試験 ② 授業への出席と参加</p>	

【授業科目名】 生徒指導の研究	【担当者】 小貫 栄
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>主として中学校における生徒指導の意義を知るとともに、その問題点をさぐる。さらにその対策を考察し、中学校教師としての取り組みを探求する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト ①「生徒指導の手引き」（文部省）----- これを主とする。 ②学習指導要領（中学校編）----- 文部省 ③望ましい性格の形成（山文社）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>〈序章〉 教育・学校教育・中学校教育についての概観</p> <p>①教育制度の変遷と現在の中学校の位置</p> <p>②中学校における教育課程と生徒指導とのかかわり （付「学習指導要領」の意義について）</p> <p>③生徒指導の意義と課題</p> <p>④青年期の心理と生徒指導</p> <p>⑤生徒理解について</p> <p>⑥教科・道徳・特別活動 —— との関連について</p> <p>⑦教育相談について</p> <p>⑧進路指導について</p> <p>〈終章〉 よき教師像を求めて —— （特に中学教師として）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>「レポート」に平常点を加味する。</p>	

【授業科目名】 国語科教育法

【担当者】 丸尾寿郎

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 国語科教育法とはなにか。その本質と実際について研究し、中学校での学習指導や具体的な授業法をさまざまに研究し、創造的で実践的な指導の力量を身につけることを目標とする。

【テキスト】

1. 「中学校国語」教科書を使用する。
2. 「中学校指導書・国語編」(文部省)を併用する。

授 業 計 画

国語を教えるということとは、国語の教科書教材(小説や詩や説明文など)を教えることと同じなのか、ちがうのか。

そうしたことを考えることから始めて、国語科教育の本質と内容を研究していく。

「学習指導要領」や「中学校指導書・国語編」を読み、中学校教科書の(中学校)教材のいくつかを取り上げて、学習指導の手法を研究する。

教材の分析、解釈をはじめとして、学習指導案づくりの研究など、具体的な指導方法への展開をはかる。

授業を通じて中学校での国語科教育の実践的な力量(わかるように教える指導力)が身につけられると考えている。

また、中学生は、どんな先生を求めているか。学習について生徒が何人とうに求めているもの一言がたい、矢張りたい、わかりたい、できるように存りたいという切実な欲求—に誠実に応える教師になる努力をするために、相互に発表しあったり、指導案を検討し合ったりして、生徒理解とともに、実際に役立つ教育方法を追究していきたい。

【評価方法】

レポートと平常点 および出席状況を総合して評価する。

【授業科目名】 教育実習	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年前期・1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>二年次になって実際に中学校に行き、(狭義の)「教育実習」をするための準備的な科目が、この一年次の(学内における)「教育実習」という科目である。実り豊かな中学校での実習のために必要な、学習と訓練をめざしている。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>教科書は使用しない。必要に応じて、プリントを配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p>孔子・孟子の昔から、「教室」という「場」は、教師と生徒が作り出す生き物のような空間だったのだろう。この「場」は、日常性の中にありつつも、それを相対化する特殊な緊張を伴っている。時代状況がどう変化しようと、この本質は変わるまい。</p> <p>中学校での教職をめざす諸君が、この「躍動する空間」を実際に体験し、その重みと魅力の中で、「教育」の一つの本質を学びとる貴重な機会が「教育実習」だが、本年度は、その準備として、次のような学習をすることになる。</p> <p>① 「教育実習」に関する認識を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小ゼミ(「教育実習」の意義と役割) ・「授業」というものの研究 (過去の実習生の研究授業ビデオを用いた検討を含む) ・「授業以外の要素」の研究 (過去の実習記録等を用いた検討を含む) <p>② 模擬「授業」実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教室」という生きた「場」を作り出すことの、困難さと魅力に、少しでも接近して行きたい。 	
【評価方法】	

博物館科目

【授業科目名】 生涯学習概論	【担当者】 藤田 博
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 生涯学習及び社会教育についての理解を図るとともに、学習情報提供、学習相談の意義・方法について解説する	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
1、生涯学習の意義と基本的な考え方、及び学校教育・社会教育との関係 関連施策・施設の動向等について社会教育法を中心に学習する。 2、社会教育の意義と基本的な考え方及び社会教育行政・社会教育の内容 方法、指導者と社会教育施設について、補助教材を使用して学習する。 3、学習情報提供、学習相談の意義と内容・方法について事例を中心に学 習を進める	
【評価方法】 平常点・レポート提出	

【授業科目名】 博物館学	【担当者】 柘植信行
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>博物館は、私たちの生活や地域の文化にと`のような関わりをもっているので`しょう。ますます多様化する現在の博物館の現状を学ぶ`ことから出発して、博物館の歴史や理念、その仕事や学会員の役割など`について考えていきます。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 : 伊藤寿朗著『市民のなかの博物館』(吉川弘文館) 講義に必要な資料は、適時配付します。</p>	
授 業 計 画	
<p>(博物館概論) オリエンテーション-博物館とはなにか- 博物館の種類と分類 博物館の歴史 博物館の現在-博物館・美術館・水族館・エコミュージアム……- 地域博物館の展開 生涯学習と博物館の課題 博物館の法律 博物館をつくる-構想から開館まで`-</p> <p>(博物館経営論) 博物館の行財政制度 博物館の施設と設備 博物館事業-教育・普及活動- 博物館と学会員-学会員資格とその仕事- 博物館とホ`ランテニア</p> <p>(博物館資料論) 博物館資料の収集と保存 展示とはなにか-常設展と特別展- レプ`リカの活用-意義と作成方法- 博物館の調査・研究活動 文化財保護・遺跡保存と博物館</p> <p>(博物館情報論) 博物館での情報の意義 博物館での情報の提供 博物館での情報の活用 情報機器の活用と方法</p> <p>(以上、主なテーマを列記しましたが`、講義で`は前後する場合があります。)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>① レポ`ート ② 博物館見学発表・感想文</p>	

【授業科目名】 博物館実習

【担当者】 上野 光子・高橋 秀雄

【開講期】 1年前期・1年後期

【授業目標】

学芸員として実際の場に臨む場合に必要な心構えと、基礎となる知識・技術の修得を目標とする。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない。必要に応じてプリントを配付します。

参考書：全国大学博物館学講座協議会関西部会『博物館学概説』ほか。

授 業 計 画

広範に渡る学芸員の仕事の中から人文科学系に絞り、下記の項目にそって、講義1実習3を目安に授業を進めていく。見学によりなるべく多くの実例を学び、同時に作品に接する際の気構えやマナーも重視する。2年次には実際に博物館施設において実務実習を行います。

- (1) オリエンテーション：博物館実習とは、授業計画、博物館法
- (2) 学芸員の仕事と現状、実習と図書、博物館の広報活動
- (3) 博物館施設の実際：国立博物館等の見学2回、事前事後講義、レポート提出
- (4) 資料作成
 - ・ 2次資料とは
 - ・ 拓本：タンポ・墨作り、屋外拓本
 - ・ 裏打：くいざき、作図方法
 - ・ レプリカ作成
- (5) 展示と保管
 - ・ 展示環境
 - ・ 劣化と保存科学
 - ・ 展示施設と方法
 - ・ カタログ、作品解説
- (6) 梱包と運搬
- (7) 美術工芸品の取り扱い方と種類・技法：
掛軸、卷子、折本、冊子、屏風、面、金工品、漆芸品、陶磁器、彫刻、茶道具等
- (8) 写真の基礎知識

2年次

- (1) 博物館見学：4箇所、事前事後講義、レポート提出
- (2) 館務実習：1～2週間程度、事前事後講義、レポート提出

【評価方法】

(1)レポート、(2)作品、(3)平常点、(4)出席数、(5)館務実習評価、の総合点。

【授業科目名】 教育学概論	【担当者】 黒田 瑛
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習社会としての今日における教育の在り方について考えさせ、そのような視点から教育の目的、内容、方法、制度にわたり、その歴史と現状、そして課題を理解させることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは最初の授業で指示する。 参考書の紹介は随時行う。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>わが国の教育の現状の検討と改革の方向についての考察を通し、教育の将来について学生が自分なりのしっかりとした視点をもって考える力を養いたいと願う。</p> <p>講義の主な内容は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> I. 「教育」の本来の意義・役割を考え、近代を中心として教育思想とその実践について話す。 II. 日本の教育の歴史（主として明治以降）、ことに第2次世界大戦後の歴史を概説し、教育基本法の成立とその思想を説明する。 III. 学校教育法、同施行規則等および学習指導要領をとり上げ、わが国の学校教育を規定する法令上の枠組みを理解させる。 IV. 学校の教育活動について教育課程および学習指導と生活指導について話し、教師の働きと課題を考える。 V. 教育の場として学校教育と対比して家庭教育と社会教育の特徴を論じる。 	
<p>【評価方法】</p> <p>① 学期末の試験 ② レポート提出</p>	

司書科目

【授業科目名】 生涯学習概論	【担当者】 藤田 博
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 生涯学習及び社会教育についての理解を図るとともに、学習情報提供、学習相談の意義・方法について解説する	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、生涯学習の意義と基本的な考え方、及び学校教育・社会教育との関係 関連施策・施設の動向等について社会教育法を中心に学習する。 2、社会教育の意義と基本的な考え方及び社会教育行政・社会教育の内容 方法、指導者と社会教育施設について、補助教材を使用して学習する。 3、学習情報提供、学習相談の意義と内容・方法について事例を中心に学 習を進める 	
【評価方法】 平常点・レポート提出	

【授業科目名】 図書館概論	【担当者】 椎葉 倣子
【開講期】 / 年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習社会における図書館について考察する。図書館の機能・種類から始めて、図書館政策・行政など社会との関連を学ぶ。これらの基本的な知識は司書科目すべてを理解するのに役立つであろう。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>「図書館学基礎資料」 今まど子・中村初雄 編著 樹村房</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館とその機能</p> <p>図書館の種類と現状</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国会図書館 2. 公共図書館 3. 大学図書館 4. 学校図書館 5. 専門図書館 6. 類縁機関 <p>図書館の組織と運営</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館政策・行政・法令 2. 施設 3. 図書館資料・組織化 4. 図書館サービス 5. 図書館員 6. 図書館評価 <p>図書館協力とネットワーク</p> <p>図書館の自由</p>	
【評価方法】	

【授業科目名】 図書館経営論	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 生涯学習にたいする国民の意識の高まりと、増大する図書、および情報ネットワークの拡大は、図書館の役割をますます大きくしている。新時代にふさわしい明日の図書館をつくるために、図書館員は自分たちの図書館をどのように位置づけ、どのように運営してゆくべきかについて学ぶ。	
【テキスト・参考書】 参考書：『図書館・情報センターの経営』（けい草書房 情報学シリーズ4.）	
授 業 計 画	
<p>図書館が学校・大学・研究機関および市民社会の中で教育・研究と文化の向上のために十分に効力を発揮するためには、館員自身が日常業務の中に埋没することなく、一定の理念のもとに、その図書館が置かれている状況に見合った利用者のための計画を立て、外部機関とも連携しつつどう運営していったらよいかを考えるべきである。</p> <p>(1) 図書館経営の基本思想—生涯学習との関係をふくむ (2) 行政およびその他の部局との関係 (3) 図書館の管理と運営 (4) 図書館長と館員の役割・関係と研修 (5) 図書館サービス計画の意義と方法—調査・広報の発行をふくむ (6) 図書館の整備計画と設備 (7) 図書館の業務およびサービスの評価 (8) 情報ネットワーク形成の意義</p>	
【評価方法】 筆記試験またはレポート	

【授業科目名】 情報検索演習	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 表計算ソフトウェアの実習を通してデータベースの作成と検索方法を学ぶ。コンピュータを用いた情報検索の基本的な手法を理解するとともに、ネットワーク環境を利用した情報の探索・検索についても知識を得ることをめざす。	
【テキスト・参考書】 特に指定しない。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報検索の基本的な考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 概念の抽出 ・ 索引項目の構造 ・ 見出し語の選定 ・ シソーラスの意義と活用 2. 表計算ソフトの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表計算ソフトの基本 ・ 表計算ソフトによるデータベースの作成と情報検索 3. ネットワーク環境におけるデータベース <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク環境でのデータベースの構築 ・ ネットワーク環境でのデータベースの検索 	
【評価方法】 学期中と学期末に課題をネットワーク経由で提出させ、それを評価する。	

【授業科目名】 図書館資料論	【担当者】 椎葉 伸子
【開講期】 / 年	後期
【授業目標】 利用者に資料を提供したり、また、図書館資料にもとづいて情報を提供したりするのは、図書館の重要なサービスである。そのために図書館資料全般について学んでゆく。	
【テキスト・参考書】 「図書館学基礎資料」 今まど子・中村初雄 編著 樹村房	
授 業 計 画	
図書館資料とは 意義・種類・特性 資料の出版流通（図書中心） 資料の構成 構成方針 収集・受け入れ（評価・選択） 管理・保存・利用 除架・廃棄 非図書資料 逐次刊行物・AV資料・マイクロ資料・CD-ROM 各種コレクション 図書館資料と図書館協力 図書館資料と知的自由	
【評価方法】	

【授業科目名】 資料組織概説	【担当者】 椎葉 伸子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館目録は、まず利用者が図書館資料及び情報を検索利用する際に不可欠なこと、次いで図書館資料の管理・保存の機能があることを理解させる。また、現在カード目録からコンピュータ目録へ移行中であり、総合目録の作成・利用が可能となって、図書館サービス全般へ関連の生じていることにも言及する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>「資料組織法 第3版」 志保田務 高鷲忠美 共著 第一法規出版 「日本目録規則 1987年版 改訂版」 「日本十進分類法 第9版」 「基本件名標目表 第3版」 「国立国会図書館件名標目表 第5版」 「JAPAN/MARC マニュアル 第3版」 「目録システム利用マニュアル データベース編 改訂版」 「目録情報の基準 第2版」</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 図書館目録の意義・機能 目録規則：1987年版を中心に 記入の作成：記述、標目（アトポイント）、標目指示・カード形式、データシート形式 典拠ファイル：著者名典拠ファイル</p> <p>2. 書誌階層の概念</p> <p>3. 分類の意義・機能 分類表：日本十進分類法を中心に 分類作業：分類表の理解、分類記号付与 主題検索：件名法・基本件名表（第3版）、国立国会図書館件名表目表（第5版） その他：書誌分類、シソーラスなど 目録の活用：作成に留まらず利用促進・利用案内、パスファインダーなど 図書館目録の現状：書誌ユーティリティ、標準化など</p>	
【評価方法】	

【授業科目名】 資料組織演習

【担当者】 椎葉 伸子

【開講期】 / 年前期・後期

【授業目標】

一般的な図書の見録作成（リジナルカギ）ができることを目指す。また、外部の書誌データを利用する際に、書誌事項の評価が出来るようにする。図書館内で利用者に見録利用についてサービス出来るようにする。

【テキスト・参考書】

- 「資料組織法別冊 演習問題集 緑版」 第一法規出版
- 「日本見録規則 1987年版 改訂版」
- 「日本十進分類法 第9版」
- 「基本件名標目表 第3版」
- 「国立国会図書館件名標目表 第5版」
- 「日本著者記号表 改訂版」

授 業 計 画

記入作成：カード形式により基本的書誌データを学ぶ

図書記号：日本著者記号表等により請求記号を与える

分類作業：日本十進分類表の要目表、一般補助表を用いて分類記号を与える

件名作業：基本件名標目表、NDL件名標目表により件名標目を与える

以上の演習は、最初演習問題集を使用し、ついで図書そのものを使用して実施する

コンピュータ見録：図書に関して書誌データを作成し、データシートに記入、コンピュータに入力する。J-BISCからダウンロードしたデータと共にデータベースを作成し、出力や検索の演習をする。

見録利用対策：見録利用案内、パスファインダーなど。

【評価方法】

【授業科目名】 児童サービス論	【担当者】 東喜望
【開講期】 1 年 前期 (集中)	
【授業目標】 人生の人格形成期において、児童期はその基盤を成す最も重要な時期である。この時期に、児童が人間として何を欲し、何を求めているか、その正当な知的欲求をまず把握し、これに正しく応えるためには、どんな書籍を、どのようなサービスによって読ませていくかを考察する。	
【テキスト・参考書】 適宜指示する。	
授 業 計 画	
<p>講義は、およそ以下の項目によって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コトばと思考 2. 人間の言語活動 3. 「読む」ことの意義 4. 少年少女期の特性と読書傾向 5. 児童図書としての良書とは何か。 6. 読書指導と選書の方法 7. 児童図書とサービス 	
【評価方法】 筆記試験	

【授業科目名】 図書及び図書館史	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書および情報手段の発達・普及と利用者の要望の高まりは、図書館を国民のための開かれた情報センターとする条件をつくりつつある。図書館の歴史の中から人々の努力の跡を辿ると共に、図書館の未来の活動や運営に向けての課題を考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書：岩橋敏生他共著『新図書館ハンドブック』（雄山閣） 石井敦編『図書および図書館史』（講座：図書館の理論と実際10 雄山閣）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>図書および図書館の歴史は、社会のごく一部の人々が享受するに過ぎなかった図書および各種の情報が、あらゆる人々のもとに生涯を通じて迅速に提供されるものへと変化発達しつつある歴史である。情報は誰でも入手できると同時に、その内容も教育・研究の必要や地域の人々の要望に十分に応えるものでなければならない。</p> <p>第1章 日本一近代以前の図書と図書館の歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 紙の移入と書写の始まり (2) 古代における印刷・文庫・分類項目の発生 (3) 中世における出版事業・学校文庫・書籍目録の成立 (4) 近世における文庫の発達・庶民の読書要求と出版物取り締まり <p>第2章 日本一近代以後の情報化の発達と図書館の歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 近代図書館の発生一公立図書館の二つの道 (2) 日本資本主義の発達と図書館一公立図書館の定着 (3) 大正デモクラシーと図書館一臨時教育会議の答申・労働者農民の図書館 (4) 軍国主義体制下の図書館一思想言論の抑圧・戦争の被害 (5) 敗戦後の図書館一図書館の自由に関する宣言の採択 (6) 民衆のための図書館へ一野図書館のスタート・自治体行政の前進 (7) 情報化の発達と図書館の新たな課題 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験またはレポート</p>	

【授業科目名】 情報機器論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 汎用情報機器としてパーソナルコンピュータを取り上げ、ワープロとしての利用をはじめ、ネットワーク環境でのコミュニケーション能力養成のための電子メール、ネットワークニュースの利用などの実習を行い、ネットワーク時代に対応できる情報メディアリテラシーの基本を修得することをめざす。	
【テキスト・参考書】 特に指定しない。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な情報メディアリテラシーの修得 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・キーボードリテラシーの養成 2. ワードプロセッサとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・編集機能の活用 ・保存機能の活用 ・思考ツールとしての活用 ・プレゼンテーションツールとしての活用 3. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・電子メール、ネットワークニュースの仕組み ・電子メール、ネットワークニュースによる情報交換 ・World Wide Webによる情報の探索と提供の基本 	
【評価方法】 学期中と学期末に課題をネットワーク経由で提出させ、それを評価する。	

教養教育科目（2年）

【授業科目名】 総合科目 人間	【担当者】 吉川・浅井・村田・富永
【開講期】 2年前期 ・ 2年後期	
【授業目標】 「環境を考える」という統一テーマで、4名の教員がそれぞれの専門的立場から、地球の問題として、健康の問題として、教育の問題として、経済学的な視点からの問題としての環境をとりあげる。	
【テキスト・参考書】 テキストは使用しない。参考書は授業の中で各教員によって指示される。	
授 業 計 画	
I 宇宙船地球号の環境を考える 1. 主体と環境－ゾウの環境ネズミの環境 エコロジーの意味するところ 2. 大気環境 二酸化炭素・オゾン層 3. 水の環境 ミネラルウォーターと天然水 酸性雨・富栄養化・水汚染 4. 緑の環境 樹木のライフサイクル 森林と砂漠化 5. 生物－環境モニタリング 生物の多様性と種の保全 (6.) 地球環境と人類 持続可能な消費は可能か Reduce・Recycle・Reuse II 教育環境を考える(子どもをとりまく環境) 1. 世界の子どもの生活環境 ユニセフ「世界子供白書」から(困難な条件の中で生活する子どもたち) 2. 子育て環境としての家族の現在 家族の養育機能について(子育て不安 子供の虐待 子育てと家族) 3. 学びの環境としての学校の現在 学校とは(いま学びの楽しさ 出会いの楽しさは?) 4. 遊び環境の変容 アナーキースペースとしての遊び環境 遊びと子どもの人格形成 5. メディア環境と子どものセクシュアリティ メディアの有害性とはなにを意味するのか メディアが子どものセクシュアリティに与える影響 III 環境と健康 1. 温熱環境への生体反応(・ホメオスタシス・調節と適応、順化) 2. 暑さの健康科学(・暑さに対する体温調節・熱中症・暑い地方の人々) 3. 寒さの健康科学(・寒さに対する体温調節・凍死・寒い地方の人々) 4. 暑さ寒さと日本人(・耐暑性・耐寒性・男女差) 5. 至適温度への働きかけ(・暑さ、寒さへの対応・健康と冷暖房・) IV 戦後50年、日本経済の発展と家族・家庭生活の変化 1. 戦後における日本経済の発展過程 2. 戦後50年における家族・家庭生活の変化 3. 現代勤労者家族の経済生活をめぐる諸問題	
【評価方法】 試験の時期と評価方法は担当教員によって異なり、授業時間に担当者によって指示される。	

【授業科目名】 総合英語Ⅱ－1、2

【担当者】 長尾主税

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

平易な英文の読解を中心に、基本的な英語運用能力の向上を目標とする。

【テキスト・参考書】

開講時に指示する。

授 業 計 画

平明な英語で書かれたさまざまなタイプの文章を読む。
異国の文化的背景を知り、そこに描かれた問題が自国のものと実際に共通するものなのかどうか考察するだけでも、得るものは大きいと考えられる。たとえば、英語のロジックの展開の仕方を学べば、小説においてさえも、情緒をしのぐほどに論理が、その構造を支えていることがわかるだろう。また、平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。テキストに関連する映画を鑑賞し、さらに理解の助けとする予定である。

【評価方法】

期末に行うテストおよびレポートの評定に、出席等の平常点を加えて評価する。

【授業科目名】 総合英語Ⅱ－1、2

【担当者】 藤田久美子

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

このクラスでは、アメリカの人気番組のビデオを見ることを通して、内容をきちんと把握すること、また、その中で使われている重要表現を、書き取りや会話練習を通してしっかり身に付けることを目標にする。

【テキスト・参考書】 (1) Amazing Stories Vance E. Johnson 編
KINSEIDO
(2) Vivid Listening Tanaka Akio 他編
SEIBIDO

授 業 計 画

この授業では、S. スピルバーグ制作の“Amazing Stories”の中から“Mummy Daddy”、“Dorothy and Ben”、そして“The Main Attraction”の3本の作品を見ていく。クラスでは、ビデオを1シーンずつ見ながら、内容確認のためのexerciseに答えていく。次に、テキストに載っているscriptを見ていきながら、（またはそのテープを聞きながら）こちらの質問に答えたり、場面ごとのpartial dictationをやる。さらに、その場面に出てくる重要表現を使つてのセンテンスの書き取り、及び友達との会話練習を行う。

授業の準備として、次に見るシーンの要約の文章とscriptをよく読み、分からない所はよく調べて来ること。

補助テキストとしてVivid Listeningを用いる。テープによるdialogueを聞いて正しいイラストを選ぶ問題、及びlistening dictationを行う。

【評価方法】

出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業態度（積極性など）を、だいたい同じ比重で見て評価の基準とする。

【授業科目名】 総合英語Ⅱ－１、２	【担当者】 須藤彩子
【開講期】 ２年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>１年次に培ってきた英語の力を聴解と読解の訓練を通じてさらに高めることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>開講時に指示する。読解中心のメイン・テキストと聴解中心のサブ・テキストの二冊の予定。</p>	
授 業 計 画	
<p>◇ 毎日の授業はリスニングでスタートします。リスニングの解答用紙は集めます。そのあとは、メイン・テキストの読解です。全体を音読してから、内容を考えていきましょう。内容理解に必要な語法はおさえましょう。</p> <p>◇ 前期の小テストは、3～5回程度予定しています（聴解問題も考えています）。前期と後期の最終授業日には必ず学期末最終小テストを実施します。最終小テストの配点はかなり高くなります。なお、遅刻・欠席の場合も追試験はいっさいしないので、必ず当日にうけること。</p> <p>◇ 授業2日につき1回、メイン・テキストに関する宿題の提出日があります。原則として、提出日前の提出はしないこと。また、授業内で解答が出てしまうので、期限に遅れたものは、どんな理由があってもうけとれないので注意すること。</p> <p>◇ 宿題の提出日ではない日に、音読の予習課題を10人前後に発表してもらいます。前期・後期とも、ひとり2回は発表すること。当たっているのに発表できない、ということが決してないように。（万が一あった場合は減点します）</p> <p>◇ 授業時間内にできるだけ力をつけることを目標とした授業なので、積極的に参加すること。すなわち、積極的に発言し、問いに答え、意見を述べ、課題にとりくむこと。特に、音読の練習は大きな声で！音読は、やればそれに正比例して力がつく、たいへんお得な学習法です。なお、ポケットベル・携帯電話などのスイッチは、必ず切っておくこと。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>小テスト・宿題提出・出席・授業参加度を総合的に評価する。出席と宿題に関しては、全出席・全提出が前提とされる。遅刻・欠席の場合は、どんな理由があっても総合点が回数に応じて必ず減点される。それでも、欠席の理由は考慮されるので、無断欠席は控えてしないように。（無断欠席の場合と、回数が多い場合は特に大きく減点される）</p>	

【授業科目名】 総合英語Ⅱ－１、２	【担当者】 照沼かほる
【開講期】 ２年 前期・後期	
【授業目標】 英語の基本的技能の獲得／保持： 学生各自が関心を抱いている分野・ジャンルの理解の一助となる手段として英語を用いる際に、必要となる最低限の英語の能力の獲得およびその維持を目指します。	
【テキスト・参考書】 未定	
授 業 計 画	
<p>「英語力」は、英語に継続的に接していないと衰えてしまうものです。一年次までの授業で培われてきた各参加者の「英語力」を維持して、さらに向上させる役割を果たすことが、この授業の目的です。継続するためには、英語に対してある程度の興味を持つことが必要だと思います。が、これまで英語そのものには特に関心がなかった人にも、英語を通して他の分野、つまり、自分の興味のある事柄・ジャンル（音楽・映画・ファッション・文学・スポーツ・専門科目、等々）の理解を高めることが可能であることをまず知ってもらい、各自の関心事を通して英語に接するという姿勢で、英語の学習の「継続」に望んでほしいと思います。</p> <p>●内容について● 「英語力」とは通常、読む／書く／聴く／話すの４つの技能を指すとされますが、その中心となるのはやはり読む力であると考えます。よって、人数や時間との兼ねもあって、授業は講読が中心になりますが、授業の進み具合と参加者の興味を考慮して、必要に応じて書く／聴く／話す技能のサポートも行う予定です。</p> <p>▲教材について▼ 主に指定のテキストを用いますが、この場合も、授業の進み具合と参加者の興味を考慮して、プリント／リスニング／ビデオ教材をを加えていく予定です。希望者がいれば、英語の歌のリスニングと映画鑑賞を行います。</p> <p>◆進め方について◆ 授業の中心となるのは、テキストの講読と、その内容に関する確認の小テストです。テキストの講読は、語句説明をしてから、参加者を指名して内容を答えてもらい、それにこちらで補足を加える形を取ります。他に、授業の速度に応じて追加教材（講読／リスニングなど）を用いることがありますが、その際には、その内容に関する簡単な小テストも行います。</p>	
【評価方法】 平常点、授業中に行う小テスト、期末テストの成績の合計を、最終評価とします。	

【授業科目名】	選択語学Ⅱ-1、2英語（オーラル）	【担当者】	森田真澄
【開講期】	2年	前期・後期	
【授業目標】	英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。		
【テキスト・参考書】	(予定) Only in America (Activity book) Oxford University Press (1,500円)		
授 業 計 画			
<p>アメリカの若者達が登場するビデオをテキストと共に併用し、彼等のライフ・スタイルを含め、アメリカ生活を視覚的にもインゴイしながら、英語能力を伸ばす。</p> <p>2週間で1ユニット進む。</p> <p>原則として、毎週授業中に小テストを行なう。</p>			
【評価方法】	毎週行なう小テスト---80%	授業への参加度----20%	以上の2点で評価。

【授業科目名】 選択語学Ⅱ-1、2英語（オーラル）	【担当者】 清野茂子
【開講期】 2年前期 ・ 2年後期	
【授業目標】 完璧な構文と発音で会話を行うのではなく、自分なりの方法で、積極的にコミュニケーションを成立させることと、それに伴う応用力を養うことを目標とする。	
【テキスト・参考書】 "Minitalks " Seibido; ¥1,648	
授 業 計 画	
<p>毎時間、各 topics のテーマを土台にして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会話の内容の理解、およびその対応 ・ 相手の話に耳を傾けて、どの位、納得できているか ・ 実際に、自分をあてはめてみる会話 <p>以上の事を、年間を通して training. するので、休まずに取り組んで頂きたい。</p>	
【評価方法】 出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。	

【授業科目名】 選択語学Ⅱ-1、2英語(リーディング)【担当者】長尾主悦

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

4年制大学への編入を希望する者を対象として、読解を中心に試験の問題に対応できるだけの能力を身につけることを目標とする。

【テキスト・参考書】

各人のレベルを確認した後、プリントを配布してテキストに代える。参考書等については開講時に指示する。なお、必ず英和あるいは英英辞典を持参のこと。

授 業 計 画

4年制大学への編入試験には、専門科目や小論文、面接などのほかに、英語が課せられることが多い。そのため編入試験に際して、「論文や専門科目は良くできたが、英語が障壁となった」という事態を免れるために、最低限必要な知識を獲得し、問題に対応できるようにせねばならない。試験の具体的な問題内容としては、英文和訳が中心であるが、大学によっては、文法、整序作文、発音・アクセント、慣用表現等多岐にわたり、大学入試とほぼ変わらない範囲で出題されているものもある。つまり、編入試験をのりきるためには、もう一度大学の入学試験を受けるのと同等の準備が要求されることになる。

各人は、本学を受験した当時の記憶を甦らせ、ブラッシュ・アップに励むことになるが、授業では初歩的な文法を理解した上で、長い論理的文章を読み解く訓練をする。英語による入学試験を経験したことのない者でも、意欲があれば、努力如何で苦手意識克服し、複雑な構造をもつ長い文章を読みこなせるようになる。積極的に授業に参加し、質問し、疑問点を解消して、「次を読もう」という意欲をもてるようになっていただきたい。

実際の試験まで日が限られている(11月下旬から順次実施される)ため、自主学習の負担は大きくなるが、学習すべき教材とその方法については各人のレベルに応じて異なるので、一人ずつ個別にアドバイスする予定である。

より具体的なことについては開講時に述べる。

【評価方法】

出席等、平常点によって評価する。

【授業科目名】 選択語学Ⅱ - 1、2 独語

【担当者】 川原美江

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

絵本や童話などの読物を楽しみながら、ドイツ児童文学の世界を考察する。

【テキスト・参考書】

ハインリヒ・ホフマン作 『ムジャムジャホーナー』 他。

授 業 計 画

まず最初にやさしいイラストを読みながら、これまでに学んだドイツ語文法知識を復習する。次に『ムジャムジャホーナー』に入る。初めに文法を正しく理解した後、絵の力を借りながら生きたドイツ語を日本語訳を試みる。

【評価方法】

出席日数、レポートを総合的に判定する。

【授業科目名】 選択語学Ⅱ－1、2仏語

【担当者】 村山知恵

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

1年間学んだフランス語で、毎年「星の王子様」を読んでいます。フランス語で、一冊読み終えることができたらいいと思います。

【テキスト・参考書】

" Le petit Prince "

授 業 計 画

「星の王子様」は、日本でも大変有名になった童話です。翻訳もたくさん出ているかと思いますが、原文を辞書を引きながら一緒に読みます。フランス語は決して難しくはありませんが、辞書を引くだけでは分からない、歴史的、文化的難しさもあり、その点を、資料やビデオで説明しながら読み進んで行きたいと思います。卒業すれば触れることのないフランス語の、良い記念に一年かけて読み上げましょう。

【評価方法】

レポートによる評価をします。

專門教育科目（2年）

【授業科目名】 日本文学史(中・近世)

【担当者】 近藤健

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】 中・近世 — 政治的には 676 年間、文化的には 約 700 年 — を限られた時間内に学習するのであるから、12 世紀末から 19 世紀半ば過ぎへの時代の大きな流れと、その中で文芸の特質的な問題を取り扱う。

【テキスト・参考書】

新書『日本文学の古典』 第二版 岩波書店

(ほか、必要に応じて補足する。)

授 業 計 画

(主たる項目)

I. 時代の概観

- … 武家封建政権の成立 … 戦乱 … 幕藩封建体制の成立 … 町人文化の発展 …

II. 語りから劇へ

- … 平曲 … 説経節 … 古浄瑠璃 … (人形) 浄瑠璃 …
- … かぶき踊り … 歌舞伎 …
- … 田楽能・猿楽能 … 能・狂言 …

III. 歌(韻文)の世界

- … 和歌 … 連歌 … 俳諧 … (俳句) …

IV. 物語(散文)の世界

- … 説話集 / 軍記物語 / お伽草子 / 仮名草子・浮世草子 / 戯作

【評価方法】

授業ノート・自習ノート / 課題レポート・自主レポートによる。

【授業科目名】 日本文学(古代)

【担当者】久保木寿子

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

女性による初めての仮名散文が、『日記』と呼ばれる形をとって、王朝期に隆盛を見るが、それはどのようなものなのか。まずは読んでみよう。そしてその主題と表現について考えてみよう。

【テキスト・参考書】

前期『蜻蛉日記』はプリントを配布。後期『和泉式部日記』は、岩波文庫本を使用。参考文献については、授業時に紹介する。

授 業 計 画

今期は、王朝日記の中から『蜻蛉日記』と『和泉式部日記』を取り上げる。かなり異質な二作品のそれぞれについて、主題的な特質と時代が抱える問題について考えていく。また和歌と散文の融合によって生じる、表現の特異性に注意し、その主題性との関連について検討していきたい。参考として二人の個人歌集についても取り上げる。

最初に王朝和歌および王朝日記について概説をする。前期は『蜻蛉日記』、後期は『和泉式部日記』を主に、本文を紹介しながら扱い、王朝期の日記成立の意味を総合的に把握する。

【評価方法】

成績評価は、レポートによる。

【授業科目名】 日本文学（近・現代）	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2年前期・2年後期	
【授業目標】 日本の近・現代文学を代表する、重要な「作品」や「作家」をじっくりと研究して、その「読み、理解」を深めること、あわせて、「研究の方法」を身につけることが、目標である。本年は森鷗外、夏目漱石、有島武郎を中心とする。可能ならば、永井荷風の作品にも及ぶ。	
【テキスト・参考書】 上記の作家の代表作をいくつか読んでもらうが、具体的には講義進展の中で、指示する。	
授 業 計 画	
<p>○ まず、森鷗外、夏目漱石、有島武郎、永井荷風という、明治～大正の大作家たちの文学の、それぞれの特徴を論ずる。</p> <p>○ 代表作のいくつかを読んでもらいつつ、彼らの作品を、具体的に分析して行く。講義で扱う作品は、今のところ、次のようなものを考えている。</p> <p style="padding-left: 2em;">森鷗外 『舞姫』『雁』『阿部一族』等</p> <p style="padding-left: 2em;">夏目漱石 初期作品、『三四郎』『それから』『行人』『明暗』等</p> <p style="padding-left: 2em;">有島武郎 『カインの末裔』『或る女』等</p> <p>……なお、これら全てを課題にするわけではない。幾つかを選ぶつもり。</p> <p>どの作家を先に講義するかは、受講生の状態を把握する中で決める。</p> <p>○ すべて講義形式でおこなう（ゼミのように発表を求める事はない）。</p> <p>○ 「作品」について論ずるだけでなく、その「作家」についても、なるべく詳しく論じたい。中でも、彼らに共通する「外国体験」のもつ意味を考えることが、一つのポイントになる。それが、彼らの思想と芸術をいかに育み、どのような意味を持ったか、また、日本近代の文化の流れの中で、いかなる位置をしめるか、という問題に迫りたい。</p>	
【評価方法】 ○ 筆記試験（自筆ノート参照可）。講義に基づき、論ずる形式。 ○ 講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておくこと。 ○ 2、3回の小レポート（10分程で書いてもらう）や出席については、講義の時に述べる。	

【授業科目名】 漢文学

【担当者】 丸尾寿郎

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】 中国古典文学の代表的な作品を精読し、作品の背景にある中国の思想や文化、歴史などについても理解を深める。
作品は日本文学にも影響を及ぼした散文文学をとりあげるが、まず、作品の精読、全篇賞に重点をおく。作品に関連する中国の風土、地理・風俗などは映像で紹介することも考えている。

【テキスト】

近藤春雄編 『中国志小経・伝奇選』 (武蔵野書院)

授 業 計 画

授業はおおよそ以下の項目に沿って進める。

I. 講義： 1. 中国古典文学概説
2. 漢文訓読の基礎

II. 講読： 1. 唐代伝奇小説
2. 明代小説

III. 講義： 中国古典文学が日本文学に与えた影響

【評価方法】

定期試験時に実施する筆記試験による。

【授業科目名】 日本中世史	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>中世の日本はどんな特色を持った社会だったかを考える。当時の支配者は草深い農村や都に住む民衆たちの変化を基礎にどんな支配体制を作ったか。また民衆は何を考えどんな生活や文化を生み出したかを解明していきたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書：『体系日本の歴史』4～8巻（小学館 1988年）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>はじめに、日本の中世の本質に関する研究史を学ぶ。ついで平安末期から社会の深部においてどんな胎動があり、それが政治の上でどんな変化をもたらしたのか、民衆の側で作られた共同組織とその役割、民衆の意識や生活、文化について学ぶ。後半では絵巻物などを活用したいと思っている。講義は次の順序で行う予定である。</p> <p>はじめに</p> <p> 参考文献と日本中世史の諸問題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古代から中世への転換 2. 鎌倉幕府体制の成立 3. 下剋上の社会 4. 中世民衆の意識と文化 5. 日欧文化比較 	
<p>【評価方法】 期末のレポートによる。いくつかの課題のなかから、好きなテーマを選び絵巻物を使って具体像を描く。</p>	

【授業科目名】 日本近世史

【担当者】 西脇康

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】

日本近世史を規定する枠組みについてその大筋を学んだ上、民衆史の視座に立ちながら具体的歴史事例を検討することを通じて、近世の男女関係に投影された歴史性について考察を加えてみたい。

【テキスト・参考書】

特に定めない。必要な文献については、適宜配布ないし指示する。

授 業 計 画

(オリエンテーション)

日本近世史への招待・・・・・・・・・・史料に見る近世男女の葛藤

(近世史総論)

日本近世史を規定する重要な枠組み論として、次の講義を予定している。

- 1, 兵農分離制・・・・・・・・身分制社会の成立
- 2, 石高制・・・・・・・・荘園公領制から大名知行制へ
- 3, 鎖国制・・・・・・・・通信国・通商国との外交体制
- 4, 官僚制・・・・・・・・文書による統治

(近世史特論)

民衆史の視座に立った近世男女関係論として、次の講義を予定している。

- 1, 婚姻風俗の一般的形態・若者宿・娘宿・夜這い・媒酌・年寄・後家
- 2, 男女関係の諸形態・・・・恋愛・許嫁・媒酌・縁組〈嫁入り・婿入り〉・不縁
・離縁・駆落・出奔・心中・不義・密通・強姦
- 3, 男男関係の諸形態・・・・美少年の歴史意義、男気の論理とその世界
- 4, 女女関係の諸形態・・・・美少女の歴史意義、女義の論理とその世界
- 5, 階層別に見る縁組と離縁、家相続の実態
- 6, 家事労働における男女の歴史的役割分担
- 7, 刑法・民法上における男女関係規定の歴史的差異

(まとめ)

日本近世史の現在的位置

【評価方法】

定期試験（自筆ノートと配付資料は持参許可）による。なお、博物館見学とその簡単なレポート提出を義務づける。

【授業科目名】 日本近現代史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>歴史、とりわけ近代史を学ぶことでどのようなことが明らかになってくるのだろうか。現在の私たちをとりまく社会を考える上でも、欠かすことのできない論点がそこには含まれていると思う。私自身が考える近代と現代の接点のようなことから話しを始め、年間を通して、日本の近代化の具体像を検証しながら、その歴史的意味について考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：とくになし</p> <p>参考文献：多数あるので、講義の中で逐次紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>日本の近代化はアジアとの関係をぬきにしては考えられない。維新政府成立直後から、すぐさま、明治国家は、台湾、朝鮮半島、中国大陸との関係を深めていく。しかも、そのあり方は、それら地域を一方的に圧服する姿勢で一貫していたことが特徴であり、中国残留孤児や従軍慰安婦、あるいは南京事件など、現在クローズアップされている多くの問題の発生源もそこに求められる。明治以降の日本の近代史像を明らかにする一つの有効なアプローチとしてこの視角を大切にしたい。現在のアジアの人々が当時の日本をどのように振り返ろうとしているのかを、最新のアジア映画などで知ることからはじめてみたい。そのような視角を軸にしながら、以下のような内容で講義を進めていく（但し、順不同）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近現代史を学ぶこと ・アジアの人々にとっての近代日本 ・日本近代の出発－開国と対外的危機（意識） ・中央集権体制と民権の要求－議会、憲法の役割と特質 ・経済的基盤の確立－アジアとの新たな関係 ・植民地領有国としての日本－脱亜の思想とその実践 ・日本人のアジア感－蔑視と差別の構造 ・デモクラシー状況成立の意義と限界－大正デモクラシー下のアジア進出 ・アジアに乗り出す日本－近代の帰結としての15年戦争 	
<p>【評価方法】</p> <p>年2回のレポート</p> <p>講義の中で、小レポートを出してもらうことがある。</p>	

【授業科目名】 近代と西洋思想	【担当者】 針谷寛
【開講期】 2 年 後期	
【授業目標】 近代社会を担い、推進してきた考え方について、その積極的内容の核心点を明確にするとともに、そこに含まれる問題点を批判的に検討する。この両面について自らの頭で考えていくための素材を提供する。	
【テキスト・参考書】 テキストは使用しない。 参考書は講義のなかで紹介する。	
授 業 計 画	
<p>ドイツ近代の思想家ヘーゲルの社会理論ならびにその後の諸理論を素材として紹介しながら進める。ヘーゲルは19世紀初頭のドイツにあって、ドイツを近代化することが不可欠の課題だと考えながら、その一方で近代社会の含む問題点もいち早く洞察し、両者の葛藤を理論的に解決しようと苦心した人物。それだけに彼の議論をとおして、一方ではヨーロッパ近代の思想家たちが近代社会に欠かすことのできない原則として堅持しようとしたのは何であったか、つまり近代社会像の基本骨格がはっきりと見てとれる。同時に、他面では近代社会と近代思想のかかえこんでいる問題が深くえぐり出される。</p> <p>共同体と個人を軸に議論を進めることになるが、時間が許せば、現代社会における個人の自立や自己決定をめぐる問題等にも論及したい。</p> <p>なお、関連するテーマとして、できれば2年前期の社会思想史を受講されることを希望する。</p>	
【評価方法】 レポートによる。	

【授業科目名】 アメリカ文学講読	【担当者】 中島好伸
【開講期】 2年前期 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカの短編小説を精読して、英語を読む力を養うとともに、文学作品の読み方を学びながらアメリカ文学の精髓に迫る。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p><i>Anthology of American Short Stories</i> (南雲堂) ¥2,000を使用予定</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>英語が読めないと思っている人、「読めない」のではなく「読もうとしていないだけ」であることに目覚めよう。文学作品は、古今東西、同じ人間についての有り様を書いているのであるから多少の読む技術を身につけることで、あとは想像力と文脈によりある程度の内容理解は出来るはずである。この精神に立って、アメリカの短編小説を数多く読んで楽しもう。</p> <p>読む技術については、毎時間プリントを配布して、読むために必要な文法事項等は確認していくあとは、レポーター（一人20行程度ずつ分担）に報告してもらいながら、内容の細かい把握につとめる。</p> <p>どれくらい読めているかは、各自で再度授業部分を読んでもらい、次の時間に、内容を10行程度にまとめてもらう。自分が分かっていない箇所などもこの時書いてもらって良い。これに前後期のレポートをくわえて成績評価を行う。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>内容のまとめと前期一回、後期一回のレポートにより評価する。</p>	

【授業科目名】 英語表現Ⅱ	【担当者】 スワン, W, ローレンス
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していく。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>ありません</p>	
授 業 計 画	
<p>いろいろな分野で使われる言葉の練習もする。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。</p>	
<p>以下のような項目にそって進める。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. friendly greetings 2. making choices 3. misplacing and looking for things 4. using things 5. talking about accidents 	
<p>【評価方法】 成績の基準はクラスでとれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）を元に付ける。</p>	

【授業科目名】 英語表現Ⅱ

【担当者】 マーク コリン

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

このカリキュラムは口頭による英語をもとに、生徒が英語で自らの考えや意見を会話として練習できるようにしている。

【テキスト・参考書】

授 業 計 画

このクラスでは会話が中心であり、次のもので構成されている；配布物をペアになって練習する、オーディオとビデオを聴き、又クラスのテキストも使用する。

クラスのすべての生徒はそれぞれのグループメンバーとの会話に参加する。会話の中には主題の要約や意見を述べることも含む。このコースでは考えを刺激するためにビデオも使用する。

【評価方法】 評 価：このコースの重要視している点が英語で自己を表現することにあることから、テストはすべて口頭で行なわれる。

必要条件：クラスに参加することと、出席することが必要。

【授業科目名】	イギリス文学史	【担当者】 田中 安行
【開講期】	2年前期	
【授業目標】	イギリス文学の大きな流れを縦軸に眺めながら、横軸として各時代の特徴的な作品を取りあげてその時代の人々の生活や考え方、社会思想、時代背景などを考えていく。イギリス文学を学ぶことによって私たち日本人の考え方や生き方を別の視点から眺め、新しい世界に必要な人間性について考えていく。	
【テキスト・参考書】	G・C・ソーンリー「概説イギリスの文学」桐原書店、1995年 川崎寿彦「イギリス文学史入門」研究社出版、1992年 川崎寿彦「イギリス文学史入門」研究社出版、1992年 パット・ロジャーズ「図説イギリス文学史」大修館書店、1990年	
授 業 計 画		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各時代が生み出した特徴的な作品を翻訳又は原文で紹介しながら、その時代背景とそれらの作品の必然性を考える。 2. 文学作品のジャンルの特徴を考えながら、イギリス文学の発展の跡を辿りそれらが現代とどのように関わっているかを考える。 3. つねにイギリス文学の本質を考えながら、多くの文学者、詩人、劇作家に触れてそれらがイギリス的資質の形成にどのように関わっているのかを考える。 		
【評価方法】	平常点とレポート及び筆記試験で行う。	

【授業科目名】 アメリカ文学史	【担当者】 中島好伸
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 アメリカ文学をアメリカの歴史の中に位置づけ、社会の変化と文学の関係を探る。	
【テキスト・参考書】 毎時間コピーを配布する	
授 業 計 画	
<p>アメリカ文学は、アメリカの歴史や国土と密接な関係にある。したがって、独立革命のあたりから、時代を追って文学作品の特徴を紐解いていく。現在、文学史に無視されてきた作家、作品を掘り起こす作業が盛んに行われているが、この講義では、必要に応じて文学史の書き換えについて触れるに止め、従来の文学史に即して、一つの時代に一人の作家を取り上げながら、時代背景の説明や作品の解釈を試みたい。また、文学研究は作品を読まなければ始まらない。レポートを書くに当たってはもちろんのこと、できるだけ多くの作品を読んで欲しい。取り上げる作家は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ベンジャミン・フランクリン『フランクリン自伝』 2) ナサニエル・ホーソン『緋文字』 3) マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』 4) セオドア・ドライサー『アメリカの悲劇』 5) F. スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』 6) ジョン・スタインベック『怒りの葡萄』 7) J.D.サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』 8) バーナード・マラマッド『アシスタント』 9) アリス・ウォーカー『カラー・パープル』 10) トニ・モリスン『ピラヴィッド』 	
【評価方法】 レポート	

【授業科目名】 西洋文学思潮	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2 年 前期	
【授業目標】 どこの国の文学にも、フィクションとはいえ、その国のその時代の真実が含まれているものです。人間として生きる様々な苦悩や喜びを、文学は私たちに伝えてくれます。今年も3作品選び、一緒に読みながら、そんな真実を考えて行きたいと思います。	
【テキスト・参考書】 「悲しみよこんにちは」：フランソワーズ・サガン 「カルメン」：プロスペル・メリメ 「風とともに去りぬ」：マーガレット・ミッチェル	
授 業 計 画	
<p>1 「悲しみよこんにちは」 作者、サガンの時代的背景を説明します。この作品は、一人の少女が、一人の大人に脱皮するときの心がテーマになっています。皆さんの思春期と重ね合わせながら、作品を捕らえていきましょう。 ビデオ鑑賞をします。</p> <p>2 「カルメン」 時代は一挙に古くなります。良く知っているようで、案外知られていないこの作品の時代背景や作家の説明をします。強烈な一人の女性の生きざまに、今もなお多く人が感動を覚えています。有名な歌劇「カルメン」もビデオ鑑賞しながら比較してみましょう。</p> <p>3 「風とともに去りぬ」 この映画はあまりにも有名で、皆さんの中にも見た方は大勢いらっしゃるでしょう。しかしその作品を読んだ方は少ないと思います。この作品の生まれた時代背景と、作家の説明をします。ただしこの作品に含まれている、様々な問題に、批判的な目でアタックしていきましょう。勿論有名な映画も鑑賞します。</p> <p>以上3作品必ず読みましょう。小説を読むおもしろさを十分味わって下さい。</p>	
【評価方法】 レポートにより、評価します。	

【授業科目名】 芸能史

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】 芸能ということは、今日、もっとも広く用いられ、およそ肉体による演劇的、舞踊的、音楽的表現を総称するが、本来の芸能ということばの語義を再確認するとともに、その歴史的な変転を詳しく探求することとする。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種芸能関係書（その都度指示する）

授 業 計 画

芸能とは何かという命題を考究しながら、芸能の本質を明らかにし、さらに芸能事象の内容を分拆し、それが史的にはどのように展開していったのかについて論述する。

1. 芸能の語義
2. 芸能ということばが包含する内容
3. 芸能の種類分類
4. 芸能伝承論
5. 芸能史としての存立
6. 祭りと芸能
7. 民俗芸能論 — 神楽
8. 民俗芸能論 — 田楽
9. 民俗芸能論 — 凡流
10. 現代芸能論

【評価方法】 1. 期末のレポート
2. 授業時の小レポート
3. 授業時の平常点 } 左記3項による総合評価

【授業科目名】 映像文化論	【担当者】長崎一
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>映画は社会文化に影響を与えるとともに、単なる娯楽ものではなく人間成長の糧であることを認識してもらいたい。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>活動写真として誕生した映画は一世紀を経てその表現技術に格段の発展をみせた。それと同時に映画は政治、文化に対し鋭い抵抗と批判を与えてきた。</p> <p>本講では特に日本映画を中心に、明治、大正、昭和の三代にわたるその足跡と、社会文化に与えた影響を具体的に作品をとり挙げながら詳述する。また欧米各国の映画史にも触れ、今なお話題となっている名作を紹介し、映像表現の素晴らしさを知ってもらいたい。</p>	
【評価方法】	出席状況とレポートによる採点

【授業科目名】 比較文学	【担当者】 高橋伸一
【開講期】 2 年 後期	
【授業目標】 日本の近代・現代文学は、否応なく西欧文学の思潮に洗われながら存立してきた。この授業では、西欧文学が日本の知性感性によってどのように取り込まれ、自己の表現形式、特に「詩」を確立していったのかという問題を、翻訳論を中心に考える。	
【テキスト・参考書】 随時プリント	
授 業 計 画	
内容 1 西欧の現代翻訳理論概説 2 西欧の翻訳理論の歴史 3 日本における西欧詩の翻訳とその影響 (1) 『新体詩抄』 (外山正一、矢田部良吉、井上哲次郎) (2) 『海潮音』 (上田敏) (3) 『珊瑚集』 (永井荷風) (4) 『月下の一群』 (堀口大学)	
【評価方法】 授業時の小レポート(30%)と期末のレポート(70%)によって評価を行う。	

【授業科目名】 東洋文化史	【担当者】 山口洋
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>中国の歴史を中心に「東アジア世界」の諸相を概観する。また、具体的な歴史事例をもとに、歴史研究の方法と歴史的批判精神を身につけることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストはコピーを配布する。参考書リストは開講時に配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p>テーマ 中国の歴史と文化</p> <p>中国は、東アジア世界の中心に位置することから、古来より周辺諸国と政治・文化の交流があり、そこには融合と摩擦が生じてきた。本講座では、東アジア世界に大きな影響を与えた中国の歴史について、政治・社会・文化の中から、その担い手であった人々の事跡を抽出して考察し、中国および東アジアにおける文化とその交流について概観する。</p> <p>授業においては、出土品や図版等のビジュアル資料も紹介し、また東洋史学における最近の成果にも触れたい。なお具体的には、以下の項目について授業をすすめる。</p> <p>開講時にアンケートを行うので、受講生は何を知りたいのかを考えてくること。</p> <p><u>I 歴史学とアジア</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 東洋の概念（・東洋の語義と概念・東洋史学の成立と発展） 2 アジア史の地域構造論（・アジアの区分・風土と歴史） 3 文字の歴史（・甲骨文字の発見と歴史学・中央アジアの文字） <p><u>II 中国の歴史</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 4 時代区分（・時代区分論・時代区分の意味） 5 中国の歴史書と歴史家（・歴史書と史官・歴史事実と歴史小説） 6 書物の歴史（・紙発明以前の書物・紙の発明と印刷技術の発明） 7 人物史・中国の皇帝（・「皇帝」の始まり・果たして皇帝は絶対君主なのか） 8 人物史・中国史上における女性（・和蕃公主・則天武后） 9 中国の宗教（・民衆の宗教―道教・西域伝来の宗教・宗教と政治権力） 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート・筆記試験を総合的に評価する</p>	

【授業科目名】 現代日本政治

【担当者】 梅田 欽治

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】

現代日本政治の基本問題を理解して、私たちの身近な「政治」について関心を持ち、世界と日本の政治動向に興味をもてるようになること。

【テキスト・参考書】

授業のなかで資料を配布し、参考文献を紹介します。

授 業 計 画

現代日本政治の基本は「日本国憲法」と「日米安全保障条約」です。この両者をそれぞれ深く理解することによって、現在の日本の政治・経済、そして社会がみえてきます。また、アジアも世界もみえてくるのです。ところが、学生諸君はこれらの初歩的なこともわかっていないのが実情です。これでは、一人前の成人、いわんや一人前の主権者とはいえません。学生諸君の質問に答えながら、ひとつひとつ疑問を解いていくことにします。専門の授業ですが、気軽に受講してほしいと思います。

【評価方法】

出席状況と定期試験で評価します。

【授業科目名】 日本女性史	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 2 年 前期	
【授業目標】 女性が困難を乗り越えて、真に人間らしく生きていく展望を得るために、過去の女性の歴史を振り返ってみることは重要であろう。半年の課程なので、原始から近世までの前近代の女性史を中心とし、近代以降には簡単に触れる。	
【テキスト・参考書】 テキスト：『日本女性の歴史－性・愛・家族』（総合女性史研究会編 角川書店）	
授 業 計 画	
<p>各時代の労働のあり方、財産権、婚姻形態、家族関係、道徳観などに注目し、その中でたくましく生きた女性の生涯についても、できるだけ取り上げていきたい。当時の法令、日記、文学、絵巻などを通じて女性たちの生活を考えて行く。次のような順序で進めていく予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原始女性は太陽であった－原始の平等生活 <ol style="list-style-type: none"> 1) 男女平等時代の存在 2) 性別役割分担 3) 性差別を生まない理由 4) 婚姻家族関係 5) 神話の中の女性像 2. 性差別の始まり－古代の家族生活 <ol style="list-style-type: none"> 1) 律令制度と家父長制 2) 財産相続 3) 万葉集にみる民衆の生活 4) 平安貴族の妻の生活 5) 紫式部はなにを言いたかったか 3. 嫁取りへの動き－中世の女性たち <ol style="list-style-type: none"> 1) 家業の継承と家父長権の強まり 2) 男女の協力と役割分担 3) 分割相続と後家の権限 4) 婿入りから嫁入り婚へ 5) 室町戦国期の庶民の女性像 4. 封建道徳の確立期－近世の女性たち <ol style="list-style-type: none"> 1) 農村の暮らし 2) 女の稼ぎ 3) 封建道徳の下で 4) 公娼と私娼 5) 滑稽本の女性たち 5. 近現代の女性解放 <ol style="list-style-type: none"> 1) 明治民法下の女性 2) 戦後の女性解放 3) 男女雇用機会均等法以後 	
【評価方法】 期末テストによる。あらかじめ提起した課題の中から出題する予定。	

【授業科目名】 現代女性論	【担当者】 富永静枝
【開講期】 2 年 前期・後期	
【授業目標】 女性を取り巻く社会環境が大きく変わった現在、女性の生き方は伝統的な生き方だけではなく、多様な生き方が可能になった。これからの女性は自己の能力を生かしながら自分の人生を自立して生きる為にはどうすべきかを考えていく。	
【テキスト・参考書】 参考書は授業を進める過程で紹介する	
授 業 計 画	
<p>近年女性を取り巻く社会状況は大きく変化し、女性の生き方も多様化している。男女雇用機会均等法や育児休業法も施行され、女性の社会進出も大きく進展した。しかしながら伝統的な性別役割分業の社会システムは依然として強固に存在し、そのことが女性の自立を阻んでいるだけでなく、多くの社会問題を引き起こしている。本講ではこのような社会状況の変化や、性別役割分業を基本においた社会システムの問題性、家族家庭の諸問題や女子労働問題など女性の視点から考えて行く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、女性の権利の歴史 2、女性の自立と性別役割分業 3、女性労働の諸問題 4、高齢(化)社会と女性・家族・家庭 5、男女平等を求める世界の動き・新しい動き <p>なお講師の側からの一方的な講義だけではなく、女性問題に関する新聞記事やビデオなどを素材にしたディスカッションなども行うので、受講生は討論に積極的参加するよう心掛けてください。</p>	
【評価方法】 学期末のレポート他	

【授業科目名】 文化人類学	【担当者】 白井和子
【開講期】 2 年 前期	
【授業目標】	
異文化を知ることや異文化を理解するとはどういうことか、考える。	
【テキスト・参考書】	
参考書 内堀基光・山下晋司 『死の人類学』 弘文堂	
授 業 計 画	
<p>同じような自然環境にもかかわらず人々が異なった様式の生活を営んでいる一方で、違う自然環境の人々が同じような生活様式を営んでいることは、印刷物やテレビなどのマスメディアを通して知られています。また旅行などで実際に身をもってそれらを体験している人々も多いことでしょう。しかし、そのような情報や体験が実は表面的な理解や知識にとどまっていることがしばしば見受けられるようです。では、自分が身につけている文化とは異なる文化を、興味本意に取り上げることに終始することなく、理解することができるのでしょうか。もし理解することができるとするならば、どのようにして理解するのでしょうか。講義では異文化を理解する思考と方法の一つの例として、文化人類学者のおこなうフィールド・ワークについて考えたい。</p>	
<p>ところで、カルチャー・ショックという言葉を知っていますか。生まれ育った土地を離れてよその土地で暮らしていると、それまで当然のことと思っていた常識が全然通じなくて、精神的に落ち込んでしまうことがあります。自分が依ってたつ諸価値に揺さぶりがかかっているわけです。このようなカルチャーショックを受けることが、異文化理解への最初の一步と言えるのかもしれませんが。自分の常識が覆され、生活感覚がひっくり返り、生活経験がひろがっていくこと、そして人間とは何かという問いかけに戻っていくこと、これが文化人類学の楽しみの一つのようです。少し苦い味のする楽しみではありますが。</p>	
<p>今年度は、死に対する態度を様々な側面から分析した研究を取り上げ、特定の社会や文化を理解する方法について検討します。この作業は、私たちが自分の生活を見直していく契機になるでしょう。</p>	
<p>【評価方法】 出席は取らない。原則として学年末の試験の成績を評価の対象とする。ただし授業中に見るビデオなどについて感想文や意見文を書いてもらうことがあり、そのような小文を評価に加えることはありうる。</p>	

【授業科目名】 社会思想史	【担当者】 針谷寛
【開講期】 2 年 前期	
【授業目標】 個人の自由と社会的共同について、客観的な場面と問題に即して自らの頭で考えていくための素材を提供する。	
【テキスト・参考書】 テキストは使用しない。 参考書は講義のなかで紹介する。	
授 業 計 画	
<p>ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷を手がかりにして、個人と共同体の関係を検討する。前提としてポリス市民社会像、中世都市市民社会像を見た後、近代的市民社会理論としてカントの社会理論を紹介しながら検討する。フランス革命と同時代のドイツで、カントは近代市民社会の理念とその実現を追求した。個人の自己決定権から共同社会のあり方を構成していくカントの社会理論は、近代社会を支える大原則を理論的に明示している。</p> <p>講義では、こうした考え方がどのような問題（状況）への応答として生み出されたのか、また、このような近代的思考原則がどのような課題を含むものであったかという点をあわせて検討していく。</p>	
【評価方法】 レポートによる。	

【授業科目名】 西洋史	【担当者】 増谷直子
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ヨーロッパの中世以降の歴史を宗教（キリスト教・ユダヤ教・イスラーム）との関わりを軸に概観し、ヨーロッパという社会の特徴を考察する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストは指定しない。 参考文献は、授業のなかで紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>ヨーロッパにキリスト教が浸透して村々に教会ができていった11世紀に、ユダヤ教徒への暴力的な迫害が始まったことでも明らかなように、キリスト教的ヨーロッパ世界は常に「他者」であるユダヤ教やイスラームを意識しながら形成されてきた。</p> <p>中世ヨーロッパの人々はキリスト教をどのようなものとして理解したのだろうか。教会と世俗の権力の関係はどのようなものだったのだろうか。それらは、宗教改革とよばれる時期にどのように変化したのだろうか。フランス革命は人々と教会の関係をどのように変えようとしたのか。近代にはいって、人々の心性のなかで宗教の位置はどう変化していくのだろうか。</p> <p>このようなキリスト教とヨーロッパ社会の関わり方の変化の様相を、ヨーロッパの社会に少数者として存在してきたユダヤ教徒への対応、「身近な」他者として地中海世界（15世紀末まではイベリア半島、その後はバルカン半島を含めて）に優位を示していたイスラームとの関係を通して具体的に検討してみたい。現代のヨーロッパに移民労働者の形で居住するムスリムの問題にもふれていきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業時に提出を求める小レポート、学期末のレポートによる。</p>	

【授業科目名】 国際関係論

【担当者】 平井文子

【開講期】 2 年 前期

【授業目標】 今日、途上国政府はどこも膨大な対外債務（借金）を抱えており、それが、「南」の貧困の背景にある事は良く知られている。しかし、そのことが、同時に「北」の住民の生活を脅かし、青少年を麻薬中毒に引きずりこむ大きな要因ともなっていることはあまり知られてはいない。債務危機をめぐる南北の関係を解明する。

【テキスト・参考書】

スーザン・ジョージ著『債務ブーメラン——第三世界債務は地球を脅かす』
(朝日選書 539)、朝日新聞社

授 業 計 画

テキストにしたがって、以下の要領で講義を進める。

- 1、第一のブーメラン 地球環境
- 2、第二のブーメラン 麻薬
- 3 第三のブーメラン 「北」の納税者たちはどのように銀行を救済しているか
- 4、第四のブーメラン 失われる「北」の雇用と市場
- 5、第五のブーメラン 移民
- 4、第六のブーメラン 武力紛争と戦争

各ブーメランが夫々大きなテーマであるので、ブーメランごとにミニ・レポートを作成し、最後にそれらをまとめ、総評を加えて、最終レポートを作成していただく。この計画は学生諸君にとっては少々きついかも知れないが、本当に勉強したと言う感想を持たれることと信じます。

【評価方法】

受講態度及び、上記レポートによる。

【授業科目名】 アジア・アフリカ論

【担当者】 佐藤いづみ

【開講期】 2 年 前期

【授業目標】

20 世紀という時代を、列強諸国による「世界分割」と、それに抵抗してアジアで樹立された「民族国家」の“構想”と“現実”から考えていきます。

【テキスト・参考書】

テキストは使用しません。

参考文献：『現代アジアの肖像』 全 15 巻 岩波書店

授 業 計 画

今年、1997 年は、香港返還の年です。一世紀前の九龍半島租借は、イギリスにとって東アジア分割の大きな一歩でした。アジアの 20 世紀は、植民地支配とそれからの解放、民族国家の樹立という苦難の道のりでしたが、今日私たちが眼にしているのは“ボーダーレス”が強調される国際社会です。この授業では、(1) 地域としては東南アジアを中心に、(2) 日本との関係を重視して、(3) 『現代アジアの肖像』(上記)を参考にリーダーの考えた「民族国家」の構想に着目しながら、20 世紀のアジアを考えます。

①オリエンテーション

- ・何故「アジア・アフリカ論」なのか？
- ・“アジア”とは？
- ・帰属意識について

②「世界分割」とアジアとアフリカの 1900 年

③植民地支配と人々の暮らし

- ・インドネシアの場合
- ・ベトナムの場合

④植民地支配に抵抗する運動

- ・伝統的社会的権威による抵抗
- ・改革派と日本留学運動
- ・コミュニストの抵抗運動

⑤「民族国家」樹立の構想と内包されていた課題

- ・ガンディー
- ・孫文
- ・ホー・チミン
- ・スカルノ
- ・アウン・サン

⑥資本と労働力の「ボーダーレス」が言われる今日における「民族国家」の意味

【評価方法】

期末にレポートの提出を求めます。

【授業科目名】 教養演習Ⅱ	【担当者】 東 喜望
【開講期】 2年 前後期	
【授業目標】日本の英雄伝承をとりあげる。現存する文献資料や民俗資料を精読しながら、その英雄の生きた時代や人間像などについて研究する。	
【テキスト・参考書】保元・平治物語・平家物語・義経記 伝承地の民俗誌および史誌	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年のゼミは、まず学外研修についての準備学習から始める。それぞれ担当した領域について、よく調べて報告すること。 2. 次に、昨年のゼミで残した課題について、研究し、その成果を、学外研修での収集資料の検討を経て、まとめる。 3. 以上に次いで、古代末期から中世初期に活躍した英雄・源為朝や源義経について、文学作品や民間伝承を資料にしながら考察する。 	
【評価方法】期末の所定の日にはレポートを提出させる。	

【授業科目名】 教養演習Ⅱ	【担当者】 川口師孝
【開講期】 2 年 後期	
【授業目標】 前期に同じ	
【テキスト・参考書】 前期に同じ	
授 業 計 画	
<p>前期に引続き、源九郎判官義経という人物を具体的な作品や資料に基づいて、様々な視点から考究する。</p>	
【評価方法】 レポート	

【授業科目名】 教養演習Ⅱ	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2 年 前期・後期	
【授業目標】 一年次の学習の上に立ち、『源氏物語』第二部（若菜上～幻）の研究を行う。六条院の内部崩壊という主題と関わって、物語の方法が大きく変わる。盤石なはずの六条院はなぜ崩壊するのか。どう崩壊していくのか。紫上の心理展開の解明を中心課題としつつ、仕組まれた手法について考えていく。	
【テキスト・参考書】 テキスト、参考書については、最初の授業で指示する。	
授 業 計 画	
<p>〔前期〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、二条院・二条東院から六条院へと、物語の場は拡大している。この二条と六条の距離が、第二部の構想を支えることになる。先行論文を読みながら、場の確認をするところから始める。 2、（5月、京都へ研修旅行。源氏物語に関連する場所を実地に見て“土地勘”を得る。事前準備とまとめ。各自・あるいはグループで、テーマを持って臨む） 3、きわめて読みにくいところであるが、「若菜上」をとりあげる。第一部の過去が呼び戻され、様々な捉え返しが行われる巻である。その中から、新たに登場する女三宮の未熟な個性が、六条院体制（紫上・光源氏）を相対化してゆくことになる。 4、授業の進度を越えて、「若菜下」まで目を通すことが課題となるので、そのつもりでいてほしい。 <p>〔後期〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、第二部最後の「幻」巻を読む。「若菜」巻の時期を含む過去が、退場寸前の源氏の中から、さらに捉え返される。これを批判的に検討することで研究のまとめをしてゆきたい。 2、第三部十三帖がなぜ書かれなければならなかったのか、第二部が抱えたままの問題があるはずである。授業では触れえないが、各自第三部を課題としてほしい。 	
【評価方法】 定期試験時レポートによる。	

【授業科目名】 教養演習Ⅱ	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>【日本近代文学研究】 「教養演習Ⅰ」で身につけた「読み」の力を発揮して、作品や作家についての、研究史を意識的に見据えた研究方法を学ぶことをめざす。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>教科書は用いない。必要に応じてプリント等を配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p>文学研究は、「教養演習Ⅰ」「日本文学(近・現代)」の項にも記したように、「自らの内部に湧き起こるイメージと向き合う」ことを本質(かけがえのない本質)とするが、同時に、過去・現在の多くの読者・研究者による、研究の蓄積を踏まえたものでもある。</p> <p>「日本近代文学」に関しても、豊かな研究の歴史があり、その中で生み出された数多くの論文の中には(ツマラヌものもあるけれど)、作品や作家に関する、多くの優れた発見や、「読み」の多面的な可能性への示唆がある。それは、いわば、「作品・作家」をめぐる、時空を隔てた、大きな、魅力的な討論会のようなものだ。</p> <p>二年次のゼミでは、作品に関する討論の中で、こうした、過去・現在の研究者による優れた論文の検討をも、一つの重点として行いたい。</p> <p>扱う作品は、諸君と相談し、なるべく諸君の問題意識に沿う形で決定したい。小レポートの課題が、数回ある。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点。特に、積極的に考えようとする意欲を重視する。レポートも加味する。</p>	

【授業科目名】 教養演習Ⅱ「菅原道真の世界を探る」Ⅱ【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】 平安時代中期の学者であり、政治家であった菅原道真の世界を探ることによつて、平安時代の政治や宗教の傾向を追求し、さらに、この世界が後世の江戸時代の文化に与えた影響を調べ、その文化的意義を把握させる。

【テキスト・参考書】

テキスト：浄瑠璃「菅原伝授手習鑑」歌舞伎台本「菅原伝授手習鑑」

参考書：坂本太郎「菅原道真」ほか

授 業 計 画

前年に続いて、平安時代の政治の中樞を成していた藤原氏の中において、右大臣にまで昇進しながら、藤原一門の策動のために太宰権師に左遷された菅原道真を探りながら、平安時代の社会を探り、また、死後は雷神の怨霊神となったり、天満宮に祀られて学問の神様となる不思議な世界を考究し、さらに、江戸時代の演劇である人形浄瑠璃や歌舞伎の代表的な人物となつて「菅原伝授手習鑑」などの名作の主人公となる秘密をも調べ、平安時代の政治、経済、文化、江戸の文化までを総合的に把握する。

【評価方法】 1. 各期末のレポート
2. 演習時の小レポート
3. 演習時の平常点

} 左記3項による総合評価

【授業科目名】 教養演習II 「英米児童文学の旅」	【担当者】 田中 安行
【開講期】 2年前期・2年後期	
【授業目標】 1年次からの作品研究を続け発展させる。各自のテーマ研究を深めるための文献研究を進め、後半には数回レポートを書く。	
【テキスト・参考書】 猪熊葉子・神宮輝夫「イギリス児童文学の作家たち―ファンタジーとリアリズム」研究社出版 定松正「子どもと文学の冒険」 Peter Hunt: Children's Literature --An Illustrated History, Oxford U. Press, 1995 John R. Townsend: Written for Children, The Bodley Head, London, 1990 Donna E. Norton: Through the Eyes of a Child, Prentice Hall Inc. 1995	
【授業計画】	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 英米児童文学の歴史(英文) と評論を読んで自分の研究の位置づけも把握していく。 2. 夏休みに各自の取りあげた作品についてのレポートを15枚以上に書いて、自分の卒業レポートの構成をまとめていく。 3. 各自の作品の生まれた社会的背景や歴史的な意義などについても研究して幅広い作品理解ができるようにする。 4. 2学期には卒業レポートの個人指導と平行しながら、各自の進行状況をゼミで発表し、ゼミ全体の問題として討論を行う。 5. インターネットを使って外国の図書館や研究機関から資料を検索して利用する。 	
【評価方法】 平常点とレポート及び筆記試験で行う。	

【授業科目名】 教養演習Ⅱ	【担当者】 富永静枝
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>二年生になるとまもなく就職活動を始め、やがて社会人として就職をして行く学生達に、経済的自立の重要性と女性の職場の諸問題を考えさせ、問題解決の方向性を探る。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書は授業を進める過程で紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>現代女性論ゼミ(Ⅰ)</p> <p>前年度に引き続き現代女性の抱えている諸問題について考察するが、2年次では特に「女性と職業」に重点をおいて学習を深めて行く予定である。</p> <p>学習内容はおおよそ以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、近代日本における女性労働の歩み 2、生涯設計における就労の位置づけ～経済的自立を求めて～ 3、女性労働の現状と課題 4、女性労働と法 5、女性労働の国際比較 6、男女共生の社会システム 7、男女平等を求める世界の運動に学ぶ <p>なお、職場における女性の状況を正しく認識し、問題解決の方向を探るために、調査や見学なども行う予定である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>通常のゼミにおける発表内容およびレポート。</p>	

【授業科目名】 教養演習Ⅱ	【担当者】 中島好伸
【開講期】 2年 前期 後期	
【授業目標】 今年度は、長編小説に挑戦し、黒人女性の代表作を一年かけて細かく読みながら、黒人、女性、南部について考えてみたい。	
【テキスト・参考書】 未定	
授 業 計 画	
<p>まずはテキストの選定から始めなければならない。代表的な作家と言えばアリス・ウォーカーかトニ・モリスンということになる。どちらを研究するかは、みんなで決めよう。</p> <p>英語で読むことが柱だが、今年度は文学研究に重点を置いて進めるので、まずは翻訳であらすじを把握していただく。その後、原書を細かく読んで内容を分析してもらおうが、そのスタイルは1年次を踏襲する。</p> <p>作者のその他の作品や批評については、出来るだけ日本語で手に入るものを各自で読んでもらいゼミの中でその経験を生かしてもらおう。</p> <p>卒業研究に向けて作品分析の仕方、レポートの書き方も学習する。</p>	
【評価方法】 年数回にわたるレポートとゼミ内発表に、出席平常点を加味して評価する。	

【授業科目名】 教養演習Ⅱ 「日本女性史」

【担当者】 西村 汎子

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

一年の教養演習で学んだ日本女性史の基礎的な学習の上に立って、日本女性史と関連のある史料を講読する。今年度は鎌倉幕府の記録である『吾妻鏡』から、女性の地位や生活・役割について物語っている部分を選んで研究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：『全訳吾妻鏡』全6巻（新人物往来社）

参考書：『日本女性の歴史—女の働き』『同左—文化と思想』（角川書店）
『国史辞典』（吉川弘文館）その他。

授 業 計 画

『吾妻鏡』から以下のような問題について調査し、発表してもらう。

1. 北条政子の婚姻と夫婦関係
2. 源頼朝と乳母
3. 乳母子のはたらき
4. 武士の婚姻形態
5. 戦争と女性

報告者は選び出した史料のプリントを用意し、内容の説明と問題点について報告する。全員による活発な討論を期待する。

【評価方法】

平常点および期末のレポートによる。

【授業科目名】 教養演習Ⅱ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2 年 前期・後期	
【授業目標】 1年次で修得した日本の近現代に関する基本的な理解を基礎にして、個々のテーマをよりクリアーにしていくための報告と討論を積み重ねていく。	
【テキスト・参考書】 テキスト：ゼミの構成メンバーと相談して決定する。	
授 業 計 画	
<p>基本的には1年次と同様の方法で、より専門的な文献を題材として輪読していく。但し、後半期は、個々のメンバーのテーマについての報告を積み重ね、相互に批判しあいながら、問題点を煮詰めていくことに次第に重点を移していく。</p> <p>その場合、構成メンバーは、次の点に特に力をいれるよう心がけること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の問題関心を明らかにし、研究テーマとして取り組むべき課題を鮮明にすること。 ・そのテーマに即して、文献及び史料を探索し、早めにもその所在一覧リストを作成すること。 ・その上で、ゼミで数回行う、テーマ報告及び作業の中間報告会の準備をすること。 	
【評価方法】 報告内容等で評価する。	

【授業科目名】 卒 業 研 究	【担当者】 専任教員
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>学生各自が自主的にテーマを決めて作成する。ただし、共同研究も可。枚数は400字30枚以上。所属ゼミでの研究を基礎にすることが望ましい。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>執筆に先だちガイダンスを行い、その意義や叙述のしかたなど一般的な事柄について指導する。後期はゼミ担当教員が、研究資料の扱い方や研究方法など具体的な事柄について個別に指導する。レポート提出後、例年、発表会を行っている。</p>	
【評価方法】	

教職科目

【授業科目名】 書道Ⅰ

【担当者】 神野雄二

【開講期】 2 年 前期

【授業目標】

書の内容、表現、理論、鑑賞を通じて、書と書教育の基礎、基本を理解する

【テキスト・参考書】

- 書写指導、中学校編 □ 全国大学書写書道教育学会編、菅原書房
- 書写教育概要 □ 日本教育大学協会第二部会書道部門会編、おひさ

授 業 計 画

授業の前半は講義、後半は実技である。授業は、書と書教育の基本的な理解を目的としたものである。

内容は、文字について、書教育の意義と特質、姿勢と執筆法、用具・用材、書の歴史、書学、表現と鑑賞、指導計画と指導方法など、より広い観点から学習する。

実技は、書写教育の基本書体である楷書体、行書体、仮名を学ぶ。これらの書体の、正しく、整えて、速く、美しく書ける技術の習得をめざす。そのために中国と日本に伝った石鼓や石鼓の書写可能なかざり臨書(りんし)する。主に毛筆を使用するが、硬筆の資料も取り入れ予定である。

テキストとして提出した□書写指導、中学校編□を基として、内容に応じて適宜資料を配布する。

【評価方法】 授業時提出する作品、レポートと課題作品、そして出席状況により、総合的に評価する。

【授業科目名】 書道Ⅱ	【担当者】 小峯恭子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>毛筆・硬筆 両面から文字を正しく整えて速く適切に書く実技能力を高めることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト： 使用しない</p>	
授 業 計 画	
<p>書写(実技)を中心とする。日本と中国の数多い古典の中から代表的なものを取りあげ、これを参考にしながら漢字(楷書・行書)と仮名の実習を行う。まず写実的臨書を、次いで応用の創作を行う。実用書にも目を向ける。初講時には授業の進め方について具体的な話をするので硬筆(10マス用紙使用)の用意をして必ず出席のこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 硬筆基本 2. 九成宮醜泉銘 3. 孔子廟堂碑 4. 雁塔聖教序 5. 顔勤礼碑 6. 集字聖教序 7. 仮名基本 8. 変体仮名 9. 寸松庵色紙 10. 年賀状 11. 包み紙 12. 創作 13. 硬筆まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点，出席重視</p>	

【授業科目名】 教育実習	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 実際に中学校に行き、「実習生」として学ぶ二週間ほどを中心に、事前の準備学習、大学に戻っての整理、総括等を含む科目が、二年次の「教育実習」である。その中で、「教育」ということを少しでも深く考え、身につけることが目標である。	
【テキスト・参考書】 教科書は使用しない。実習ノート、プリント等を配布する。	
授 業 計 画	
<p>「教室」「学校」という「場」は、（一年次「教育実習」の項にも書いたように）一面では日常性の中にあるが、同時に、生徒が、この文化・文明を受け継ぎながら、それを相対化しつつ新たなものを生み出す事を目指すという、特殊な緊張を伴った、一種の「躍動する空間」である。</p> <p>実際に中学校に行き、この「空間」の中で、教壇に立ち、生徒に入り交じって生活する二週間は、緊張と（場合によっては）苦しみと、そして喜びに満ちた、貴重な体験になるだろう。過去の実習生も、「実習」を体験する中で、本当に教職に就きたいという切望を一段と強くすることが多かった。</p> <p>中学校に行く時期は、実習校の都合にもよるが、六月が多い（実習期間中は、短大は「公欠」扱いになる）。</p> <p>それ以前は、事前の準備を行う。</p> <p>実習期間中は、短大と連絡を取りつつ、実習校の指導に従うこと。</p> <p>短大に戻った後は、この貴重な体験を整理、総括するための学習をする。</p>	
【評価方法】 実習校からの評価を考慮しつつ、総合的に判定する。	

博物館科目

【授業科目名】 博物館実習	【担当者】 上野 光子・高橋 秀雄
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>学芸員として実際の場に臨む場合に必要な心構えと、基礎となる知識・技術の修得を目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：使用しない。必要に応じてプリントを配付します。</p> <p>参考書：全国大学博物館学講座協議会関西部会『博物館学概説』ほか。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>広範に渡る学芸員の仕事の中から人文科学系にしぼり、下記の項目にそって、講義1実習3を目安に授業を進めていく。見学によりなるべく多くの事例を学び、同時に作品に接する際の気構えやマナーも重視する。2年次には実際に博物館施設において実務実習を行います。</p> <p>(1) オリエンテーション：博物館実習とは、授業計画、博物館法</p> <p>(2) 学芸員の仕事と現状、実習と図書、博物館の広報活動</p> <p>(3) 博物館施設の実際：国立博物館等の見学2回、事前事後講義、レポート提出</p> <p>(4) 資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2次資料とは ・ 拓本：タンポ・墨作り、屋外拓本 ・ 裏打：くいざき、作図方法 ・ レプリカ作成 <p>(5) 展示と保管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示環境 ・ 劣化と保存科学 ・ 展示施設と方法 ・ カタログ、作品解説 <p>(6) 梱包と運搬</p> <p>(7) 美術工芸品の取り扱い方と種類・技法：</p> <p style="padding-left: 2em;">掛軸、卷子、折本、冊子、屏風、面、金工品、漆芸品、陶磁器、彫刻、茶道具等</p> <p>(8) 写真の基礎知識</p>	
<p>2年次</p> <p>(1) 博物館見学：4箇所、事前事後講義、レポート提出</p> <p>(2) 館務実習：1～2週間程度、事前事後講義、レポート提出</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>(1)レポート、(2)作品、(3)平常点、(4)出席数、(5)館務実習評価、の総合点。</p>	

司書科目

【授業科目名】 生涯学習概論	【担当者】 藤田 博
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 生涯学習及び社会教育についての理解を図るとともに、学習情報提供、学習相談の意義方法について解説する	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、生涯学習の意義と基本的な考え方、及び学校教育・社会教育との関係関連施策・施設の動向等について社会教育法を中心に学習する。 2、社会教育の意義と基本的な考え方及び社会教育行政・社会教育の内容方法、指導者と社会教育施設について、補助教材を使用して学習する。 3、学習情報提供、学習相談の意義と内容・方法について事例を中心に学習を進める 	
【評価方法】 平常点・レポート提出	

【授業科目名】 図書館経営論	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】生涯学習にたいする国民の意識の高まりと、増大する図書、および情報ネットワークの拡大は、図書館の役割をますます大きくしている。新時代にふさわしい明日の図書館をつくるために、図書館員は自分たちの図書館をどのように位置づけ、どのように運営してゆくべきかについて学ぶ。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書：『図書館・情報センターの経営』（けい草書房 情報学シリーズ4.）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>図書館が学校・大学・研究機関および市民社会の中で教育・研究と文化の向上のために十分に効力を発揮するためには、館員自身が日常業務の中に埋没することなく、一定の理念のもとに、その図書館が置かれている状況に見合った利用者のための計画を立て、外部機関とも連携しつつどう運営していったらよいかを考えるべきである。</p> <p>(1) 図書館経営の基本思想—生涯学習との関係をふくむ</p> <p>(2) 行政およびその他の部局との関係</p> <p>(3) 図書館の管理と運営</p> <p>(4) 図書館長と館員の役割・関係と研修</p> <p>(5) 図書館サービス計画の意義と方法—調査・広報の発行をふくむ</p> <p>(6) 図書館の整備計画と設備</p> <p>(7) 図書館の業務およびサービスの評価</p> <p>(8) 情報ネットワーク形成の意義</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験またはレポート</p>	

【授業科目名】 情報サービス概説

【担当者】 森崎富喜

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】 情報サービスは、図書館サービスの一つであり、図書館利用者と資料・情報とを結び付け人々の研究・学習を援助することである。近年、情報サービスという語が広範囲に使われているが、図書館における情報サービスとは何かを明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等について総合的に学習する。

【テキスト・参考書】

「講座 図書館の理論と実際 6：情報サービス・システム」井出 翁 雄山閣 1992

「レファレンスサービス 図書館における情報サービス」長澤雅男 丸善 1995

「参考業務」北嶋武彦編著 理想社 1994 (図書館学テキスト シリーズ 8)

授 業 計 画

- (1) 情報サービスについて
レファレンスサービスから情報サービスへ
図書館が行う情報サービスの位置付け
- (2) どんな仕事をするのか
レファレンスサービス
レフェラルサービス
カレントアウェアネスサービス
情報検索
二次資料の作成
- (3) レファレンスプロセス
質問の受付から回答まで
- (4) 情報検索サービスの方法
- (5) レファレンスサービスのための情報源
レファレンスコレクション
館内の情報源
館外の情報源
- (6) 主要参考図書・データベースの解題
(「専門資料論」との関連で変更あり)

【評価方法】 期末のレポートと授業時に実施するミニレポート

【授業科目名】 レファレンスサービス演習	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>演習問題を課し、レファレンス回答の手順や情報源の使用法をマスターする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>「情報と文献の検索」長澤雅男 丸善 1995 (3版)</p> <p>「参考業務演習」北嶋武彦編著 理想社 1995 (図書館学テキストシリーズ 9)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(1) レファレンスサービスの実際 事例を示しながらレファレンスプロセスを説明 レファレンスインタビュー 検索及び回答の手順</p> <p>(2) 参考図書とレファレンスコレクション 参考図書の検討 参考図書の手引き 参考図書の種類 非図書資料 レファレンスコレクションの構築</p> <p>(3) インフォメーションファイルの編成の実際</p> <p>(4) 二次資料(書誌類)の作成</p>	
【評価方法】	<p>期末のレポートと授業時に実施するミニレポート</p>

【授業科目名】 情報検索演習	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年後期	
【授業目標】 表計算ソフトウェアの実習を通してデータベースの作成と検索方法を学ぶ。コンピュータを用いた情報検索の基本的な手法を理解するとともに、ネットワーク環境を利用した情報の探索・検索についても知識を得ることをめざす。	
【テキスト・参考書】 特に指定しない。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報検索の基本的な考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 概念の抽出 ・ 索引項目の構造 ・ 見出し語の選定 ・ シソーラスの意義と活用 2. 表計算ソフトの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表計算ソフトの基本 ・ 表計算ソフトによるデータベースの作成と情報検索 3. ネットワーク環境におけるデータベース <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク環境でのデータベースの構築 ・ ネットワーク環境でのデータベースの検索 	
【評価方法】 学期中と学期末に課題をネットワーク経由で提出させ、それを評価する。	

【授業科目名】 専門資料論	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人文科学、社会科学、自然科学・技術の各分野における知識の構造と資料との関係について理解するために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について学ぶ。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>『日本の参考図書』 日本図書館協会</p> <p>『情報源としてのレファレンスブック』長澤雅男 日本図書館協会 1995</p> <p>『情報と文献の探索』長澤雅男 丸善 1995</p>	
授 業 計 画	
<p>I 書誌の意義と種類</p> <p>II 基本的な書誌</p> <p>III 社会科学</p> <p>(1) 社会科学の研究</p> <p>(2) 社会科学と文献 社会科学における文献利用の特性</p> <p>(3) 資料の特性と二次資料 社会科学各部門における資料解題 政治 法律 経済学 社会 教育</p> <p>IV 人文科学</p> <p>(1) 人文科学の研究</p> <p>(2) 人文科学と文献 人文科学における文献利用の特性</p> <p>(3) 資料の特性と二次資料 人文科学各部門における資料解題 哲学 歴史 芸術 言語学 文学</p> <p>V 自然科学と技術</p> <p>(1) 自然科学・科学技術の研究</p> <p>(2) 科学技術と文献 科学技術者の情報利用</p> <p>(3) 資料の特性と二次資料 特許情報 会議録 規格 学位論文 テクニカル・レポート 医学資料 データベース 主な参考図書と書誌</p>	
【評価方法】 期末のレポートと授業時に実施するミニレポート	

<p>【授業科目名】 資料組織概説</p>	<p>【担当者】 椎葉 倣子</p>
<p>【開講期】 2年前期</p>	
<p>【授業目標】 図書館目録は、まず利用者が図書館資料及び情報を検索利用する際に不可欠なこと、次いで図書館資料の管理・保存の機能があることを理解させる。また、現在カード目録からコンピュータ目録へ移行中であり、総合目録の作成・利用が可能となって、図書館サービス全般へ関連の生じていることにも言及する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 「資料組織法 第3版」 志保田務 高鷺忠美 共著 第一法規出版 「日本目録規則 1987年版 改訂版」 「日本十進分類法 第9版」 「基本件名標目表 第3版」 「国立国会図書館件名標目表 第5版」 「JAPAN/MARC マニュアル 第3版」 「目録システム利用マニュアル データベース編 改訂版」 「目録情報の基準 第2版」</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 図書館目録の意義・機能 目録規則：1987年版を中心に 記入の作成：記述、標目（アトス^oイント）、標目指示・カード形式、データシート形式 典拠ファイル：著者名典拠ファイル</p> <p>2. 書誌階層の概念</p> <p>3. 分類の意義・機能 分類表：日本十進分類法を中心に 分類作業：分類表の理解、分類記号付与 主題検索：件名法・基本件名表（第3版）、国立国会図書館件名表目表（第5版） その他：書誌分類、シソーラスなど 目録の活用：作成に留まらず利用促進・利用案内、パスファインダーなど 図書館目録の現状：書誌ユーティリティ、標準化など</p>	
<p>【評価方法】</p>	

【授業科目名】 資料組織演習	【担当者】 椎葉 伸子
【開講期】 2年前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>一般的な図書の目録作成（リジナルカギング）ができることを目指す。また、外部の書誌データを利用する際に、書誌事項の評価が出来るようにする。図書館内で利用者に目録利用についてサービス出来るようにする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>「資料組織法別冊 演習問題集 緑版」 第一法規出版 「日本目録規則 1987年版 改訂版」 「日本十進分類法 第9版」 「基本件名標目表 第3版」 「国立国会図書館件名標目表 第5版」 「日本著者記号表 改訂版」</p>	
授 業 計 画	
<p>記入作成：カード形式により基本的書誌データを学ぶ 図書記号：日本著者記号表等により請求記号を与える 分類作業：日本十進分類表の要目表、一般補助表を用いて分類記号を与える 件名作業：基本件名標目表、NDL件名標目表により件名標目を与える</p> <p>以上の演習は、最初演習問題集を使用し、ついで図書そのものを使用して実施する</p> <p>コンピュータ目録：図書に関して書誌データを作成し、データシートに記入、コンピュータに入力する。J-BISCからダウンロードしたデータと共にデータベースを作成し、出力や検索の演習をする。</p> <p>目録利用対策：目録利用案内、パスファインダーなど。</p>	
【評価方法】	

【授業科目名】 児童サービス論

【担当者】 東喜望

【開講期】 2 年 前期 (集中)

【授業目標】 人生の人格形成期において、児童期はその基盤を成す最も重要な時期である。この時期に、児童が人間として何を欲し、何を求めているか、その正当な知的欲求をまず把握し、これに正しく応えるためには、どんな書籍を、どのようなサービスによって読ませていくかを考察する。

【テキスト・参考書】 適宜指示する。

授 業 計 画

講義は、およそ以下の項目によって進める。

1. ことは"と思考
2. 人間の言語活動
3. 「読む」ことの意義
4. 少年少女期の特性と読書傾向
5. 児童図書としての良書とは何か。
6. 読書指導と選書の方法
7. 児童図書とサービス

【評価方法】 筆記試験

【授業科目名】 図書及び図書館史

【担当者】 西村 汎子

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】

図書および情報手段の発達・普及と利用者の要望の高まりは、図書館を国民のための開かれた情報センターとする条件をつくりつつある。図書館の歴史の中から人々の努力の跡を辿ると共に、図書館の未来の活動や運営に向けての課題を考えていきたい。

【テキスト・参考書】

参考書：岩橋敏生他共著『新図書館ハンドブック』（雄山閣）

石井敦編『図書および図書館史』（講座：図書館の理論と実際10 雄山閣）

授 業 計 画

図書および図書館の歴史は、社会のごく一部の人々が享受するに過ぎなかった図書および各種の情報、あらゆる人々のもとに生涯を通じて迅速に提供されるものへと変化発達しつつある歴史である。情報は誰でも入手できると同時に、その内容も教育・研究の必要や地域の人々の要望に十分に応えるものでなければならない。

第1章 日本—近代以前の図書と図書館の歴史

- (1) 紙の移入と書写の始まり
- (2) 古代における印刷・文庫・分類項目の発生
- (3) 中世における出版事業・学校文庫・書籍目録の成立
- (4) 近世における文庫の発達・庶民の読書要求と出版物取り締まり

第2章 日本—近代以後の情報化の発達と図書館の歴史

- (1) 近代図書館の発生—公立図書館の二つの道
- (2) 日本資本主義の発達と図書館—公立図書館の定着
- (3) 大正デモクラシーと図書館—臨時教育会議の答申・労働者農民の図書館
- (4) 軍国主義体制下の図書館—思想言論の抑圧・戦争の被害
- (5) 敗戦後の図書館—図書館の自由に関する宣言の採択
- (6) 民衆のための図書館—日野図書館のスタート・自治体行政の前進
- (7) 情報化の発達と図書館の新たな課題

【評価方法】

筆記試験またはレポート

【授業科目名】 資料特論	【担当者】 椎葉 俊子
【開講期】 2 年 後期	
【授業目標】 図書館には多種多様な資料が収集され利用に提供されている。特論では、まず「図書以外の資料」、特に逐次刊行物や視聴覚資料（CD、ビデオなど）の組織法を学ぶ。次に図書館資料の中心をなしている図書を対象にコンピュータ目録について、演習も交えて学んでゆく。	
【テキスト・参考書】 資料組織法 第3版 志保田努・高鷲忠美著 第一法規	
授 業 計 画	
<p>前期の資料組織概説で学んだ基礎を踏まえて、図書以外の資料が図書館でどのように提供されているか、その組織法を扱う。その後、コンピュータ目録の実際、取り巻く環境などに言及する。コンピュータ目録の演習は、コンピュータへの入力など授業時間以外に^も取り組んでほしい。</p> <p>逐次刊行物とは 逐次刊行物の組織化 視聴覚資料の組織化 書誌情報 MARC JAPAN MARC J-BISC</p> <p>コンピュータ目録とは 目録作成 目録検索 他の業務との関連</p>	
【評価方法】 課題・レポート提出を採点の対象とし、出席状況を考慮する	

【授業科目名】 図書館特論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2年 前期（後半）	
<p>【授業目標】 多様化する図書館資料、特に視聴覚資料をより有効に活用するためのレファレンス・サービスについて考察し、役に立つ種々の機器操作や独自資料を制作するための知識と技術を実習を取り入れて習得する。また、メディア・スペシャリストの資質について考察する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 テキスト： な し 参考書： 有光 成徳 他著 「視聴覚教育メディアの活用」 東京 （財）日本視聴覚教材センター 1992, 339p</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様化した図書館資料（特に視聴覚資料）をより有効に利用活用するために必要な資料の特性、機器の特性を理解し、機器操作を学習する。 ・ ビデオ撮影、編集等の実習を通して自主教材・資料を制作するための技能を学習する。 ・ 視聴覚資料のレファレンス・サービスについて考察する。 <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 視聴覚ライブラリーの運用と効用 2. 視聴覚資料活用のための資料・機器の特性と機器操作 3. 実習：自主資料制作・・・ビデオ撮影と編集の実際 4. メディア・ライブラリアンの資質 	
【評価方法】 レポート / 自主制作ビデオ	



学籍番号・

氏名・

〒187 東京都小平市小川町1-830
教務課0423(46)5619